

健康麻雀・私の物語

2020. 9～2021. 8



島町麻雀倶楽部 岡村昭則

2017.9～2021.8 私の島町麻雀クラブ参加記録

2017.9	試合数 A	ゲーム数 B	振込数 C	振込率 D	勝敗数 E	勝率 F	得点数 G	トップ数 H	トップ率 I
2018.8	172 回	924			97 勝 75 敗	0.56	3858	54	0.31
2019.8	227 回	1260	92	0.073	128 勝 99 敗	0.56	5149	75	0.33
2020.8	178 回	950	98	0.103	105 勝 73 敗	0.59	3498	66	0.37
2021.8	238 回	1361	127	0.093	124 勝 114 敗	0.52	1152	64	0.27
2022.8									

※D 振込み率=C÷B、F 勝率=E 勝÷A、I トップ率=H÷A (勝数トップ率=H÷E 勝数)、

2017.9～2021.8 私の島町麻雀クラブ参加回数・試合数・ゲーム数

	2018.8	2019.8	2020.8	2021.8		計
参加回数	37	48	36	49		170
試合数	172	227	178	238		815
ゲーム数	924	1260	950	1361		4495

何しろ頭を使うところが「健康麻雀」

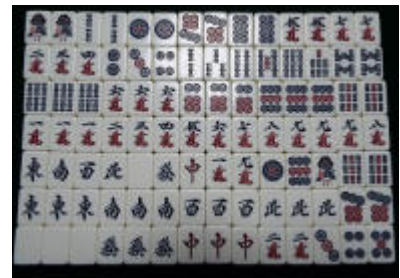
(R 2. 9. 1)

就職して20代で覚えた麻雀！80歳を過ぎた今、健康麻雀の虜になっている。というのは、自治会の健康麻雀倶楽部に加入して4年になろうとしているが、クラブに入って麻雀について基本から勉強したことで、勝ち負けに関係なく一期一会の世界の変わりゆく場面向き合い自分なりにどう聴牌させていくか頭を使うところに魅せられている。とにかく麻雀は面白い。これほど面白いゲームを中国の誰が考えたのか知らないが、麻雀を考えた人は数学強くて今のAIを使いこなせるほどの能力の持ち主であったのではないだろうかと思ってしまう。今や麻雀人口は二千万人といわれる時代になった。日本人の五人のうち一人は麻雀をすることになる。

麻雀というところまでは、「お金を賭ける」「お酒やタバコがつきもの」「徹夜」という不健康なイメージがつきまとい、しかし麻雀がこうした不健康なイメージであったのは一昔前のこと。近年は、「知能ゲーム」として再評価され、また、「賭けない、吸わない、飲まない」麻雀の広がりも手伝って、老若男女を問わず、人気を博しているのだ。

しかしながらその裏腹に、昨年、東京高検検事長の黒川氏は新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下の昨年4～5月、産経新聞記者2人と朝日新聞社員の計4人で4回、1000点を100円と換算する「点ピン」のレートで賭けマージャンをしたとされ賭博罪で略式起訴され東京簡裁は罰金20万円の略式命令を受けるといふ事件もあり、昔からの賭け麻雀がクローズアップされた。

麻雀の一番面白いところは、136枚の麻雀牌の無限大ともいえる一期一会の組み合わせによる「知能ゲーム」として、毎回、違う局面での展開があり、ことわざに「運7分技3分」と言われているように、個人の実力や経験のほかに運がかなり加味されるところにある。健康麻雀に参加して以来、麻雀記録を取りつづけているが、相手3人の思惑もあり、自分の思い通りにならないばかりか、相手がリーチすれば、相手が何を考えているのかを読み取らなくてはならないし、本当に頭を使う。ここに健康麻雀のベースがある。老化防止として、手や指の運動が脳を活性化するという機能面でも注目され、牌を自分の手元に持ってきて、不要な牌を捨てるという動作は、判断力が求められ、それだけ脳細胞を活性化させることになる。



そうは言っても私の所属している島町健康麻雀倶楽部も「飲まない、吸わない、賭けない」の三原則の下に週一で例会を持っているが、参加しているのは現役時代の強者ばかりであることから、初心者で手ほどきを受けたいという女性や高齢者を受け入れるという余地な一寸も持ち合わせていない。それ故に地域の交流の場として、一喜一憂しながらも和気藹々、麻雀を楽しむという雰囲気にはない。

ルールも日本麻雀連盟ルールではなく現役時代の「喰いタン、中付、後付なし、振りテンリーチなし、リーチの当たり牌を見逃しても罰金」等々、ここだけの独特のルールでとなっている。誰かが上がりといえば直ぐに自分の牌を投げるように崩し現職時代のゲーム習慣をそのまま持ち込んでいる人もそれなりに見受けられる。そのような雰囲気の中でも私は自分なりの麻雀の楽しみ方を確立して、皆さんに感謝しながら一期一会の世界を楽しんでいる。

2020.9～2021.8 私の島町自治会健康麻雀クラブ記録

新記録

	試合回数	ゲーム数	振込数	振込率	勝敗数	得点数	トップ数
9月11日	7回	31	4	0.148	3勝4敗	73	3
9月18日	6回	33	2	0.061	2勝4敗	-373	1
9月25日	6回	33	4	0.091	3勝3敗	275	1
9月計	19	97	10	0.103	8勝11敗	-25	5
10月2日	6回	40	2	0.05	3勝3敗	-9	0
10月9日	6回	33	2	0.061	3勝3敗	252	2
10月16日	5回	24	4	0.167	2勝3敗	-220	0
10月23日	5回	29	2	0.069	4勝1敗	752	2
10月30日	5回	26	3	0.115	3勝2敗	-172	1
10月計	27	152	13	0.086	15勝12敗	603	5
11月6日	5回	28	2	0.071	3勝2敗	133	2
11月13日	5回	32	3	0.093	2勝3敗	-168	0
11月20日	5回	27	2	0.074	2勝3敗	-208	2
11月27日	5回	25	2	0.08	4勝1敗	348	2
11月計	20	112	9	0.08	11勝9敗	105	6
12月4日	5回	30	5	0.167	2勝3敗	27	1
12月11日	5回	31	2	0.064	1勝4敗	-79	1
12月18日	5回	26	3	0.115	4勝1敗	117	2
12月25日	5回	28	3	0.107	2勝3敗	-118	1
12月計	20	115	13	0.113	9勝11敗	-53	5
累計	86	476	45	0.095	43勝43敗	630	21
1月8日	5回	29	2	0.069	4勝1敗	399	2
1月15日	2回	12	0	0	1勝1敗	-47	1
1月25日	4回	21	0	0	4勝0敗	362	3
1月29日	4回	21	3	0.143	1勝3敗	-154	1
1月計	15回	83	5	0.6	10勝5敗	560	7
累計	101回	559	50	0.089	53勝48敗	1190	28
2月7日	6回	34	1	0.029	4勝2敗	247	2
2月12日	3回	17	2	0.118	1勝2敗	-11	0
2月19日	3回	27	4	0.148	1勝2敗	79	1
2月26日	5回	23	1	0.043	3勝2敗	-64	1
2月計	17回	101	8	0.079	9勝8敗	251	4
累計	118回	660	58	0.088	62勝56敗	1441	32

3月5日	4回	24	4	0.167	1勝3敗	-509	1
3月13日	4回	23	1	0.043	3勝1敗	121	1
3月19日	5回	25	7	0.28	3勝2敗	56	2
3月26日	5回	30	2	0.067	5勝0敗	709	3
3月計	18回	102	14	0.137	12勝6敗	377	7
累計	136回	762	72	0.094	74勝62敗	1818	39
4月2日	4回	20	2	0.1	3勝1敗	173	1
4月9日	5回	28	5	0.181	2勝3敗	9	1
4月16日	5回	30	1	0.033	2勝3敗	-22	1
4月23日	5回	27	1	0.037	3勝2敗	169	1
4月30日	5回	34	3	0.088	2勝3敗	-168	1
4月計	24回	139	12	0.086	12勝12敗	161	5
累計	160	901	84	0.093	86勝74敗	1986	44
5月7日	5回	26	2	0.077	2勝3敗	-276	1
5月14日	5回	31	2	0.065	2勝3敗	-19	1
5月21日	5回	28	7	0.25	2勝3敗	-390	
5月28日	5回	28	2	0.071	4勝1敗	189	2
5月計	20回	113	13	0.115	10勝10敗	-496	4
累計	180回	1014	97	0.096	96勝84敗	1490	48
6月4日	5回	35	4	0.114	2勝3敗	200	2
6月11日	5回	29	4	0.138	1勝4敗	-451	1
6月18日	6回	33	2	0.061	4勝2敗	64	1
6月25日	5回	31	1	0.032	2勝3敗	-30	1
6月計	21回	128	11	0.086	9勝12敗	-217	5
累計	201回	1142	108	0.094	105勝96敗	1273	53
7月2日	4回	24	0	0	4勝0敗	164	0
7月9日	4回	25	0	0	4勝0敗	107	1
7月16日	5回	35	3	0.085	2勝3敗	221	2
7月23日	5回	32	5	0.156	1勝4敗	-419	0
7月30日	5回	26	1	0.038	3勝2敗	199	3
7月計	23回	142	9	0.063	14勝9敗	273	7
累計	224回	1284	117	0.091	119勝105敗	1546	60
8月6日	5回	28	5	0.179	2勝3敗	-327	1
8月13日	4回	20	4	0.2	1勝3敗	-107	1
8月20日	5回	29	1	0.034	2勝3敗	40	2
8月27日							
8月計	14回	77	10	0.129	5勝9敗	-394	4
累計	238回	1361	127	0.019	124勝114敗	1152	64

2020.9.11 ●秋の卓コロナ休みの友参加 ●配牌の悪さに遊び秋暑し

★今日の主だった感想は次の通り

①何と言ってもきょうは5時半に起きて、昨日に続きウォーキングに挑戦する。2時間半の俳句ウォーキングが終わってから、麻雀教室へ持って行く資料、★私の昨年1年間の結果表★喰いタンなしなので、トイトイ、三色、清一色の鳴きでタイヤオを聴牌してもタイヤオは数えないことを皆さんで取り決めした記録を宮崎さん、添田さんに印刷して持つて行く。この二人に私の麻雀の楽しみ方が判ってもらえばよい。後の人はどうでもよし。

②円田さんが半年ぶりに9月から参加するようになった。コロナに対する用心深さには恐れ入りました。それでも彼も3時からのウォーキングは行っていたとか。麻雀の実力派ナンバーワンである。その彼も半年ぶりなので調子狂うと言いながら楽しんでいた。今日は珍しく8人（添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村）参加の2卓でお休みがないので忙しいことこの上なし。

③今日は配牌も引き牌もよしが3回、中段以降に来たのが3回、どうにもならなかったが1回である。今回は3年間の結果からして麻雀は配牌と引き牌によるものと学んだので配牌から判断してそれなりに遊ぶ余裕があったことは言うまでもない。4年目の今年度も目標としている1/500の役作りを何回出来るかに挑戦することを目指している。初日の**3勝4敗31ゲーム+73に終わる**

1回戦東風戦なので振り込まず堅実に手堅くいことしているが、満貫の手だったのでリーチしたところ、逆に相手のリーチに5索を振り込んで子の満貫となってしまった。幾らかは挽回して**-55**に終わった。1回戦は振り込まないことが大事であるが勝負しての振り込み止も得ず。

2回戦この回は配牌、引き牌がよく雲量に恵まれていた。親に-2900を振り込んだものの子の跳満で取戻し、ここ何とかトップを確保して**+146のトップ**に終わった。

印象に残る子の跳満

ホンイツ・發・白・トイトイ



3回戦配牌も悪いので苦労しながら手作りをするに聴牌は中段以降となってはどうにもならない。振り込みは0であるが、調子のよい他家に積もられてしまうので、その出費が痛い最終的に**-40**に終わった。

4回戦この回も配牌は良かったが引き牌が続かず、索子のホンイツでドラの發が偶然も二枚目を鳴いて対面に9索を振り込んでもらい子の満貫をもらった。最終的に振り込み0で**+79のトップ**に終わった。



最終的に振り込み0で**+79のトップ**に終わった。

5回戦最初から親満貫を貰ったので調子よく行くと思っていたが、トップ確保に走り、下家のリーチが掛かり、捨てる牌なく筋を捨てたら引っ掛けの素晴らしい三色で子の跳満となって原点に戻ってしまった。皆さんに積もられたこともあって 最終的に振り込み1で

- 3 2 に終わった。

トイトイ・中・東々で親満貫の時の図は次の通り



6 回戦最初から萬子が9枚これで清一色に仕上げることを狙っていく中段で一鳴き聴牌となった。メンチンの子満貫で最終的に+100のトップに終わった。



7 回戦配牌も引き牌も悪くてどうにもならない。下家がリーチしたので捨てる牌がなく自分で捨てている白を切ったらチートイでのみであったものの、白が裏ドラになってしまって満貫となってしまった。そこから挽回を目指すも引き牌悪くどうにもならず。最終的に振込み1回の-125に終わった。

★今日の試合結果

①振込4 (-8000、-2900、-12000、-8000)

②7戦 3勝4敗+73に終わる

1 回戦4 ゲーム-55	振込み1	3位	子の満貫-8000
2 回戦4 ゲーム+146	振込み1	トップ	子跳満 12000 親へ-2900
3 回戦6 ゲーム-40	振込み0	2位	
4 回戦4 ゲーム+79	振込み0	トップ	子の満貫 8000
5 回戦4 ゲーム-32	振込み1	3位	親満貫 12000 子の跳満-12000
6 回戦4 ゲーム+100	振込み0	トップ	子の満貫 8000
7 回戦5 ゲーム-125	振込み1	3位	子の満貫-8000

★今日の反省点は

●今日は配牌が悪い時は、お遊びとして参戦するのも良いのではないか。配牌が8種類ある時は、真ん中の牌はどんどん切り、国士無双かチャンタ打法で行くのは正解だった。

●チートイツイシャテンの場合はどんなことがあってもチートイツで行くべき。トイトイだと聴牌が遅れる。今回もチートイ聴牌まで行かず、イシャテンに終わった。

●満貫で上がった記録はきちんと残すこと。

●リーチの人が上がれず中身を見ると、自分の警戒していた牌とは違う事が多いのは読みが浅いと言う事か。

2回戦 4 ゲーム + 2 3	振込み 0	2位	子の満貫 8 000
3回戦 6 ゲーム - 5 4	振込み 0	3位	
4回戦 5 ゲーム - 1 1 0	振込み 1	4位	親の満貫 -12000
5回戦 4 ゲーム - 5 4	振込み 1	3位	子の満貫 -8000
6回戦 7 ゲーム - 2 2 7	振込み 0	4位	

★今日の反省点は

●今日は配牌も引き牌も悪くリズム感がなく、防戦に終わった感の強い1日だった。配牌が8種類の時も多く一色か、チャンタに決めることも多かったが成功はしなかった。

●チートイツイで行くべきか、トイトイで行くべきか悩んだことがあった。どちらも聴牌していたものの、捨て牌を見ても上がれなかったことは事実だが、**暗刻を一つ切れば聴牌に気づけなかったことが悔やまれる。**

●鳴き3色ドラで上がったものの、上がれなくてもどこまでも手の内で行くべきだったと後悔する。ゲームあり。



2020.9.25 ●秋雨や運廻り来て楽勝す ●秋雨や麻雀の卓みな笑顔

★今日の主だった感想は次の通り

①楽しみにしている麻雀例会である。朝からなのでウォーキングはお休み。そのために懸案となっていた退職者会HPのPDFを全てチェックしてプリントすることが必要のあるものだけプリントしていく。それでも100枚は越えてしまう。これも私が管理したHPの痕跡でもある。HPを管理していない人は無関心であろうが、私にとっては大事な踏み跡である。全てを終えたのが11時45分。急いで昼食をして車で自治会館へ行く。

②今日のメンバーは添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村八人の参加の2卓でお休みがないので忙しいことこの上なし。麻雀で口うるさいのは岡部さんのみ。悪気はないのだろうが会員の事を口にする。聞いていても楽しいものではない。今日は私に手作りしない人と口にしていた。それにしても皆さん相撲の話も麻雀中にも良く出る。

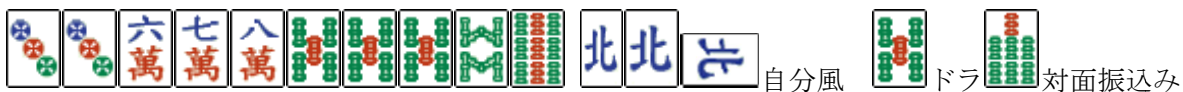
③今日は配牌も引き牌もよくリズム感があつた。3勝3敗33ゲーム+275に終わるも振込みも4回あつたが、敗けの平均は1回あたり-40と小さかつた。国士無双に近い配牌になったことが2回程あつたが、最初から上がり放棄で国士無双やチャンタへと中牌をどんどん捨てたので、皆さんに読まれてしまい、字牌、風牌を捨てられことから国士無双はだめでチャンタを目指したが聴牌することなかつた。4回戦目は運量が良くて親で3本積んだのでトップで+311とダントツだつた。何しろ1/500の役作りを4年目も何回出来るかに挑戦することを目指しているが、雲量があつても中々出来ない。

1回戦目は何しろ点棒のやり取りが少なく、皆さんも平凡な上がりが続いた。私も振込み1回-2900のみでトータル-46で2位に終わった。積1回戦は振り込まないことが大事なので、それを守り切れなかつた。

2回戦目は誰しも積むことなく4ゲームで終わった。この回も私にとつても短調なリズムで1回-2600振り込んでトータル-39で3位に終わった。

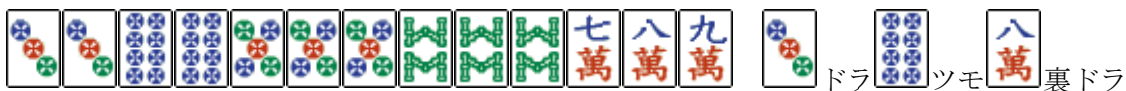
3回戦は配牌や引き牌に少し雲量が上向いてきた。振込みも1回-2600のみでトータル+38で2位に終わる。嬉しかつたのは初めて子の満貫1回を確保したこと。

自分風をポンしてドラ三をうまく使えて子の満貫となつた。



4回戦は3回戦目の雲量が続き、最初のゲームで子の跳満貫を確保し、親の時も満貫を確保し、3本積んで細かく上がり、振込み0でトータル+311でトップに終わった。

リーチ、ツモ、三暗刻、ドラ三で子の跳満



単純に上家が鳴かしてくれた白ドラのみで親の満貫



5回戦は4回戦目の運量が続き、先手リーチをしたが対面のリーチに負けてしまい、一発目で子の満貫-8000を振り込んでしまった。勝負のアヤで仕方がない。気を取り直したところ、運量がある時は親になった時に親満貫を確保した。それも何とメンホンである。自分でも思わぬ展開で5ゲーム1振込み+48で2位に終わる。

立直、ツモ、メンホンで三面待ち、親の満貫



6回戦は席も変わったことから鳴かず飛ばずの振込み0で他家の積りに付き合い4ゲームトータル-45で3位に終わった。一気に挽回するチャンと見て、三面待ちのピンフ三色で9索を狙うもリーチ、ピンフ、3索ツモのみに終わってしまった。皆さんのツモにお付き合いするだけに終わった。



★今日の試合結果

①振込4 (-2900、-2600、-2600、-8000)

②6戦3勝3敗+275に終わる

1回戦6ゲーム-46	振込み1	2位	-2900、
2回戦4ゲーム-31	振込み1	3位	-2600、
3回戦7ゲーム+38	振込み1	2位	-2600、子の満貫8000、
4回戦7ゲーム+311	振込み0	トップ	子の跳満12000、親満貫12000、
5回戦5ゲーム+48	振込み1	2位	子の満貫-8000、親満貫12000、
6回戦4ゲーム-45	振込み0	4位	

★今日の反省点は

- 今日は配牌も引き牌も運量があったので、振込みも先制リーチしたものの、追っかけリーチにやられたが挽回できた。シャボン待ちか、両面待ちにするか迷ったが、今日はシャボン待ちにして2回上がった。
- 配牌が8種類の時も多く、国士無双か、一色か、チャンタに決めることも多かったが、一度も成功はしなかった。
- チートイツイで行くべきか、トイトイで行くべきか悩んだことがあった。今日は聴牌できず。
- カンチャンの一鳴き聴牌で上がれるが、今日先回の反省から鳴かずに頑張ってみる。結果が出せてよかった。

2020.10.2 ●秋晴れや運量悪く我慢の卓 ●秋の卓一期一会を楽しみぬ

★今日の主だった感想は次の通り

①楽しみにしている麻雀例会である。腰痛のためウォーキングはお休み。午前中に新井整形外科に行きリハビリ。というのは明日コルセットを図るためにリハビリに行く。それでも足は痛む。昼食をして自治会館へ行く。

②今日のメンバーは添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村八人の参加の2卓でお休みがないので忙しいことこの上なし。何しろ最近は一期一会の場の状況を楽しむように自分を変えている。それだから今日のように配牌悪し、引き牌悪しとて、その場の楽しみ方をするようになった。配牌が悪ければ遊びで他の人が欲しい牌をどんどん捨てていく。国士無双、チャンタを狙ったが一度も聴牌することはなかった。

③それにしても皆さんの跳満や満貫のツモ上がりは何回付き合った事か。5回戦まで34ゲームで振込み0なのに、-137である。運量のある人に向かうこともなく下りて来たものの、積もられては点棒も減るばかり。どうしたことか6回戦の最終回は最初から親になったが上がれてしまい、これまでかと思ひしや風向きが変わって来て配牌も引き牌もよくリズム感が出てきて振込みも2回あったが満貫も2回し+128を確保して、**3勝3敗40ゲーム-9**で終わった。

最終回の特記事項は添田さんが振り点なのに私の5万で当たりと宣下して8000のチョボを払いだしたのが運のつきで総トータル-400をオーバーしたことである。

④何しろ1/500の役作りを4年目も何回出来るかに挑戦することを目指しているるので、今日も8を中心にした暗刻が2つ出来たので3色同ポンを2回狙ったがあとが続かず実現出来なかった。

1回戦は何しろ点棒のやり取りが少なく、皆さんも平凡な上がりが続いた。振込みもなく7ゲームでトータル**-19の3位**に終わった。1回戦は振り込まないことが大事なので、それを守れたことが大きい。

2回戦は親の跳満や親満ツモに何回も付き合ったことが重なり、振込みもなく7ゲームで、**-118の3位**に終わった。運量のある人を落とそうと思ってもこちらが運量なくお手上げの状態。

3回戦は配牌や引き牌に少し雲量が上向いてきたこともあって、振込みなく7ゲームのトータル**+30で2位**に終わる。

4回戦も親や子の満貫ツモに何回も付き合ったことが重なり、振込みなく7ゲームトータル**-59で3位**に終わる。

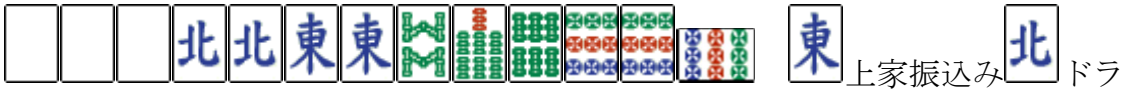
5回戦は配牌や引き牌に少し雲量が上向いてきたこともあってか、辛うじて振込みなく6ゲーム**+29で2位**に終わる。

6回戦は配牌や引き牌も良くなりだした。添田さんの振込み激しく、それを他の3人で喰いあった。**2回振り込み(-2000、-2900)6ゲーム+128で2位**に終わったが子の満貫が2つ達成できた。

リーチ、チートイ、ドラドラ發 子の満貫



白暗刻、ドラドラ、東で子の満貫



★今日の試合結果

①振込 2 (-2000、-2900)

② 6戦3勝3敗-9に終わる

1回戦 7ゲーム - 1 9	振込み 0	3位
2回戦 7ゲーム - 1 1 8	振込み 0	3位
3回戦 7ゲーム + 3 0	振込み 0	2位
4回戦 7ゲーム - 5 9	振込み 0	3位
5回戦 6ゲーム + 2 9	振込み 0	2位
6回戦 6ゲーム + 1 2 8	振込み 2	2位子の満貫 8000、子の満貫 8000 -2000、-2900

★今日の反省点は

- 今日は配牌も引き牌の運量がなかったが、私の麻雀楽しみ方が変わって来たのでどの場も良くても悪くても上がれなくても一期一会の世界を楽しむためか、一色、チャンタ、国士無双を狙う機会が多くなってきた。この時に注意すべきはドラがある時は、この色を集めることも大事かなと思った。
- 待ちの選択で親の跳満をのがしたが、時の運で仕方ないので悔しさは残らなかった。
- 手が悪くても3トイツある時はチートイを狙ったことが3回あって成功したのは1回のみだった。土田流のスジ対子を狙うが上手くいかなかった。
- 振りテンパイはリーチさえかけなければ積りも可能であることを忘れてしまった。他の人が上がったのでチョンボは逃れた。
- 鳴き3色の場合は第一副露が役に絡まないとダメ。今日もハイテイだったのでノーテンを払って終わった。

2020.10.9 ●秋雨や跳満上がる三連刻 ●秋雨やダブリを積もる友の笑み

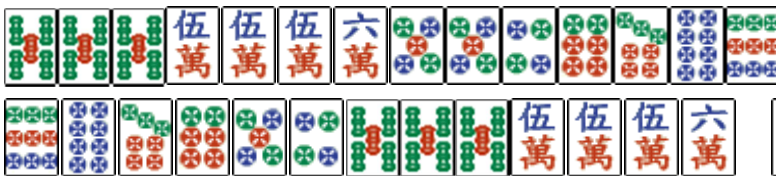
★今日の主だった感想は次の通り

①何と言っても一期一会の世界を楽しみにしている麻雀例会である。秋雨や腰痛もあるのでゆっくり麻雀を楽しむことにして、朝から二日分の食料の買い物に走り帰って来たのが11時半過ぎ、急いで昼食を摂り、マイカーで自治会館へ行く。

②今日は麻雀例会が早くから始めるなら使用料をとるとか村田管理部長に云われたと宮崎さんから報告があった。2時間単位で使用料が決めているので12時15分から使うなら使用料を納めろとか。誰も使っていないので多少なりとも早くから来て自治会の皆さんが楽しんでいることを思うと、その話を聞くと興ざめしてしまう。私も村田さん夫婦とは前からお付き合いしていたので、そんな厳しい人とは思っていなかった。自治会の管理部長の立場として話しているのだろうが、人柄が見てしまった思いがする。

③メンバーは添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村八人の参加の2卓でお休みがないので忙しいことこの上なし。今年度は一期一会の場の状況を楽しむように心掛けている。今日は5回戦26ゲーム-23と平坦な流れであったが、最終回はどうしたことか運気が一気に開き、親満貫1回、子の跳満1回と一気にトップを確保し、3人を沈めてしまっしまい、おまけに1/2500の三連刻の二回目を上がってしまった。3勝3敗33ゲーム+252で終わった。

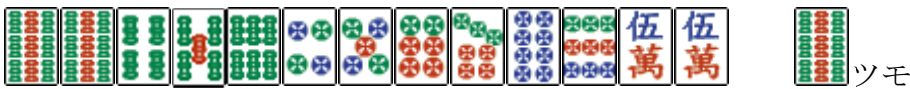
④最終回は暗刻についていた。というのは最後の親の時に5索、5満、5筒の三色同刻を狙おうと思って待ったが来ないので5筒を切ってリーチして次にツモって来たのは5筒でショックだった。



この無念さが次につながった。

また、親の2回目で三色のソウズとピンズの456は出来ているが、マンズ5に絡む4か6を2回待ってきたのは、持ってきたのは5満だったので諦めて、3色を崩してシャボン待ちにしてツモ上がりする運量があった。

リーチ、ツモの2000点



⑤今日の特記事項は阿部さんが1/526のダブリリーチでツモ上がりしたことである。本人にとって初めての事であり、ご機嫌だった。私もこれまでに三回程上がっているが、これこそ配牌の運気そのものである。カンチャンを積もったというから本当に運気が強かったのであろう。おめでとうございます。一句添える。

1回戦は何しろ点棒のやり取りが少なく、皆さんも平凡な上がりが続いた。振込み-2000だけで6ゲームでトータル-19の3位に終わった。1回戦は振り込まないことが大事なのに、それを守れなかった。

2回戦は、皆さんも平凡な上がりが続き、振込みもなく4ゲームで、-23の4位に終わった。いかに平凡なゲームであったことか。

3回戦は配牌や引き牌に少し雲量が上向いてきたこともあって、振込みなく7ゲームのトータル+9で2位に終わる。私がこの点数で2位だから皆さんの点数の推して知るべし。

4回戦もこれまでと同じように平凡なゲームである。満貫などのやり取りもなく、何となく細かく上がった私が振込みなく5ゲームトータル+43でトップに終わる。

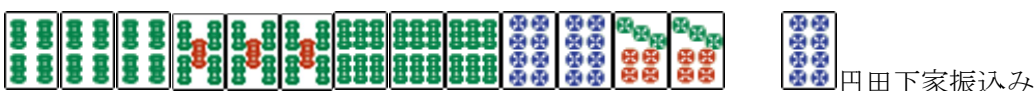
5回戦は配牌や引き牌を見てもこれで手作りできるのと思う世界で、兎に角振り込まないことに心掛けても相手に積もられては召し上げられてしまう。辛うじて振込みなく4ゲーム-33で3位に終わる。

6回戦は配牌や引き牌も良くなりだした。振り込み1回(-2900)7ゲーム+275で2位に終わった。親早々で親満貫1回、子の跳満(三連刻1/2500含む)1回確保できた。親の時に三色同刻を狙ってもう一回待てば成立したのに逃したので、今回は5索が暗刻で4索、6索が対子になっていた所以我慢して待ち続け三連刻が完成したら7筒を持って来てツモリ四暗刻聴牌したのでダマ聴牌いきうまく下家が振り込んでくれた。三連刻はこれで二回目である。

リーチ、一発、ツモ、ピンフ、ドラ1、親満貫



三暗刻、三連刻、トイトイ、タイヤオ 子の跳満



★今日の試合結果

①振込2 (-2000、-3900)

②6戦3勝3敗+252に終わる

1回戦6ゲーム-19	振込み1	3位	-2000
2回戦4ゲーム-23	振込み0	4位	
3回戦7ゲーム+9	振込み0	2位	
4回戦5ゲーム+43	振込み0	トップ	
5回戦4ゲーム-33	振込み0	3位	
6回戦7ゲーム+275	振込み1	トップ	親満貫 12000 子の跳満 12000 -3900

★今日の反省点は

●今日は5回戦までは平凡な麻雀が続いた。私の麻雀の楽しみ方も変わってきたのでどの場も良くても悪くても上がれなくても一期一会の世界を楽しむことが多くなったが、今日はどうしたことか、一色、チャンタ、国士無双を狙う機会もなかった。

●今回はドラ隣りやドラが一枚の時はクッキをそれなりに待ち成功した場面もあった。この時に注意すべきは見切りが大事ドラ1枚を持って沈没したこともあった。

●手が悪くても3トイツある時はチートイを狙ったことが3回あったが聴牌したことはなかった。土田流のスジ対子を狙うも全然関係なし。

●前回鳴き3色の場合は第一副露が役に絡まないとダメと言っていたが、今日もゲームを中断して揉めた。結論は、3色は第1副露のみという事なり。第2副露も鳴いたら上がれないという。何かおかしいルール。

2020.10.16 ●秋晴れや三度目上がる二盃口 ●マスクして麻雀囲む秋晴れぬ

★今日の主だった感想は次の通り

①一期一会の配牌を如何にさばくかを楽しむ麻雀例会である。腰痛は相も変わらずつきまとう。今日もゆっくり麻雀を楽しむことにして、明日は雨という予報なので妻と二日分の食料の買い物に出掛ける。帰って来たのが12時を過ぎていたので、急いで昼食を摂り、阿部さんの前回だしたダブリを積も上がったことを特記事項に書いたのだからそれを持って自治会館へ向かう。

②自治会館前で村田管理部長とすれ違うも、彼が私に手を振ってよこしたので振りかえすも、考えてみれば、麻雀クラブは自分が忠告したことを守っているか見に来たのではないだろうか。出会うのが余りにも偶然の時間帯を考えると、そうとしか思えない。そこまでしなくてもよかろうと思ってしまう。村田さんの人柄が見えてきた。あまり近づかないことにする。

③これまで平田さんが麻雀クラブの出席者の健康シール貼りを担当していたが、コロナで当分お休みするというので宮崎さんと一緒に担当してくれる人を決めるため時間を取り、添田、宮崎さんで打ち合わせしていた通り、岡部さんに声を掛けたら快く引き受けてくれたので1件落着となった。それから試合を開始したのは1時半近かった。

④メンバーは添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村八人の参加の2卓でお休みがないので忙しいことこの上なし。今年度は一期一会の場の状況を楽しむように心掛けている。今日は配牌悪し、引き牌悪しであったが、最初から遊びでのゲームが多く、1回目を振り込まないことに心掛けていたが、他家が役牌をポンしているので聴牌か判らず親満を含めてポンしているところに3回(-3900、-3900、-12000)も振り込みとなった。これでは勝てるわけがない。しかし、それに抵抗して**1/2000の三度目の二盃口をダメ聴牌で上がることが出来た。**

二盃口、ドラドラ 子の満貫



④1時半から開始すると5時まで5回戦がやっとなのである。今日は最初から配牌も引き牌も悪かったので、最初から5回戦まで遊びの麻雀が多く、中でも一色、チャンタを狙ってきたが、上がることなく5回まで負け続きであった。最終回の親の時に少し上向いたので+33に終わった。

⑤5試合24ゲームも振るわなかったのは配牌と引き牌に恵まれなかったことに尽きるが、遊びの手作りで鳴いて一色に決めてノーテンボウを払わずに済んだことが一回あった。手が悪いので七対子4回ほど挑戦し、聴牌で上がったのは二盃口の一回のみ。今日のトータルは**1勝4敗24ゲーム-220で終わった。**

⑤**今日の特記事項は、私が1/2000の二盃口振込み上がりしたことである。**私にとっては三度目なので感激は薄れてしまったが、1/2000を上がったことで一つ記録が増えて言うことなし。一句添えた。

1回戦は何しろ振り込まないようにと思ひしも、逆に三回ともポンした役牌にやられてしまった、振込み-3900、-3900、-12000(親満)で6ゲーム-185の4位に終わった。

2回戦は、皆さんも平凡な上がりが続く、**振込みもなく4ゲームで、-20の2位**に終わ

った。いかに平凡なゲームであったことか。また、3人負けである。

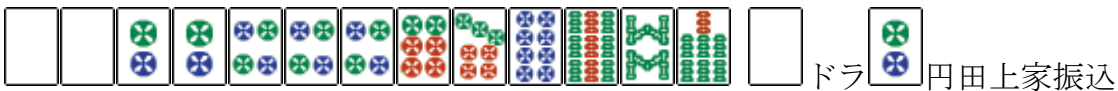
3回戦は配牌や引き牌にも悪く、**振込みなく4ゲームのトータル-78で3位**に終わる。この時は振り込んでいないので1万点棒のやり取りを間違えた。

4回戦もこれまでと同じように平凡なゲームで、子がリーチ（満貫）したので安全牌の捨て牌がないので中、發のどちらかを選び發を切ったらシャボン待ちの發に一發で振り身んでしまったが、幾らか取戻し4ゲーム-48で4位なので点棒のやり取りが少なかった。

5回戦は配牌や引き牌を見てもこれで手作りできるのと思う世界であったが、親の連荘を狙い、最初に7700点を上がったなら、ツキが隣に回ってしまい、**振込みなく6ゲーム33で2位**に終わる。

最終回の親の時に少し上向いた。

リーチ、ドラドラ 親の7700で上がり、最終回は6ゲーム振込み0で+33で終わる。



★今日の試合結果

①振込4 (-3900、-3900、12000、8000)

②**5戦1勝4敗-220**に終わる

1回戦6ゲーム-185	振込み3	4位	-3900、-3900、-12000
2回戦4ゲーム-20	振込み0	2位	
3回戦4ゲーム+0	振込み0	3位	
4回戦4ゲーム-48	振込み1	4位	-8000
5回戦6ゲーム+33	振込み0	2位	

★今日の反省点は

●今日は最終回まで配牌、引き牌も悪く、手作りを楽しむという余裕などなく、手が悪いので遊びが多くなってしまったが、たまに良い手でくると挑戦してしまい、**リーチの一發は避けるべき事を忘れてしまい、相手を喜ばせてしまうこともあった。**

●私の麻雀の楽しみ方も変わってきたのでどの場も良くても悪くても上がれなくても一期一会の世界を楽しむことが多くなったが、今日はどうしたことか、一色、チャンタ、国士無双を狙う機会もなかったように中途半端な配牌と引き牌が多かった。

●今回はドラ隣りやドラが一枚の時はクッキをそれなりに待ち成功した場面もあった。この時に注意すべきは見切りが大事ドラ1枚を持って沈没したこともあった。

●手が悪くて**トイツある時はチートイを狙ったことが3回あったが、聴牌したのは二盃口のみであった。**これも捨て牌に萬子の中牌が多かったことから上家が七満を捨ててくれた。

●前日も鳴き3色の場合は第一副露が役に絡まないとダメと言っていたので、今日も確認すると結論は、**3色は第1副露のみという事なり。**

2020. 10. 23 ●秋雨や四度目上がる国士無双 ●秋雨や麻雀運に恵まれぬ

★今日の主だった感想は次の通り

①この一週間は妻を病院に連れて行ったり、退職者会に出掛けて行ったりでそれなりに忙しかったが、「健康麻雀に参加して三年」のまとめを退職者会で印刷できたことが一番の収穫であった。今日は、皆さんの前で話をして部長と事務局長の二人にあげることを了解してもらい、部長からみなさんに回すので皆さんで見てくださいとのお挨拶があり。こんなことはクラブとしても初めての事であり、みなさん感心していた。

②「健康麻雀に参加して三年」を皆さんに披瀝したことで、私に運が乗り移ったのか一回戦一九牌、字牌の多い配牌となった。いつものようにチャンタを狙いながら国士無双を狙うことにしていたが、「中」を対面にポンされてしまったので、思わず国士無双を諦めたと、「そんなに嘆くこともないのでは」と上家の円田さんに云われてしまった。しかし、事態はそこから動いた。対面の「中」ポンから私に字牌が集まり出してチャンタの123万、123筒の23をすべて入れ替えてしまい、いつしか字牌も捨てる程になった。三段中ごろ「南」を引き牌して「中」待ちの聴牌となってしまった。皆さんは既に私が国士無双が上がれないと思っていたらしく、私に言葉を掛けてくれた円田さんも聴牌していないと踏んで、自分の手の良さから最後の「中」を捨ててくれた。ロンに驚いたことは言うまでもない。最初のゲームに円田さんに-1300を振り込んでいたので大きな利息を付けて返してもらった。これで国士無双は四度目である。10/9に1/2500の三連刻(子の跳満)、10/16に1/2000二盃口(子の満貫)、10/231/2325国士無双(親役満と連続して、目標としている1/500以上を三回連続で達成したことは、本当に運恵まれたとしか言いようがない。

③今日は満貫にも良く恵まれたことは運に恵まれたことに過ぎない。何でも無い手で親なのでリーチして裏ドラがのりあつという間に満貫に変わってしまったこともあった。このチャンスを生かして大きなプラスにして、他家がリーチしたら金持ち喧嘩せずで格言の通り徹底的に下りた。

④8人の参加の2卓でお休みがないので忙しいことこの上なし。今年度は一期一会の場の状況を楽しむように心掛けている。何しろ一期一会の場の状況を楽しむように心掛けているので、配牌や引き牌が悪くてもそれなりに対応するよう訓練されてきた。今日も我慢の子で国士無双が上がれた。下記も聴牌していたので6・9索を待って2盃口にしようと思ったがダメ聴牌していたが、8筒を宮崎さんが振りこんだので一盃口ドラ1で上がってしまった。今日は宮崎さんから安い手で上がらせてもらった。



⑤5試合29ゲームも配牌と引き牌に恵まれたことに尽きる。遊びの手作りで鳴いて一色に決め上家から親満貫を上がったり、チートイに挑戦し二盃口に挑戦したが一盃口に終わってしまった。今日のトータルは4勝1敗29ゲーム+752で終わった。

⑤今日の特記事項は、私が1/2325の国士無双をあげたことに尽きる。4度目なので感激も少ないが、記録として一つ増えた事は嬉しい限りだ。

1回戦は「今日の主だった感想には次の通り」②に書いたように、何しろ振り込まないようにしていたが振り込んでしまったものの、我慢の子で役満が上がれた。南を引き牌して

まさか因縁の「中」待ちとなり、上がれるとは思っても見なかった。だから一期一会の世界は面白い。上がれる上がれない関係なくチャンスが来たら挑戦すべし。



振込み-1300のみで5ゲーム+429でトップに終わる。

2回戦は、皆さんの運量に付き合ってしまう。こちらも単騎待ちの子の満貫上がるも間に合わずマイナスとなる。

リーチ、ドラ3南、子の満貫 1索単騎待ち



振込みもなく6ゲーム-76で2位となった。

3回戦は配牌や引き牌もよし。親の時は先制リーチ。カンチャンの時は両面に代えるべくダマ聴牌して時を待つ。親満貫と7700を確保して圧倒的にトップに立つ。リーチピンフが裏ドラ2になって親満となってしまった。

リーチ、ツモ、ピンフ寝裏ドラ2で親満貫



リーチ、ツモ、ドラ1 親7700



振込みなく6ゲーム+214のトップに終わる。

4回戦は、配牌は悪かったが、引き牌よく、-2000を振り込んだもののこまめに上がり、他家に付き合うこともなく5ゲーム+89の2位に終わる。

5回戦は配牌や引き牌もよし、対面の猛攻に耐えて、親の時に白、中、ホンイツの親満貫を確保して、何とか振込みなく7ゲーム+96の2位に終わる。



★今日の試合結果

①振込2 (-1300、-2000)

②5戦4勝1敗+752に終わる

1回戦5ゲーム+429	振込み1	トップ	-1300、親役満48000
2回戦6ゲーム-76	振込み0	3位	
3回戦6ゲーム+214	振込み0	トップ	親満貫12000
4回戦5ゲーム+89	振込み1	2位	-2000、
5回戦7ゲーム+96	振込み0	2位	親満貫12000

★今日の反省点は

●今日は最終回まで運量があった。両面に拘りドラ3をイシャテンで逃したことが残念。

引き牌の流れを読むことが大事と痛感させられた。

●選択を間違えて一色にしたら、間違えた方が場で一色になってしまった。流れは引き牌からやってくることを学んだ。

麻雀巧者の円田さんから国士無双上がる

(2020. 10. 23)

私が島町麻雀クラブに 2017. 9. 1 から参加して三年が経つ。麻雀を楽しむなら深く楽しむために自分なりの目標を持って参加してきた。目標として次の3点を掲げて参加した。

- ①何回役満で上げられるか挑戦すること。
- ②実践した麻雀のデータを記録すること。
- ③麻雀について何も勉強していないので基本から勉強すること。

その目標の一つである役満は意外と早く 2017. 9. 8 (平田さん) に国士無双が実現してしまった。二回目は 2018. 4. 30 (岡部さん)、三回目は 2019. 11. 22 (大橋さん) と年一度は実現している。その後、目標に 1 / 500 以上の出現率の役を何回上げられるかも加えて、四つの目標を掲げて実践して今日に至っている。今日はこれまで貯めてきた3年間の麻雀記録をまとめて「健康麻雀に参加して三年」というタイトルの手作り冊子を、会員の皆さんの前でお世話になっている部長と事務局長に差し上げることを紹介させてもらった。部長が皆さんで見てくださいとのお誘いをいただいたのでホッとした。今日は参加する前からもしかしたら役満でも出るかなと思ってカメラを持って行った。そんな予感が実現するなんて夢にも思っていなかったが、まか不思議にも、それが皆さんの協力で何とか実現してしまったのだから驚くばかり。

私が何時も大事にしているのは、第一回戦は振り込まないことを心掛けているも、配牌、引き牌も悪いので、今日も出だしから早々にリーチ、デンデンのー1300を振り込んでしまった。次も配牌をみると、記憶では一・九牌、字牌で8種と一面ツウもなし。これを見てチャンタか国士無双狙い、駄目だったら安全牌にしてこの回は諦める以外ないと思って望み、中牌から切りだしていく。



そのうちに三万、九万、二筒、發、が入った。チャンタ、国士無双かと思ひしや、中段で対面が「中」をポンしてしまったので、思わず「中」が三枚消えことから、国士無双も消えてしまったといったら、上家の円田さんに「がっかりすることでもないのでは」と言われてしまった。麻雀は運が七分技三分と言われているように、まか不思議な事も起きるものだ。「中」をポンされて諦めていたら、そこから一、九牌、字牌が集まりだしたので、チャンタは取りやめ二万、三万、二筒、三筒、八筒を捨てた。その途中で一索と西も二枚になり、捨てて最後に南を引き牌して聴牌してしまった。これには自分自身も期待していなかったこともあって驚いてしまった。

早く終わった隣のメンバーも後ろで見ていて引き牌のリズミ的なよさで聴牌したことに感心して見ていたという。最初にヤオチュウ牌が8種もあり、あと4種で国士無双がテンパイする手牌であり、中段で「中」がポンされてしまい、嘆きが入るも乗りだした舟とばかり、無理と思ひながらも、この後に何を引いてくるかは分からないからチャレンジすることに切り替えたことで運を引き寄せて、国士無双の聴牌になってしまった。上がる、上がれないに関係なく、こういうことが手牌を育てる楽しみなのだ実感した一瞬でもある。

私が麻雀倶楽部で知る限り一番の麻雀巧者の円田さんをはじめ、外のメンバーも私が国

2020.10.30 ●晩秋や友の嬉しき四暗刻 ●十月も麻雀例会楽しみぬ

★今日の主だった感想は次の通り

①先回国士無双を上がったことで気分よく迎えた今日の麻雀例会である。脊柱管狭窄症で左足の脛の痛みは相も変わらずつきまとう。「麻雀巧者の円田さんから国士無双を上がる」のエッセイを持って行くも、円田さんは要らないという。やはりプライドが許さないのであろう。何かこの人の人柄が見えてしまった。無理はしないことが懸命なので事務局長の宮崎さんに渡すことにした。

②今日のメンバーは添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村の8人である。始まる前に、添田部長も私の「健康麻雀に参加して三年」を読んでいいことが書いてあるから読んでと紹介してくれたが、誰も声を上げる人もなく無関心だった。まあ、参加している皆さんは、ここにきて麻雀を楽しく過ごせばいいやという、その程度の人達であることも判った。

③8人の参加の2卓でお休みがないので忙しいことこの上なし。今年度は一期一会の場の状況を楽しむように心掛けている。今日は配牌、引き牌が良かったり悪かったりのリズムが続く中で工夫してそれなりに戦った、最初から振り込まないことを心掛けていたが先手がリーチしたので、安全牌なく筋を追いかけて、1索と7索が出ていたので4索を振って子満貫となってしまった。この振込みを契機に3回(-8000、-2900、-12000)も振り込みとなった。これでは勝てるわけがない。

④5試合26ゲームも配牌と引き牌の良し悪しのリズムが交互に来たので乗り切れた部分もあったが、悪い時に振り込んでしまった。恵まれなかった時は、遊びの手作りで鳴いて一色に決めて上がれず。手が悪いので七対子2回ほど挑戦し、2回ともイシャテンで終わってしまった。今日のトータルは**3勝2敗26ゲーム-172**で終わった。

⑤**今日の特記事項は、岡部さんが4暗刻積もることに尽きる。**遊ぼうと言って上家の振込みも上がらず自分で積もったことに拍手である。私も振込みなしなのに-102であった。岡部さんの4暗刻に一句添える。

1回戦は何しろ振り込まないことに心掛けているが、先制リーチが掛かり、安全牌がないとどうしても筋を追う。1索と7索が出ていたので4索の子満貫を振り込んでしまったが、この回は、リズムでこまめに取戻し、**振込み-8900のみで5ゲーム+31の2位に終わる。**親なので連荘するためダマ聴牌して8万を積もる。ツモ、ピンフ、三色、7700を上がる。



2回戦は、皆さんも平凡な上がりが続き、**振込みもなく4ゲームで+75で1位となった。**私の子満貫が動いただけの平凡なゲームであったことか。

リーチ、三色、ドラ1、子の満貫



3回戦は配牌や引き牌にも悪く、**振込みなく7ゲーム-102で3位に終わる。**これは岡部さんが四暗刻ツモの役満を上がったことで三人が負けこんでしまった。

4回戦は、配牌、引き牌悪しで先制リーチに安全牌もなく、西が一枚場に出ていたので振り込んでしまい子の跳満となってしまった。この回は二回振り込んでしまっは勝てるわ

けがない。 **5ゲーム-207で4位に終わる。**

5回戦は配牌や引き牌を見て少しは頑張れるかなと思って何とかプラスにすることを心がける。これをプラスに終わらせることが出来ると2ヶ月で勝敗は23勝23敗に持ち込めるので、振り込まないように心掛けこまめに上がる。 **振込みなく5ゲーム+31で2位に終わる。**

★今日の試合結果

①振込3 (-8000、-2900、12000)

②**5戦3勝2敗-172に終わる**

1回戦5ゲーム+31	振込み1	2位	-8000、親7700
2回戦4ゲーム+75	振込み0	トップ	子の満貫8000
3回戦7ゲーム-102	振込み0	3位	(岡部さん子の役満4暗刻積もる)
4回戦5ゲーム-207	振込み2	4位	-2900、子の跳満-12000
5回戦5ゲーム+31	振込み0	2位	

★今日の反省点は

●今日は最終回まで配牌、引き牌の良し悪しも交互に訪れたので悪い時に振込も多くなってしまふ。安全牌がない時にうっかりミスで一枚場に出ているからと安全と思って振り込んでしまふ。字牌の時は要注意。着いている岡部さん喜ばせてしまうこともあった。

●私の麻雀の楽しみ方も変わってきたのでどの場も良くても悪くても上がれなくても一期一会の世界を楽しむことが多くなったが、今日はどうしたことか、一色、チャンタ、国士無双を狙う機会もなかったように中途半端な配牌と引き牌が多かった。

●リーチに対しては、警戒感をもつが、鳴いている場合も一色なのか、どの程度聴牌しているのか見極めが難しい。暗刻で開いている場合も見極めが難しい。役をポンしてドラ3など云う場面を見ると、当たりの見極めは本当に難しい。

●今日はどうしたことか3色が2回も聴牌して上がった。配牌を見て3色が出来そうなきはそのあたりの牌は我慢で持つことが大事。

●今回一番残念だったのは何時もならシャボンで待つと当たり牌は2枚になるので、そうするが今日は2つの牌が1枚しかないのので、カンチャンにすると2枚と読んでカンチャンに設楽裏目になってしまった事だ。やはりシャボン待ちのこれまでの手で押すことを大事と実感したゲームがあった。

2020. 11. 6 ●秋深み外野うるき雀士かな ●神無月コロナ休みの雀士五人

★今日の主だった感想は次の通り

①今日のメンバーは添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村の8人である。始まる前に、添田部長の話は、年末までに大会をするかどうかの提案であったが、同じメンバーでは大会などはやらなくてもいいのではという意見が多かったので取りやめることにした。三卓が揃うほどになったら大会を開くこととした。

②今日の麻雀例会でも脊柱管狭窄症の左足の脛の痛みは相も変わらずつきまとう。岡部さんも健康麻雀だから手作りを楽しんでいるということは、これまでの実績から判るが、この人は自分が高い手をしている時に、他人が安い手で上がるとすぐにケチをつける。今日も役満を二回聴牌したが安い手で上がられてしまったとボヤイテいた。それも麻雀であることがわかっているにも悔しいのであろう。健康麻雀だからこそ手作りすることが大事なのであるから、みなさん誰しも実践していることだ。

③何しろ隣の卓が早く終了すると人の手を見て口出しするのは岡部さん、今日も岡部さんが大橋さんの後ろでどうのこうのというので添田さんが注意していた。その通りだと思う。これまでも注意してきたが、最後、相手が上がったという自分の牌を直ぐに投げだすのは、円田さん、岡部さんの二人が酷い。注意してもやるのでなにもいわなくなってしまうが、現役時代の賭け麻雀の名残が出ている。

④健康老人麻雀なのだからのんびりやればよいのに自分たちのリズムに合わないと、遅いと口出しをしてしまうのは、岡部さんと円田さんが多い。健康麻雀なので時を楽しめばよいのにとと思うが。この二人の時は私も気を抜かずに対応している。出来るだけダマ聴牌で落とすように心掛けている。麻雀は運7分技3分なので、岡部さんや円田さんが私に役満を振り込むこともあるのだ。8人の参加の2卓でお休みがないので忙しいことこの上なし。

⑤今年度は一期一会の場の状況を楽しむよう心掛けている。今日の前半3回は配牌、引き牌が良かったが、後半2回は悪かったのでリズムも悪く、振り込まないことを心掛けていたが-1000、-2000と2回振り込んでしまった。最終回、親の時に子の跳満を上がられてしまったので親被りし多分がそのまま回収できずにそのまま沈んでしまった。3回戦に子満貫2回上がったので、今日のトータルは**3勝2敗28ゲーム+133で終わった。**

1回戦は配牌もそれなりに来ていた。何しろ振り込まないことに心掛けているが、今日はその通りとなった。というのはみなさん安い聴牌で上がったので平凡なゲームに終わった。この回は、リズムよく安い聴牌をものにし、**振込み0で5ゲーム+32の2位に終わる。**

2回戦は、配牌も上がり易いピンフ飲みのような手が多く、皆さんも平凡な上がりが続き、**振込みもなく5ゲームで+39で1位となった。**+39位でトップというのだから点棒の動きの少なさを物語っている。

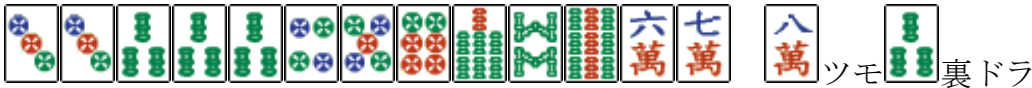
3回戦は配牌や引き牌の良さも1回戦から続いてきた。そのために親落としのリーチをして満貫が2回上がった。**振込みなく6ゲーム+159の1位に終わる。**この時に思ったのは運7分技3分であることを痛感する。下記はチートイ崩れであるが出易い9索絡みのリヤメンなのでリーチして親落としを狙った。

リーチ、ツモ、タイヤオ、一盃口 ドラ1 子の満貫

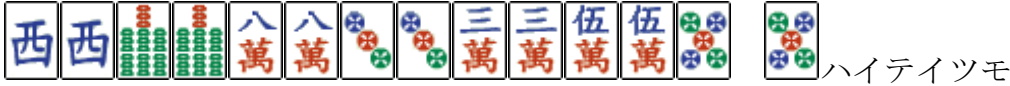


からリーチする人が多くなる。これでマイナスを何とかクリアできた。

リーチ、ツモ、裏ドラ 3 子の満貫 **振込み0で7ゲーム+42の2位に終わる。**



2回戦は、配牌も引き牌も悪く、苦勞して上がりに向けて手作りしながら3段目の終わりでチートイが聴牌したが、マイナスなので上がれないと思っていたのでリーチ棒も節約。それが何とハイテイツモとなってしまった。チートイ、ハイテイ、ツモ 6400点



振込1 (-8000) 6ゲーム-38で4位となった。 点棒の動きの少なさを物語っている。

3回戦は運量のなさは1回戦から続いてきた。そのため-3900 振り込んでしまう。最後の時にドラ入り一気通貫が4段目手前で聴牌したので上がれないと思ってダメ聴牌としていたら対面の阿部さんが振りこんでくれたので、子の満貫となりマイナスを解消した。

一気通貫、ピンフ、ドラ 子の満貫



振込1 (-3900) 6ゲーム+7の3位に終わる。 3人が勝ったゲームだった。

4回戦は、配牌、引き牌悪も悪くてどうしようもないので、自然と上がり放棄するも、途中でリーチが掛かってしまうと、中牌は捨てづらいので字牌を捨てて行く。今回はドラが字牌であることを確認もせず、持ってきた南をそのまま捨ててしまったら上家の一鳴き聴牌の子の跳満に振り込んでしまった。**振込み1 (12000)、6ゲーム-89で3位に終わる。**

5回戦は上家の宮崎さんは親で三本も積まれ全て親満貫を振り込まれたり、積もったりで突き合せられてしまった。宮崎さんの一人勝ち。**振込み0、7ゲーム-90で2位。**

★今日の試合結果

①**振込3** (-8000、-3900、12000)

②**5戦2勝3敗-168に終わる**

1回戦7ゲーム+42	振込み0	2位	子の満貫8000
2回戦6ゲーム-38	振込み1	4位	-8000 子の満貫 チートイ子6400
3回戦6ゲーム+7	振込み1	3位	-3900 子の満貫8000
4回戦6ゲーム-89	振込み1	3位	-12000 子の跳満
5回戦7ゲーム-90	振込み0	2位	

★今日の反省点は

●今日は今日の麻雀リズムは配牌も引き牌も悪く苦勞しっぱなしだった。運7分枝3分と格言の通りだが、運量が悪くては我慢の麻雀になってしまった。焦って字牌のドラも忘れて打ち込んでしまう。**どんなことがあってもドラを確認することが大事。**

●何時も捨て牌と手の内の牌を見て自分の捨て間違い、選択牌の間違いを見るようにして聴牌出来ない場合は上がりに向かわずに安全牌を心掛けているが、その余裕もない程運量がなかった。

●今回一番残念だったのは、チートイの格言、役牌がある時はトイトイへを実行して役牌つきホンイツトイトイ聴牌したが、皆に警戒されてノーテン罰金三千点のみに終わっ

2020. 11. 20 ●木の葉舞う夢見て終わる大三元 ●理想なるチートイ上がる小春かな

★今日の主だった感想は次の通り

①今日のメンバーは添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村の8人である。1今日は午後から雨という予報も外れて生暖かい風が吹き込んでくるので硝子戸を締める始末。12月最初は大腸ポリープの手術で岡部さんがお休みするとか。円田さんも体験者、近藤さんや大橋さんも切腹手術をしているというように皆さんそれぞれ体験している。その人たちがここに集い好きな麻雀を楽しむことは素晴らしいことだ。それ故に麻雀の集いを大切にしたい。

②今日も麻雀例会前に接骨院に行ってマッサージやストレッチをしてもらったが左足の脛の痛みは相も変わらずつきまとう。健康麻雀だから手作りを楽しんでいるものの、格言の如き運7分技3分であることを実感する。今日も我慢の配牌と引き牌だった。自分の親の時は卓の位置に関係なしに近くの卓に座った。何しろトイレの近いのには参る。

③配牌も引き牌も悪いとなると、我慢に徹するも、誰が1強になってしまい、親の時に積み上げて、他人が親になったら、どんどん上がって行く運量のある人には点棒を供出するのみで、どこかでダマ聴牌をと心掛けるも、運量のない時はそのリズムにも乗れないこと何時も思い知らされる。何しろ良くても悪くても一期一会の世界を楽しむことにしているものの、今日の麻雀リズムは苦労しっぱなしだった。最初から上がり放棄をしてチャンタ、国士無双、1・9牌字牌等のチートイツを目指したりもしたが歯ごたえはなく全て安全牌化して終わってしまった。

④今日の特記事項は、最後の親の時にまずは小三元を聴牌し白があと1枚残っているので大三元に挑戦したことだ。最終的にチートイに振り込んでしまったが、役満は挑戦する機会が到来したら上がる・上がれない別にして挑戦することが大事。ここで運量のある人ならば白・3索・4索のいずれかを引き牌するのにとと思うが、今日の運量からしてここまでかと思ひ残念だった。



⑤今年度は一期一会の場の状況を楽しむよう心掛けているものの、麻雀は運量、配牌、引き牌が悪ければ、頭を使って悪戦苦闘しながら、上がりへ向けて手作りをしているものの、どうしてもならない引き牌だと役など考える余裕もないことから取りえず何でもよいから聴牌することしか考えられない。前半2回で-300を超えてしまうのだから今日は話にならない。それ故にダマ聴牌で安く上がったり、我慢を重ねて一人聴牌で点棒を稼いだりして何とか耐え忍んだ。何しろ相手のダマ聴牌に何回か打ち込んでしまった。ダマ聴牌は見分けがつかないので苦労するが、打ち込んでからやったらと筋を追っては危ないこともの体験してしまった。今日のトータルは2勝3敗27ゲーム-208に終わった。

1回戦は配牌も引き牌も悪く、苦労して上がりに向けて手作りしながら、初回だけは振り込まないことに心掛けてきたが、円田さんの親の時に一盃口ドラ頭（發）でダマ聴牌のリヤメン待ち-7700に振り込んでしまった。運がなく一回も上がれず、その分を挽回できずに、それ以降は皆さんの積み上がりに付き合うのみで振込み1で5ゲーム-142の4位に終わる。何と言ってもダマ聴牌の役付きで上がれる場合は、それはセオリーであること痛感させられた。自分でもそうするに違いない。

2回戦は、配牌も引き牌も悪く、苦勞して上がりに向けて手作りを目指すも、岡部さんの運量の凄さに3人が呑み込まれてしまい、振込み0で-160とは恐れ入りました。三本積みなので、今回はダマ聴牌などを狙って落としにかかるどころの余裕などなく早く代わってくれることを願っていた。**振込み0の6ゲーム-160で3位となった**。岡部さんの一人勝ちである。

3回戦は運量のなさは1回戦から続いてきた。そのため2つの対子が揃えばチートイを目指した。それまで何回も国士無双、チャンタ、チートイを目指したが聴牌すること一度もなし。今回もマイナスに終わるかと思っていたら、3段目に入ってチートイが聴牌したので、土田プロのセオリー●**チートイは聴牌したら即リーチが基本である**ことを守り、即リーチしたら一発で積もってしまった。それも4枚目の3筒で皆さん驚いていた。ドラも何もないが子の満貫となってしまった。ここに麻雀の一期一会の世界を実感した。リーチ、一発ツモ、チートイ 子の満貫



振込み0で6ゲーム+88のトップに終わる。

4回戦は、配牌、引き牌悪も悪くてどうしようもないので、自然と上がり放棄するも、途中でリーチが掛かってしまい、安全牌も尽きて、中牌なぞ切れず止む無く一・九牌を切れることになるばそれを見込んで待っているのだから手の打ち様がない。今回はみんなが安い手で上がったので点棒の動きも空かなかった。それでも-2900で安くて良かったが、それさえ挽回できないほど運量なし。**振込み1(-2900)、4ゲーム-39で3位に終わる。**

5回戦は上家の宮崎さんはよく振り込んでいた。こまめに上がったり、一人聴牌で皆さんから3000点貰ったりで何とかプラスを維持した。最後は小三元を聴牌ながら大三元を狙っていたが宮崎さんのチートイに振り込んでしまったが、点棒の動きが少なかったので+45でトップとなってしまった。**振込み1(3900)、6ゲーム+45でトップに終わった。**

★今日の試合結果

①**振込3** (-7700、-2900、-3900)

②**5戦2勝3敗-208に終わる**

1回戦5ゲーム-142	振込み1	4位	親-7700
2回戦6ゲーム-160	振込み0	3位	
3回戦6ゲーム+88	振込み0	トップ	子の満貫 8000
4回戦4ゲーム-39	振込み1	3位	-2900
5回戦6ゲーム+45	振込み1	トップ	-3900

★今日の反省点は

●今日は今日の麻雀リズムは配牌も引き牌も悪く苦勞しっぱなしだった。運7分枝3分と格言の通りだが、運量が悪くては我慢の麻雀になってしまった。

●何時も捨て牌と手の内の牌を見て聴牌出来ないことを確認した時が多かった。聴牌出来ない場合は上がりに向かわずに安全牌を心掛けているもダマ聴牌に振り込んでしまう。

●今回一番残念だったのは、対子の流れがあるのに、対子がらみの二面ツウになったので**選択を間違えた、面ツウを選択したことが裏目に出てしまった。捨て牌から見てチートイツを選択していれば聴牌していた。流れに逆らうなである。**

1回戦は④特記事項の通りである。振込み0で6ゲーム+179でトップに終わる。

2回戦はメンバーが変わり、安い聴牌でのやり取りしかなくあっという間に4ゲームのみで終わってしまった。ここでダマ聴牌に-2000振り込んだが、こちらもそれなりにダマ聴牌の応酬で取戻し、振込1-2000で、4ゲーム+6で3位に終わる。

3回戦は運量が付いていたのでソウズの一色に染めて4ゲームという短時間の中で子の満貫を勝ち取ることができた。振込0で、4ゲーム+57で2位に終わる

ホンイツ、一気通貫、中、ドラ1 子の満貫



4回戦は、配牌、引き牌悪も悪くはなかったが親の東々で聴牌していた所にドラの中を持って来てしまった。ション牌なので聴牌を崩すのか、親の聴牌で押し通すのか決断を迫られたので聴牌を取ることにしてドラの中を切ったら対面のダマ聴牌のチートイツに-6400に振り込んでしまった。やはり下りるべきだったか悔やまれる。振込み1(-6400)、5ゲーム-94で4位に終わる。

5回戦は、前回で運量に見放されたかと思しや、1ゲーム目も運があったハイテイツモで上がってしまった。

リーチ、ツモ、ハイテイ、ドラ1で子の満貫



運量が付いている時はこんなことも起きるのだから不思議だ。聴牌していたがリヤメン待ちにと思っていたら下家が6筒を切ったので次に残り少ないのでリーチしたら一発で積もってしまった。つきの何物でもない。

リーチ、一発、ツモ、ドラ2 親の満貫



振込み0、6ゲーム+200でトップに終わった。

★今日の試合結果

①振込2 (-2000、-6400)

②5戦4勝1敗+348に終わる

1回戦6ゲーム+179 振込み0 **トップ** 親の跳満 18000

2回戦4ゲーム+6 振込み1 **3位** -2000

3回戦4ゲーム+57 振込み0 **2位** 子の満貫 8000

4回戦5ゲーム-94 振込み1 **4位** -6400

5回戦6ゲーム+200 振込み0 **トップ** 子の満貫 8000、親の満貫 12000

★今日の反省点は

●今日は今日の麻雀リズムは配牌も引き牌も良く運7分枝3分と格言の通りだった。

●何時も捨て牌と手の内の牌を見て聴牌出来ないことを確認し選択が正しかったか、上がっていたのか検証しているが、間違いがなかった。それでもダマ聴牌に振り込んでしまう。

●一番残念だったのは、対子の流れを読んで聴牌しても、時すでに遅く、上がれなかった。

●親で聴牌していたので運悪くドラを持って来て振り込んだこと。

2020.12.4 ●ダマ聴の子満振込み冬に入る●冬温し親満続きトップ取る

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は岡部さんが大腸のポリープの手術後なので、その様子でお休みすると言っていたこともあって、2卓のメンバーが揃うのか心配していたが、順調に手術も終わったので参加すると出てきたので、メンバーも変わらぬ添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村の8人である。やはり12月ともなれば、部屋の気温も下がるので電気ストーブを入れるが、この類の暖房は全体が温まらないので私は寒かった。

②今日も麻雀例会前に接骨院に行ってマッサージやストレッチをしてもらったが左足の脛の痛みは前よりは少し和らいだような気もする。今日も一期一会の世界を楽しもうと最初の配牌を見ると、今日の全体を占うかのように1段目で一面ツウもない配牌と引き牌であった。このことが象徴しているように最初は振り込まない事をモットーにしているのにもかかわらず、子の満貫を振り込んでしまう。これで今日もマイナスのスタートとなってしまった。

③全体的に見ると、配牌を見て上がれるか、上がれないか、判断して最初から「東北とつげき」のアドバイスしている4つのメンツウの位置を決めて、それ以外はさっさと捨てて行く戦法に出たが、選択を誤り振りテンになること2回もあった。七対子も土田プロ流で臨んだが上手くいかなかった。捨て牌と自分の手の打ちの牌を見て、切間違えなければ2回程積っていたケースもあったように麻雀は選択のゲームを痛感する。

④今日の特記事項は、1回戦も先親で簡単に流されてしまう。これまでも先親は嫌いというジンクスがあり、ラス親も簡単に流されるというジンクスがある。3回戦目はラス親が回ってきたのでどうかなあと考えていたら、突然、配牌も引き牌も良かったので、このチャンスは生かさなくては頑張ってしまう、2回親満貫を続けて上がったことである。

最初の親満貫リーチ、ツモ、ドラ2



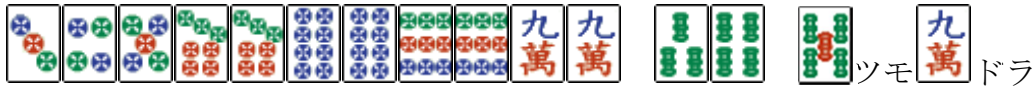
次の親満貫 發、ホンイツ、ドラ2



⑤今年度は一期一会の場の状況を楽しむよう心掛けている。今日の麻雀は運量、配牌、引き牌リズムに波があり、5回も振込み、その内に子満貫1回、親満2回もあったが、波のピークの時に親満を2回続けられたので最終トータル+25に終わったので良かった。今日のトータルは2勝3敗30ゲーム+25に終わった。1

1回戦は振り込まないように心掛けているが、子のダマ聴牌の満貫では、こちら警戒することなく捨て牌していく。それから皆さんのツモ上がりにお付き合いして相当沈んでいたが、最後に子の跳満で上がり2位になったものの独り勝ちされてしまった。

リーチ、ツモ、ピンフ、一口盃、ドラ2 子の跳満



振込1-8000、6ゲーム-4で2位に終わる。3人負けである。

2回戦はメンバーが変わり、新たな気分で配牌も引き牌も普通だが、親のリーチに振るも

2020.12.18 ●十二月や聴牌のみや大三元●跳満のチートイ積もる師走かな

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は前回肩の痛むという添田さんも何も言わないところを見ると癒されたのであろう。2卓のメンバーが揃うが揃い、変わらぬメンバーの添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村の8人である。やはり12月ともなれば、部屋の気温も下がるが、最初はコロナの為の換気で窓や部屋戸も開けて空気を入れ替えてから締めて暖房を入れるが慣れるまで寒かった。部屋が狭いので入れるとすぐに暖くなる。皆さんも厚着していることは言うまでもない。

②今日は、先週は何だかんだとやる事が多く麻雀の備忘録の点検などしなかったが、初回は振り込まないことをモットーにゲームに臨んだ。午前中に接骨院に左足脛のリハビリに行ってテーピングしてもらったためか、ゲーム中に痛むようなことはなかったが、何時ものようにトイレの近いのには我ながら参る。今日は前回と打って変わって配牌も引き牌もそこそこに来ているので手作りを楽しむゲームが多かった。その中で単純なミスにより振り込むことも3回程あった。

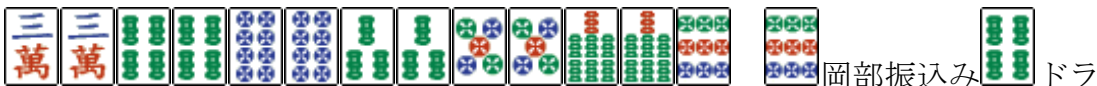
③**今日の特記事項は**、聴牌のみに終わったが3試合中今年度2回目の大三元に挑戦できことだ。この時は他家がツモのみで上がってしまったが残り6段の中に白があったので残念の一言に尽きる。**役満は年一度位しか和了できないのでチャンス到来の時は上がる上がれないを度外して挑戦することが一番の近道だ。**



④今日の4回戦までは点棒のやり取りも少なく5ゲーム程度で終わってしまったが、私にも多少なりとも運量があったことから、一気通貫や3色の両面を狙いやすい方が積もったりもした。**5回戦中3回戦をマイナスにした以外プラスに終わり、それぞれ1回は満貫を上がっているように、麻雀は運7分技3分であることを実感する。その中でも7種7牌の時があり2回あり、中牌を全て捨てて、チャンタ聴牌1回、チャンタチー七対子リャンシヤンテンまで行けたのも運量のお陰でもある。それで前回の負けを全て取り戻した。今日のトータルは**4勝1敗26ゲーム+122に終わった。****

1回戦はまず振り込まないように心掛ける。運量もあって対子が多いのでチートイを狙うも、土田プロの引いてきた新しい牌が重なりやすいというジンクスに逆らうことなく、新しい牌を残し古いものから捨て牌して行ったら、**一度も切り間違えもなく6段目で聴牌してしまった。他家の親満貫や子満貫に付き合ったが、この七対子で取戻した。**

リーチ、一発、チートイ、ドラ2、子の跳満



振込0、4ゲーム+33でトップに終わる。

2回戦はメンバーが変わるも、手ごわい相手に宮崎さんがいるので注意するも、単純なミスで彼に振り込む。少牌したというのは近藤さんだったが隣の宮崎さん色々言うのですっかり宮崎さんかと思って安心して中牌の5索子を切ったら当たり(-3900)というので確認すると少牌は近藤さんということを知りがっかり。ここでも運量に支えられて最後子の満貫を上がり、振り込み分を取戻した。

2020.12.25 ●先輩のクリスマスイブ十八翻 ●年歩む何時も意識の東風戦

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は今年最後の麻雀例会である。この前、宮崎さんがクリスマスイブなのでケーキでもみんなで食べますかと言うので、大好きな私は期待していたが、コロナ感染状況下での会食は好まないということで、お金もたまっていることから次回の集金は一律千円にするということになったとか。私は役満を上がっているので五百円でよいことを確認する。

②2卓のメンバーが揃うが揃い、変わらぬメンバーの添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村の8人である。三密を避けるということで、最初は部屋の窓などは開けっ放しで空気を入れ替えてから締めて暖房を入れるまでが寒かった。皆さんも厚着していることは言うまでもない。

③今日は、午前中に接骨院に左足脛のリハビリに行ってからクリスマスイブなので妻に頼まれたケーキを蓮田まで買いに行き、帰って来たら麻雀例会すれすれの時間となってしまったこともあって、最初のゲームから何か忙しく落ち着かなかったことは否めない。全ゲームを振り返ってもミスの連発である。ゆっくり考えれば岡部さんには遅いと文句をいうし、受け流しているが健康麻雀だから大らかにと。性分なのであろう。配牌も引き牌もそれなりに来ているものの、相手あつての事だから自分の思うようにいかないところに麻雀の面白さがある。

④今日の特記事項は、大橋さん4倍満貫達成である。おめでとうございます。四試目の時だったか隣の卓で大橋さんが数え4倍満貫の18翻を積み大騒ぎになっている。こんなことは麻雀倶楽部始まって以来の事であり、11/13の近藤さんの「役満地和」に続き「大役の数え4倍満貫」である。本人始め外の3人もびっくりしていたことだろう。麻雀の一期一会の世界で運量がある時はどんな役が来るからわからないので大いに挑戦すべきである。私もそうしているものの、そのチャンスは年一回あるかないかである。★島町麻雀倶楽部のルール決めごと、12で満貫の数え方「●満貫は6～7翻 ●跳満は8～9翻 ●倍満は10翻 ●3倍満は12翻 ●役満・4倍満は13翻以上」と定められているから、4倍満貫ということになり、役満には該当しない。

ホンイツ、トイトイ、發、三暗刻、ドラ9 18翻=4倍満貫



④毎回のことながら東風戦を意識して振り込まないように心掛けているものの、3回戦までに毎回1回は振り込んでしまう。今回の1回戦目はダマ聴牌、2回戦目は先制リーチに対して自分も満貫の聴牌なので勝負して子の満貫を振り込んでしまう。3回戦目は子のリーチに安全牌がなく、ション牌の字牌を切って満貫を振り込んでしまった。4回戦と5回戦は勝負せず振り込まないことに心掛け、安全牌1枚を勝負の時まで持ち続け何とか切り抜けた。今日のトータルは2勝3敗28ゲーム-118に終わった。

1回戦はまず振り込まないように心掛けるもダマ聴牌の振込みはショック。その直後に運量もあって、振り込んだ分は取り戻さねばとタイヤオ、ドラで聴牌したのをよく見ると、2筒5筒8筒の三面待ち。自分が8筒を三枚、5筒一枚、2筒二枚使っているの、振り込む確率は低いと見て自分で積もる以外なしと決めてリーチし、三段目に入ってすぐに四枚目の8筒を積み子満となった。

リーチ、ツモ、タイヤオ、ドラ1、子の満貫



振込1 (-2600) 4ゲーム+64でトップに終わる。

2回戦は、1回戦は運量もあったことから振込んだ分を子の満貫で取戻し気分よく臨んだが、メンバーが変わるもと、相手の打ち方も変わるので手ごわい。満貫ある手の内のイシャテンなので、先制リーチに対して聴牌と同時にリーチした。運悪くドラを持って来てしまっはお手上げの満貫を献上してしまった。振り込んだ分のみのマイナスとなった。

振込1(-8000) 5ゲーム-で-76で4位に終わる。

3回戦は、極端に配牌、引き牌が悪い。最初から国士無双、チャンタを狙う以外ないような配牌なので、この回は中牌から切りだしていくのが常だった。先制リーチに対して捨てる牌がなく止む無くション牌の字牌切ったら子の満貫振込みとなってしまった。また、皆さんの満貫上がりにお付き合いして-200点以上を越えてしまった。何とかしなくてはと思って頑張り、子の満貫のダマ聴牌で上がったが、-160点を越えてしまった。

ツモ、西(自風)メンホン 子の満貫



振込1 (-8000) 6ゲーム-161の4位に終わる

4回戦は、振込みもないのに皆さんの運量の良さにお付き合いして点棒を出すのみ。この回はどうしてか2位というのにマイナスで終わるとは寂しい限りだ。

振込0、7ゲーム-6の2位に終わる

5回戦は、最終回はみなさん安い早アガリする人が多いので、聴牌優先の戦い方をしないとあっという間に終わってしまう。今回も親の時に何もできずに終わってしまった。その時の安上がりした人に対してお返しを心掛けたが、相手がトップで手のうちようがなかった。それでもこまめに稼いでプラスの2位を確保できた。

振込み0、6ゲーム+61の2位に終わった。

★今日の試合結果

①振込3 (-2600、-8000、-8000)

②5戦2勝3敗-118に終わる

1回戦4ゲーム+64	振込み1	トップ	子の満貫 8000 -2600
2回戦5ゲーム-76	振込み1	4位	子の満貫-8000
3回戦6ゲーム-75	振込み1	4位	子の満貫 8000 子の満貫-8000
4回戦7ゲーム-6	振込み0	2位	
5回戦6ゲーム+61	振込み0	2位	

★今日の反省点は

●今日は運7分枝3分と格言の通りで配牌と引き牌が悪くては役作りも聴牌もままならずだが、今日は自分の甘さから自滅したところも一度ある。

●先制リーチに対し、中途半端になっているところもあり、徹底した方が良いのかもしれない。切る牌がなければ、これまでも字牌などを振り込んだことが多かった。最終的に下りる牌がない時はリーチと同じ牌を切ることが有効なのかも知れない。

2021. 1. 8 ●新春の我ツキまくる麻雀会 ●迎春やカンドラ増え親跳満

★今日の主だった感想は次の通り

- ①今日も午前中に接骨院に左足脛のリハビリに行ってから、麻雀のオサライの記録帳をみる時間もなかったが、新春なので気楽に大らかに楽しむ麻雀を心掛けることにして、大橋さんの数え4倍満貫の18翻の記録を書いた日記等を彼に上げるために持って出かける。
- ②今年最初の麻雀例会である。昨日、第2回非常事態宣言が出されたこともあって、自治会館使えるかどうか気になっていたが、公共施設の使用は該当していないので自治会館を使用できないという通知は来ていないらしい。皆さんが集まったところで、円田さんは非常事態宣言が撤回されるまでお休みすると宣言された。個人個人の考えだから仕方ないことでもある。外の方は全員出て来るらしい。そうすると1卓ということになる。
- ③今日は1月～3月の会費の集金を行う。これまで会費を使っていないことから500円引きの1000円である。役満を上がった人は更に500円引きだから500円のみを納める。以前はみんなで懇親会なども行ったが、今はコロナ状況下では会食も出来ない。淡々と麻雀を打つのみ。これまでも半年以上も一緒に麻雀を楽しんで来た仲間なので誰もコロナに罹患していないことは判っている。
- ④2卓のメンバーが揃うが揃い、変わらぬメンバーの添田、宮崎、岡部、大橋、円田、阿部、近藤、岡村の8人である。三密を避けるということで、最初は部屋の窓などは開けっ放しで空気を入れ替えてから締めて暖房を入れるまでが寒かった。私も今日はフリースを着こんで参加したので、暖房を途中から入れたが、その温さに気が付かないほどして熱中していたようだ。
- ⑤新春の記念すべき最初の1試合目から配牌の良さは驚くほどである。2試合目もその流れが続く。3試合目は親のリーチで対面に子の跳満を振込みそれだけがマイナスとなったが、4試合目も皆さんの満貫ツモ等にお付き合いしたが、プラスに終わり、最後の5試合目も-3900の振込みはあったものの、最終でプラスも終わり運量があったと言える。

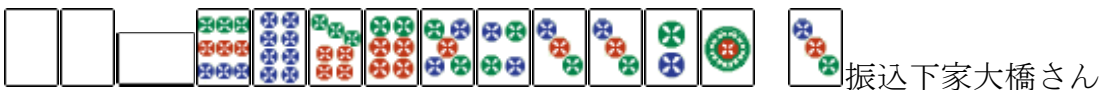
今日のトータルは**4勝1敗29ゲーム+399に終わった。**

1回戦は東風戦なので振込むと挽回できないので、まず振り込まないように心掛けて振込みゼロ。今日はどうした事か、最初から配牌、引き牌よく親の時に三本も積んでしまう。最初の上がりにはホンイツを目指したが捨てきれず。中、ドラ2の7700点で始まる



この時に思ったのは必ず役牌が2枚来ているので、出来るだけ高い手を狙えるものだったら、運量もあるのでイケイケどんどんで、2回目は親満貫を確保した。

ホンイツ、一気通貫、白 親満貫



振込0、6ゲーム+239でトップに終わる。

2回戦は、1回戦に続き運量もあったことから振込み0。対面が明槓してくれたことからドラが一気に4個も増えホンイツを積み親の跳満となってしまった。リーチすれば裏ドラの楽しみもあるが、鳴いてのホンイツは明槓によるドラの増え方しかないのだからそんなにチャンスがあるものではない。それをものしたことは本当にラッキーで3900点が180

00点になってしまった。

ホンイツ、ドラ4、親の跳満

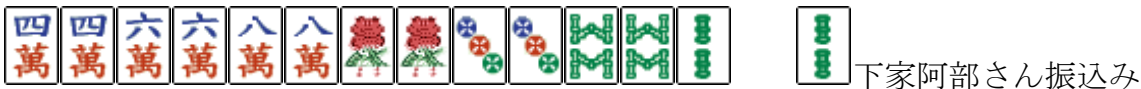


振込0、5ゲーム-で+229でトップに終わる。

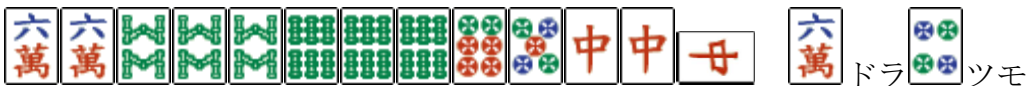
3回戦も運量も悪くはなかったが、親の先制リーチを掛けたら対面岡部さんの素晴らしいメンホン対子に子の跳満を振り込んでしまった。リーチ棒を入れて13000点は最後まで回収できずに終わった。先制リーチだったから諦めもつく。

振込1(-12000)、6ゲーム-136の3位に終わる

4回戦もそれなりに運量はあったが皆さんの運量にも付き合いながら何とかプラスに終わった。ここで一番うれしかったのはチートイを1回もノーミスで聴牌したことである。配牌の中にある牌を引いて来たら、それを残し違う牌をどんどん切っていく。結果はドラも何もないのでリーチ書けずにいたらすぐ下家に振り込まれてしまったので素直に上がってしまう。土田プロの七対子から学んだあとから引いた牌が強いというのを実践し、ノーミスは2回目で最初の段で聴牌して子の16000点であったが7枚目で上がってしまった。



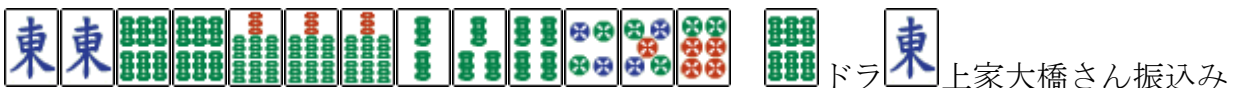
親 中、ドラ2 7700点



振込0、7ゲーム+30の2位に終わる

5回戦は、最初からリーチに対して-3900を振り込んでしまい、このままマイナスで行くかと思ったが、皆さんの満貫ツモに付き合いながら最終の親の時に親満貫であり、何とか挽回してプラスに終わることが出来た。

リーチ、東々、ドラ2 親満貫



振込1(-390)、6ゲーム+37の2位に終わった。

★今日の試合結果

①振込2(-12000、-3900)

②5戦4勝1敗+399に終わる

1回戦6ゲーム+239	振込み0	トップ	親の満貫12000
2回戦5ゲーム+229	振込み0	トップ	親の跳満貫18000
3回戦5ゲーム-136	振込み1	4位	子の跳満-12000
4回戦7ゲーム+30	振込み0	2位	
5回戦6ゲーム+37	振込み1	2位	親の満貫12000

★今日の反省点は

●今日は運7分技3分と格言の通りで配牌と引き牌が良くて新春から3回の先制リーチで振り込んだのは止も得ないにしても、麻雀は選択のゲームなので何回か間違えたが、それ以外で比較的にミスも少なかった。

三人麻雀について (R 3. 1. 1 5)

コロナ非常事態宣言が2 / 7まで一都三県に出されたので、麻雀例会の参加を取りやめる人が出てきたので、8名中7参加で一卓しか成立せず三人余ることから、急遽、3人麻雀を提案して検証することになった。3人麻雀もいろいろあるが、新三麻が四人麻雀に近いので、それを検証した。

●一番四人麻雀に近いのは、新三麻

- 使用する牌は**34種各3牌**、合計102牌。
- 得点計算は、ロン和了の場合は四麻と同じ。**親のツモ和了は子が折半。子のツモ和了は親と子の支払いを5:3とする。**
- 他はすべて4人打ちの麻雀と同じ。たとえば上家からのチーもできる。このことから三人四麻とも呼ばれる。

新三麻の特徴

- 三麻というのは、大概一色をはずして行い、4人麻雀とはいわば違うゲーム。しかし**この新三人麻雀は、4人麻雀を色濃く残した3人ゲームに仕上がっている。**
- ルール概要は通常の4人麻雀で島町麻雀倶楽部ルールを適用。
- 違うのは、全ての牌を1枚ずつ、合計34枚抜くことです。したがって特定の牌（例えば一萬なら一萬）は、三枚ずつしかありません。**当然「槓」はない。槓系統の、三槓子や四槓子、嶺上開花などもない。**
- 持ち点は島町麻雀倶楽部ルール
- 場所決めも何時ものつかみ取り。

●ダイスは以下のようなになるので注意が必要です。

自家	下家	上家
	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12

- 壁（囲圈）の作り方は、四人と同じようです。**つまり各自17山積みます。三山になります。**
- なお、**親が東家、その右隣が南家、そのまた右隣が西家で、北家はない。**
- 北はオタ風扱ひ。**もともとドラ表示牌や、裏ドラ指定牌が西なら、当然ドラになる。
- 北は、対子なら2符つきます。**平和の頭には使えない。**
- あがりの点数も全く四人と同じです。子の満貫なら八千点です。
- 放銃は簡単ですが、**問題は自摸和です。**
- 親の自摸は**、子の折半です。六千点ずつ取られます。
- 子の自摸あがり**がちょっと面倒で、**親対子で、5対3に分けます。**つまり子の満

貫ツモだと、親は五千点、もう一人の子は三千点払う。これはちょっと面倒なので、コメントで一覧表を見てください。

新三人麻雀で子が自摸った場合の、残りの二人の支払い

あがり点	親の払い	子の払い
1000	600	400
1300	800	600
1600	1000	600
2000	1200	800
2300	1400	900
2600	1600	1000
3200	2000	1200
3900	2400	1500
4500	2800	1700
5200	3200	2000
6400	4000	2400
7700	4800	2900
8000	5000	3000
12000	7500	4500
16000	10000	6000
24000	15000	9000
32000	20000	12000

後は島町麻雀クラブのルールで行う。

●起家が決まったら、ダイスを振って当たった山から規定どおり取り出します。違うのは親のチョンチョンは一枚取り、子も取り終わったら、親が再度一枚取って捨て牌する。王牌は14枚でドラ表示牌も四人麻雀と同じ。

●チーも、左隣の切った牌ならできる。

●不聴、いわゆるノーテンは、場に二千点です。つまり一人ノーテンなら二千点払い、二人ノーテンなら千点ずつ払い。

●連荘も島町麻雀倶楽部ルール

●一本場につき三百点つきます。

一試合（半荘）平均40分程度ですので東風戦では20分程度でけんしょうしたところその時間内で終わった。

岡村1～3回戦まで企画担当者として全員に参加してもらい検証した結果、四人麻雀に慣れていたので味気ないという人が多かった。時間つぶしにはいいかも知れないが、正式の試合には採用したくない雰囲気が圧倒的だった。何しろ三枚しかないのポンも最初からしないといけないうことや、北がないのでサイコロの目の順番なども、皆さん戸惑っていた。一応、三名の余剰人員の場合はこういう遊び方で時間を過ごしても良いのではないかと思う。そのために、次回は添田さんが隣の自治会会員1名を参加させてもよいかという提案にOKを出した。規約どおりでなくとも、参加者の了解が得られればOKとすることができるという先例にもなったことは言うまでもない。今回のコロナ問題で参加者しないという人もあり、止む得ない措置である。

2021. 1. 15 ●新春や初めて試す新三麻 ●春遠し恥ずかしき初チョンボかな

★今日の主だった感想は次の通り

①コロナ非常事態宣言が2 / 7まで一都三県に出されたので、麻雀例会の参加を取りやめる人が出てきたので、8名中7参加で一卓しか成立せず三人余ることから、急遽、3人麻雀を私が提案してみんなの了解が得られたので検証することになった。3人麻雀もいろいろあるが、新三麻が四人麻雀に近いので、参加者全員がそれを検証した。

変わらぬメンバーの添田、宮崎、岡部、大橋、阿部、近藤、岡村の7人である。三密を避けるということで、最初は部屋の窓などは開けっ放しで空気を入れ替えてから締めて暖房を入れてからも寒かった。

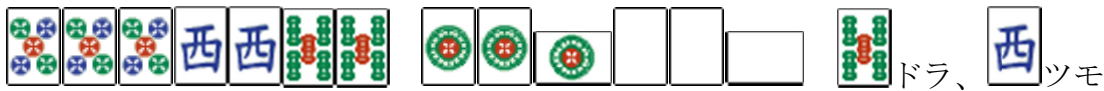
岡村1～3回戦まで企画担当者として全員に参加してもらい検証した結果、四人麻雀に慣れているので味気ないという人が多かった。時間つぶしにはいいかも知れないが、正式の試合には採用したくない雰囲気は圧倒的だった。

②公式戦に戻り、二回戦参加したところ、皆さんも三麻と違って戸惑いもなく、流れもスムーズに行っている。だから新しいことを取り入れることの戸惑いもあることから否定的になるのも理解できる。提案者の私としても健康麻雀なので余剰人員を楽しむ方法の一つとして記録せずに楽しむ程度に収めておくこととしたい。(新三麻のまとめは別紙)

今日のトータルは振り込み0、チョンボ8000点、1勝1敗12ゲーム-47に終わった。

1回戦は、まず振り込まないように心掛けて振り込みゼロ。新三麻でこちらも流れがつかめずいたが、何とか親の時に運量があったのかチートイで役牌があったので、土田プロのアドバイスの通り、チートイ選ばずにトイトイに向かったのが正解で満貫を上がることができた。そこに至るまでは、皆さんも凸凹も少なく点棒のやり取りも少なかったことは言うまでもない。親満貫で私がその分だけでトップになった。

トイトイ、白、ドラ2 = 親満貫



振込0、6ゲーム+114でトップに終わる。

2回戦は、1回戦に続き配牌、引き牌もチートイツの流れがあったことや、国士無双リャンシャンテンで終わったように引き牌に巡れなかったことも事実。チートイは聴牌したら即リーチすることが鉄則だが、親が先行リーチしてからドラなしで聴牌したのでダマ聴牌で親の安全牌で切り替えていたが、ついに切り替えできなくなって既に捨ててある牌待ちになってしまった。親にあたりそうな牌なので、そこで積もることを念頭に置いていたものの、上家が出したらつい当たりと行ってしまった。捨てられると思えば何でもなかったが、親の先制リーチに気を取られて、思わず口から出てしまった不覚でもある。

振込0、6ゲームの-161で4位に終わる。

1回戦6ゲーム+114 振込み0 **トップ** 親の満貫12000

2回戦6ゲーム-161 振込み0 4位 チョンボ-8000

★今日の反省点は

●今日は鳴かず飛ばずの配牌と引き牌でチートイ聴牌即リーチを忘れてしまった。親の先制リーチにローリングしながら聴牌を保っていたもの、捨て牌を持って来たのでツモしかないと思いながら上家が捨てたので当たりとつい口にしてしまった。残念。

2021. 1. 22 ●大寒や振込みゼロの麻雀会 ●一月の麻雀トップ喧嘩せず

★今日の主だった感想は次の通り

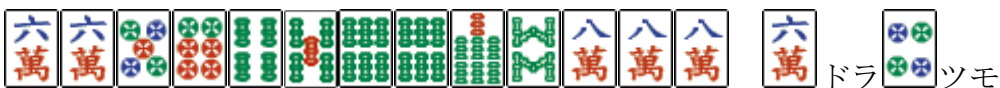
①今日から添田さんが誘った人が来れば四人麻雀二卓成立の筈であったが、その人と連絡が取れずについに一卓と三人麻雀となった。参加者は添田、岡部、宮崎、阿部、岡村、近藤、大橋の七名である。最初の三人麻雀は添田、宮崎、岡村で始まる。前回は慣らし運転だったが今日から本格戦。三人麻雀も添田さんが声を掛けた人が自治会館でまごついているのではと探しに行ったことなどもあって四人麻雀と同じ終了時間となってしまった。三人麻雀も慣れて来るとスムーズに流れる。

②第2回非常事態宣言が出されたこともあって、さいたま市から公共施設を使う場合は三密にならないように窓の換気などに注意されたしとお願いが回って来たと言って宮崎さんが読んでくれた。どこで感染するのか判らないが、ここに来る参加者は感染していない人たちなので安心している。円田さんはじめ何人かの方は用心されて非常事態宣言が撤回されるまでお休みの人もいたのでメンバーも揃わないことはしかたないことである。

③四人一卓と三人麻雀一択で始まったが、われわれは慣れているのでどちらでも打てるようになってきたが、最初から毛嫌いしている人の声も出さないで静かそのものだ、三人麻雀はサイコロと子供が上がった時は慣れないので私のファイルを見て進めていく日だった。みんな三人麻雀を一回終わったらやめて四人麻雀を後ろで眺めていた。

④今日は最初の1試合目は添田、宮崎、岡村の強者の三人麻雀である。東風戦故に振り込まないように注意しながら始める。何しろ私が親で三本を積み立てる程運量があった。親満貫と最後まで頑張っ一人勝ちしてしまう。二試合目も振込みもなく子満貫を確保してトップにである。三試合目も振込みもなく2位につける。4試合目も子の満貫を確保してトップとなった。4試合とも振込みゼロでプラスに終わったのは珍しいことだ。今日は運量があったと言える。今日のトータルは**4勝敗21ゲーム+362に終わった。**

1回戦は東風戦なので振込むと挽回できないので、まず振り込まないように心掛けて振込みゼロ。今日はどうした事か、最初から配牌、引き牌よく親の時に三本も積んでしまう。リーチ、ツモ、タイヤオ、ドラ2 親の満貫



振込0、5ゲーム+212でトップに終わる。

2回戦は、1回戦に続き運量もあったことから振込み0。平凡な試合で点棒のやり取りも少なく私の子の満貫でトップに立った。

リーチ、ツモ、タイヤオ、ドラ1 子の満貫



この回も意外とチートイについており、引き牌を大事にする戦法で行くも、最終手前で聴牌となったが振り聴牌である。前回のように**チョンボせず最後まで持ちこたえたのでノーテン罰金はなし。**この時は4人とも聴牌という珍しい試合でもあった。



振込0、6ゲーム-で+63でトップに終わる。

3回戦も運量も悪くはなかったが、平凡な試合で点棒のやり取りも少なく、こまめに安く上がったのでなんとかプラスになった。

振込0、6ゲーム-で+10で2位に終わる。

4回戦もそれなりに運量はあった。平凡な試合だったので私の子の満貫がトップに押し上げた。しかし、最後は逃げるが勝で、ダマ聴牌のピンドラ1で逃げ切ってしまった。この時もチートイについていたので、ドラドラでダマ聴牌していたが上がれなかった。この時も後からの引き牌を大事にしたことは言うまでもない。

リーチ、ツモ、ドラ3 子の満貫



振込0、4ゲーム+77のトップに終わる

★今日の試合結果

①振込0

②4戦4勝0敗+362に終わる

1回戦5ゲーム+212	振込み0	トップ	親の満貫12000
2回戦6ゲーム+63	振込み0	トップ	子の満貫8000
3回戦6ゲーム+10	振込み0	2位	
4回戦4ゲーム+77	振込み0	トップ	子の満貫8000

★今日の反省点は

●今日は運7分枝3分と格言の通りで配牌と引き牌が良くて聴牌出来ない回もあったが、一期一会の出会いがあり、配牌と引き牌をどういう形にしていくかの、牌の選択のゲームで思い通りになった時の嬉しさはこたえられない。今日も七対子を意識して後からの引き牌を大事にしてきたことで2回程聴牌出来たので嬉しかった。七対子の捨て牌のミスが何回かあったが、それ以外で比較的ミスも少なかった。

2021. 1. 29 ●寒空に運も逃げ出す麻雀かな ●寒晴れやダマ聴牌に打つ手なし

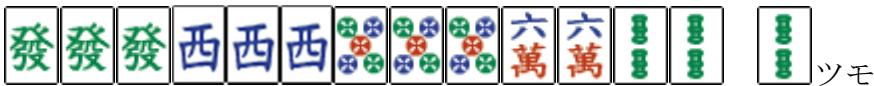
★今日の主だった感想は次の通り

①今日から添田さんが誘った人が来てくれたものの、見学だと言って1回参加してくれたが、これから先どうなるか見通しのつかない人でもある。添田さん自身もそう感じたと言っている。それから以降は3人抜けの一卓で行い、2回戦目は岡部、阿部、岡村は3人麻雀を行う。今回から私が作成したマニュアルを参考に見ながら行うことになったので、サイコロの出目の行き先がすぐわかり、点棒のやりとりもそれを見ればすぐにわかるようになった。参加者は添田、岡部、宮崎、阿部、岡村、近藤、大橋の七名である。

②第2回非常事態宣言が出されたこともあって、さいたま市から公共施設も1/26から2/7まで臨時休館となったが、自治会館などには、今回は休館の要請もないので使えるので、我々にとっても助かる。それでもどこで感染するのか判らないので、円田さんはじめ何人かの方は用心されて非常事態宣言が撤回されるまでお休みの人もいるのでメンバーも揃わないことはしかたないことである。

③四人麻雀と三人麻雀が始まったが、私は他の人とは違って、麻雀の一期一会の世界を楽しみ、それを記録する楽しみ方もしているので、どちらも記録を取っているが、皆さんは4人に比べて重みがないという人が多い。4人に比べて3人では回転も早いのでのんびり構えていられないところはある。そのあたりに軽さを感じるのであろうか。そんなことで3人麻雀は私を中心に行われているが、皆さんも参加するようになったので一前進である。

④今日の特記事項は宮崎さんが役満の四暗刻を積もったことである。宮崎さんも役満には挑戦している。12/11小四喜和を聴牌させている。今回は2索と6万のシャボンで2索が振り込まれたが、積もれる予感がしたので見過ごして積もった四暗刻を達成したという。相当興奮してしまっただろう。おめでとうございます。以前、岡部さんも同じような事をして四暗刻を達成している。大変素晴らしいことである。私も四暗刻聴牌するも振り込まれて何回も逃している。それ故にプロの雀士は四暗刻の場合は99%リーチをかけるということはこういう事なのかも知れない。



⑤今日は最初の1試合目から配牌と引き牌を顧みても運量がなく2回戦12ゲームは聴牌することもなかった。振込みも子満2回、親の7700と3回も大きく振り込んだ。最初はダマ聴牌で仕方なかったが、後の二回は何でもない2000点の手に裏ドラで満貫となってしまう。ここが一期一会の世界での面白さである。自分もそれなりに裏ドラに助けられてきているのでお互い様である。今日は運量に見放されていたことは確かだ。今日のトータルは1勝3敗21ゲーム-154に終わった。

1回戦は東風戦故に振込むと挽回できないので、まず振り込まないように心掛けるも、親のダマ聴牌に7700点振込み。今日はどうした事か、最初から配牌、引き牌も悪く一度も聴牌することなし。

振込1 (-7700)、6ゲーム-125で4位に終わる。

2回戦は、最初は運量もなく、子の満貫を振込み、またしても1回戦の如く終わるのかと思っていたが、親番に回って来たら配牌も引き牌も良く、あれよあれよという間に子の満貫振込みも挽回し、親満貫も上がり、トップに立つことが出来た。

リーチ、一発、ツモ、ピンフ、ドラ1 親の満貫



振込1 (-8000)、4ゲーム-で+128でトップに終わる。

3回戦も運量に恵まれず振込み0なのに、皆さんにお付き合いして最下位となってしまった。麻雀は運7分技3分の格言通りで、配牌と引き牌が悪くてはどうにもならない。

振込0、6ゲームの-93で4位に終わる。

4回戦も運量は悪く打つ手なし。ここでも振り込まないように注意していたものの、2000点の手に裏ドラが乗り子満貫を振り込んでしまった。それを返すべく親の時に西(ドラ)と發のシャボンでリーチしたがみなさんに警戒されて終わってしまった。もう一度チャンス到来の出来あい3色で1筒と3筒のカンチャン待ちなので、リヤメンにすれば満貫にもなるのでダマ聴牌になるよう一回待とうとしたが強い下家が振り込んだので勢いで上がってしまった。少し悔いが残る。

三色、ドラ1、子の5200点



振込1 (-8000)、5ゲーム-64の3位に終わる

★今日の試合結果

①振込3 (-7700、-8000、-8000)

②4戦1勝3敗-154に終わる

1回戦6ゲーム-125	振込み1	4位	親の-7700
2回戦4ゲーム+128	振込み1	トップ	子の満貫-8000
3回戦6ゲーム-93	振込み0	4位	
4回戦5ゲーム-64	振込み1	3位	子の満貫-8000

★今日の反省点は

●麻雀は運7分技3分と格言の通りで、今日は配牌と引き牌が悪く2回戦は一度も聴牌することもなく終わってしまった。一期一会の出会いがあり、配牌と引き牌をどういう形にしていくかの、牌の選択のゲームであるにせよ、どうにもならない今日は七対子を意識して後からの引き牌を大事にしてきたがちぐはぐで2回とも聴牌することもなかった。

●出会い3色で1筒と3筒のカンチャン待ちなので、リヤメンにすれば満貫にもなるのでダマ聴牌になるよう一回待とうとしたが強い下家が振り込んだので勢いで上がってしまったが、リヤメンまで待つべきかどうか気になるころなり。聴牌と同時にリーチを掛けるべきか迷ってしまう。

●、リーチの掛け方デジタル土田プロ

①6巡目までのリーチ⇒デジタル的に、6巡目までのテンパイは、ドラが1枚あれば、よほど打点の変化、待ちの変化が望めない時は即リーチ(2と8カンチャン)。

変化が望めるときは、一向聴に戻して、3、4回は様子を見ることもデジタル的には有効。

手打ち筋データ分析とつげき東北

先制リーチ有利⇒両面リーチ、シャボン(字牌含む)60%アガリ率、10%放銃率

⇒カンチャン・ペンチャン40%アガリ率、15%放銃率これも即リーチ

合いして振込み0なのに、お付き合いで最下位となってしまった。麻雀は運7分技3分の格言通りで、配牌と引き牌が悪くてはどうにもならない。

振込0、6ゲームの-40の4位に終わる。

4回戦も運量は対子についていたので、4対子なので七対子になるかと思っていれば一盃口になったので、無理せずにピンフを狙うがどうしてもカンチャンのドラマ待ちとなってしまった。対面がドラを切っているので大きな手作りをしていると判断して、そのままドラのカンチャン待ちを狙いリーチしたら一発で振り込んでくれた。対面の岡部さんの手を見てびっくりしたのは国士無双の九索待ちで聴牌していたことだ。それ故にドラを2回も切ってきたことが判った。

リーチ、一発、一盃口、ドラ1の子の満貫



ドラ国士無双聴牌岡部さん振込

振込0、6ゲーム+54のトップ

5回戦はゲーム数を重ねたわりには点棒のやり取りも少なく平凡に終わってしまった。というのは私が+3で2位であることからしても如何に場が平たくかが判る。

振込0、6ゲーム+3の2位に終わる。

6回戦もまた岡部さんと一緒になった。これまで4回一緒になっている。岡部さんは麻雀巧者なので一緒になると一番注意している人であるが、リーチに対して安牌がないと1・9牌から切ってくる。12/21の七対子で私に一発で9筒を振り込んでくれたように、今回も一発で1索を振り込んで振り込んだ1索が裏ドラなり子の満貫となる。この時も自分で1・4索かと言って振り込んだ。

リーチ、一発、ピンフ、ドラ1 子の満貫



裏ドラ岡部さん振込み

振込0、6ゲーム+70の2位に終わる。

★今日の試合結果

①振込1 (-7700)

②6戦4勝2敗+247に終わる

1回戦5ゲーム+237	振込み0	トップ	親の跳満
2回戦5ゲーム-77	振込み1	3位	親へ-7700
3回戦6ゲーム-40	振込み0	4位	
4回戦6ゲーム+54	振込み0	トップ	子の満貫 8000
5回戦6ゲーム+3	振込み0	2位	
6回戦6ゲーム+70	振込み0	2位	子の満貫 8000

★今日の反省点は

●麻雀は運7分技3分と格言の通りで、今日は配牌と引き牌は悪くなく、七対子に2回挑戦して1回ドラドラでダマ聴牌も上げられず、イシャテン1回は切間違え3度あった。後からの引き牌を大事にしたがだめだった。

●今回は2と8のカンチャンは即リーチして上手く上がった。先制リーチに対して自分も満貫の手の場合は立ち向かうことがベターであることを痛感した。

2021.2.12 ●春寂し麻雀仲間旅立ちぬ ●早春や二回も上がる三面待ち

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は先月亡くなった麻雀仲間の堀内さんの香典をどうするかの話から始まる。肺がんで亡くなったのではなく、骨折して入院しており、退院間近に血栓が詰まってことが原因だという。クラブとして香典を出すことにしたが、金額は添田さんやのクラブには規約があり5000円という事らしい。また、近藤さんの囲碁クラブ等でも5000円とか。それを見習って麻雀倶楽部も5000円で決める。そのことはお休みしている会員にも伝えるという。麻雀倶楽部も会員本人のみとすることになった。20日に添田と宮崎さんが届けることになった。会費で返金する部分があるとかの話しになったが、それは返さないことにした。参加者は添田、岡部、宮崎、阿部、岡村、近藤、大橋の7名である。

②参加者7人なので4人以外は3人麻雀を行う。最初の私は3人麻雀に回る。何時もの如く東風戦なので振込みはしないように注意しながらうち始めるがダマ聴牌に1回-5200振り込んでしまう。2回戦目は4人麻雀に回ったので、振り込まないように注意したが役牌鳴きに1回-5200振り込んでしまってしまう。3回戦目も4人麻雀を確保できたので、今日は妻のこともあるので、これで中座して帰ることにした。

③今日の特記事項は、下家から清一色で子の満貫(8000)を確保したので、トップを目指そうと思っていた矢先に役牌鳴き聴牌に1回-5200振り込んだ。また、その下家が運量にツキまくって親の時に親満貫を2回も上がられてしまったことや、皆さんのツモ上がりに付き合っただけで-6になってしまったことである。

④今日は最初の1試合目から配牌と引き牌の運量がほどほどであった。一期一会の世界だから、配牌を見て何を狙うか方向性を決めて、引き牌で聴牌を目指すもなかなか達成しないところに一期一会の世界での面白さである。今日も最善を尽くしたが、麻雀は選択のゲームなので、選択を間違ったことから、目指す聴牌が出来なかったことも何回もあった。試合が終わる度に+-になるろうとも、一期一会の配牌の流れにそって選択し、聴牌を目指すところが最高に面白い。今日は途中で七対子を目指すかリヤメンを目指すか選択を迫られ確率の低い、七対子よりリヤメンを目指すたら引き牌は七対子の流れに変わってしまい聴牌できなかった。今日のトータルは1勝2敗17ゲーム-6に終わった。

1回戦は東風戦故にいつものように、まず振り込まないように心掛けるも役牌鳴き聴牌に1回-5200振り込み挽回するチャンスもなかった。

振込1 (-5200)、6ゲーム-64で2位となる。

2回戦は、それなりに引き牌も良かったが、対面が親の時に下家が私に子満を振り込んだものの、下家が親になったら親満貫を2回連続のツモ上がりしたことや、リーチに-5200を振り込んだので、一挙にマイナスに落ち込んでしまった。三つの対子があり両面に繋がっているものが多かったので、どちらかの選択を迫られて確率のよいリヤメン待ちで行くことを決めて掛かったら引き牌は七対子の流れで選択を誤ってしまった。七対子を選択していれば上がっていた。残念。

清一色、子の満貫



下家添田さん振込み

振込1 (-5200)、5ゲーム-の-6で2位に終わる。

3回戦は、それなりに配牌も引き牌も良かったので振込みに注意しながら強気で進めて行った。満貫こそ出なかったが、三面待ちを2回ほど上がった。

リーチ、ピンフ、一盃口 子の3900



下家岡部さん振込

リーチ、ツモ、ピンフ、タイヤオ、子の5200



麻雀は運7分枝3分の格言通りで、配牌と引き牌が良かったのでプラスに終わった。

振込0、6ゲームの+59の2位に終わる。

①振込2 (-5200、-5200)

②3戦1勝2敗-11に終わる

1回戦6ゲーム-64	振込み1	2位	
2回戦5ゲーム-6	振込み1	2位	子の満貫8000
3回戦6ゲーム+59	振込み0	2位	

★今日の備忘録は

●麻雀は運7分枝3分と格言の通りで、今日は配牌と引き牌はほどほどだが、七対子にすか、両面待ちにするか、選択を迫られ確率のよいリヤメン待ちに切り替えたなら、引き牌は七対子の流れになってしまったので、リヤメンで聴牌できず。七対子にしていれば上がったことを思うと残念なり。

●先制リーチに対して自分も満貫の手なので立ち向かっていったが上がれなかった。

●3回戦目最初の時に配牌も引き牌も悪く一面ツウもなく1・9牌のペンチャン、カンチャンが多く索子45索もあったので一気通貫も狙えるので両天秤を掛けたが、ジュンチャンに絞れば聴牌していたのに一気通貫に拘っていたのが間違いだった。振込みもなかったが、引き牌の流れを読むのも難しい。最初から安全牌を残しながら上がれるという未練を捨てて中牌を切っていくのも楽しいものだ。

●私の聴牌の中によくある一面ツウや頭



麻雀は、タンヤオ、平和、三色、こういうリズムになってくるのが勝者のパターン、勝ち組です。あるいは、平和、ドラ1でもいいです。平和で、ドラがあって、待ちがリヤメン形以上になって、あるいはタンヤオも付いて、あるいは三色も付いてくる。これが勝ちパターン

2021.2.19 ●春温し麻雀仲間偲びけり ●春温し三色聴牌三度かな

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は先月亡くなった麻雀仲間の堀内さんのところにクラブ会長の添田さんと宮崎さんでお線香を上げに行ってきたことの報告あり。やはり肺がんで一つを切除したが、残された片方にも転移したことが死因に繋がったという報告があった。三時過ぎに奥さんがいろいろお世話になりましたとお菓子をもつての訪問あり。お菓子は参加者で分けてしまう。堀内さんの記録も私が残している部分もある。

②今日の参加者は添田、岡部、宮崎、阿部、大橋、岡村の6人である。珍しく近藤さんがお休み。私の前を自転車で走っていたので参加すると思っていたが、どこかへ出かけたのであろう。また、途中で宮崎さんが眼下に行くので抜けて、大橋さんも用事があって途中で抜けたので4人となり、半荘の東南戦を2回行うも、トイレが持たないということもあって途中でトイレタイムすることもあった。やはり老人なので東風戦で丁度よいのかも知れない。4人残りだと最後まで抜けることが出来なくなってしまった。

③**今日の特記事項は**、一期一会の世界を楽しむ自分になってから、上がれる上がれないことを超越して、どんな場面でも手作りするを一番の楽しみとして参加している。今日も3色を3回聴牌、一气通貫を1回聴牌した事である。また、皆さんを驚かせたのは6、7筒の面ツウの6筒を切って**7筒頭待ちのリーチをたら、一発で積もってしまった事だ**。みなさん曰く、ツキのなにものでもないとのこと。その通りである。だから麻雀の偶然性が面白いのだ。**2020/12/18の筋引っかけの5万単騎待ちのリーチに近藤さんが一発で振り込んでくれたこともある。2020/11/27には、57筒のカンチャン待ち聴牌し、リーチしないと上がれないので、どちらかのクッキをしてピンフにと思っていたら下家がカンチャンの当たり牌の6筒を捨てた。残りを計算すると1枚しかないのですぐにリーチしたら一発で積もってしまった。どれを見ても偶然性のツキのなにものでもない。**

④今日は、最初の1試合目は外れてしまったので2回戦目から参加する。配牌と引き牌の運量がほどほどであった。一期一会の世界だから、配牌を見て何を目指すか方向性を決めて、引き牌で聴牌を目指すもなかなか達成しないところに一期一会の世界での面白さである。今日も最善を尽くしたが、皆さんの運量が優っていたので上がりツモにお付き合いしてしまう。麻雀は選択のゲームなので、今日も七対子に2回挑戦したが選択を間違ったことから、目指す聴牌が出来なかった。ドラ5個の一气通貫の2索待ち聴牌も上がれなかったことや、リヤメンの3色2回(安い方を積もる)、出来あい3色1回(聴牌のみ)の3回聴牌したのでよしとする。どの試合も一期一会の配牌の流れにそって選択し、聴牌を目指すところが最高に面白い。今日のトータルは**1勝2敗25ゲーム+79に終わった。**

1回戦は東風戦故にいつものように、まず振り込まないように心掛けるも役牌鳴き聴牌に1回-5200振り込み挽回するチャンスもなかった。

振込1(-5200)、5ゲーム-92で4位となる。

2回戦から半荘を行うことにする。それなりに引き牌も良かったが、長丁場になると誰しも平均化してしまう。私も子の満貫を2回確保したが、振込みも3回あり、プラスを維持できなかった。半荘の場合は、基本的な麻雀は、**タンヤオ、平和、三色**、こういうリズムになってくるのが勝者のパターン、勝ち組です。あるいは、**平和、ドラ1**でもいいです。今回も3色に挑戦したことは言うまでもない。七対子はイシャテンで終わった。

2021.2.26 ●麻雀の運量もなく春寒し ●春陰やシャボン待ち読み違えぬ

★今日の主だった感想は次の通り

①今日は会則に会員死亡弔慰金を加えたのでコピーしたものを会長に渡して、皆さんに説明してもらおう。現実に参加している会員（会費）やお休みしている会員（ノー会費）も含めるのか話題になる。会長が休みの人に電話して確認するという事になった。

②今日の参加者は添田、岡部、宮崎、阿部、大橋、近藤、岡村の7人である。そのために3人麻雀と4人麻雀とに分ける。みなさんも3人麻雀は一回はやるが、2回目はやらないのが常態化してきた。それにしても3人麻雀を受け入れてくれたことの意義は大きい。

③今日の特記事項はなし。

④今日は、最初の1試合目から4人麻雀に参加した。何しろ振込みを注意しながらこまめに上がった積み重ねでトップに立てたことや、5回戦で振込みが1回、こまめに上がる少ないプラスで3勝したが、総トータルではマイナスになってしまった。配牌と引き牌で聴牌を目指すも運量がないと思うようにいかないところも一期一会の世界での面白さである。

今日のトータルは**3勝2敗23ゲーム-64に終わった。**

1回戦は東風戦故にいつものように、何しろ25分で終わったように平凡な試合だったので、まず振り込まないように心掛けこまめに上がったことでトップに立てた。

振込0、4ゲーム+60でトップ。

2回戦は3人麻雀に行うも皆さんの運量に付き合い、振込み0でマイナスになってしまう。

振込0、6ゲーム-85で3位に終わる。

3回戦も、30分で試合が終わったように平凡なゲームだった。1回二千点上がったのみ。

振込0、4ゲームの+20の2位に終わる。

4回戦も場を積む人もなく30分の4ゲームで終わる。僅かなプラスに終わった。

振込0、4ゲームの+4の3位に終わる。

5回戦は、久々の素晴らしい手なのでリーチしたら、後リーチに子満貫を振り込んでしまった。挽回を目指すも運量が悪くてはどうにもならなかった。

振込1、5ゲームの-63の4位に終わる。

★今日の試合結果

①振込1回 (-8000)

②**5戦3勝2敗-64に終わる**

1回戦	4ゲーム+60	振込み0	トップ
2回戦	6ゲーム-85	振込み0	3位
3回戦	4ゲーム+20	振込み0	2位
4回戦	4ゲーム+4	振込み0	3位
5回戦	5ゲーム-63	振込み1	4位 -8000

★今日の備忘録は

①七対子を目指していたが2暗刻になってしまったので、シャボン待ちの積り3暗刻の満貫を狙ったが振り込まれてしまった。

②最後、**一万と3筒のシャボン待ちになったのでそのままリーチするか、三筒のクッキを待つか迷った。聴牌しているのだからどこまでもそのまま行き行くべきだったが、選択を間違えて振り込んでしまった。**

2021.3.5 ●春冷えや二回箱点食らいけり ●ダマの親跳に振り込む弥生かな

★今日の主だった感想は次の通り

- ①今日は、会則に集合時間を12時50分とする文章を添田さんに確認してもらう。
- ②今日の参加者は添田、岡部、宮崎、阿部、大橋、近藤、岡村の7人であるが、宮崎さんが東大宮6丁目の知り合いに声を掛けたので、その人が1時半に来るといので、4人に先に始めて貰い、その人がきたので、2回戦から全員抽選で試合が始まった。規約を度外してコロナ禍で二卓出来ないの、参加してくれるならば誰でもよいことに流れた。
- ③**今日の特記事項のその一は、岡部さんが上がれなかったが国士無双を聴牌した事である。**チャンスがあれば挑戦するという岡部さんの意気込みに感心する。私もそうしているが、中々チャンスが来ない。**その二は、私が麻雀倶楽部に参加してから初めてのことだが四試合で-509と二回箱点に近くまで沈んだことである。**
- ④今日は、**最初の1試合目から四試合まで先親になり、配牌と引き牌が悪くゲームにはならなかったことである。**最初の試合の時に下家の添田さんがチョンボしたので親で四千点を貰い、それから安い手で一回あがり、振り込まなかったら+72でトップになってしまったが、2回戦から4回戦まで振込み4回で、それもダマ聴牌の親の跳満、満貫、-1500を3回振り込んでしまう。これではプラスになる筈はない。配牌と引き牌の悪さに打つ手がなかった。これも一期一会の世界での面白さである。**今日のトータルは1勝3敗24ゲーム-509に終わった。**

1回戦は最初から親だったが配牌も引き牌も悪かったが、下家の添田さんが振り聴牌のリーチでチョンボとなり、貰った4000点を大事に守り、振込みゼロで逃げ切った。

振込0、6ゲーム+72でトップ。

2回戦は新しく来た人は麻雀がうまい、リーチで降るものなく、發か中の中を切ったらチートイの単騎待ち振込み最後まで挽回できず。それ以外平凡に終わった試合だった。

振込1、6ゲーム-74で4位に終わる。

3回戦は、親のダマ聴牌の跳満貫と-1500と深い振込み、後は皆さんのツモ上がりにつき合い、不名誉にも今年度敗ゲームの新記録を作ってしまった。

振込2、6ゲームの-247の4位に終わる。

4回戦は、親のダマ聴牌の満貫に1回振り込んだだけなのに、親の時に子の跳満貫を積もられたことや、他の親の満貫ツモにつき合ったことから、3回戦の敗ゲームを上回った。

振込1、6ゲームの-260の4位に終わる。

★今日の試合結果

①振込4回 (-8000、-18000、-1500、-12000)

②**4戦1勝3敗-509に終わる**

1回戦	6ゲーム+72	振込み0	トップ
2回戦	6ゲーム-74	振込み1	4位 子-8000、
3回戦	6ゲーム-247	振込み2	4位 親-18000、親-1500
4回戦	6ゲーム-260	振込み1	4位 親-12000

★今日の備忘録は

何しろ配牌と引き牌が悪く国士、チャンタ、七対子、一色等にも決められないほど点々バラバラで試合にはならず。親のダマ聴牌に振り込んだのが大きく-の新記録を作った

2021.3.19 ●桜咲き麻雀囲む至福かな ●暖かやミスなく積もる七対子

★今日の主だった感想は次の通り

①コロナ防止対策として自治会が実施している、検温し名前を書いてから会議室に入る。最近ではコロナ感染者数も減り、病院の逼迫状況も改善されたので来る21日からコロナ対策の非常事態宣言が解除すると昨日菅首相から説明があった。それ故に非常事態宣言中は参加しないと宣言してお休みしている円田さんが出席するかと期待したが、案の定参加しなかった。誰かがあの人にはワクチンを打つまで参加しないのではと言っていたが、我々のところまでワクチンが回って来るのは、何時なのか見通しもつかず、来年になってしまうのではないかと個人的には思っている。

②今日の参加者は添田、岡部、宮崎、阿部、大橋、岡村、近藤の7人である。宮崎さんの友達の久米さんは参加しないようだ。そのために7人となったが、皆さん3人麻雀は点棒も配らずゲームを1試合のみ止めてしまう。30000点持ちなので払った分と受け取った分を計算して加えることとした。

③今日の特記事項は、その1、ノーミスで6段目に七対子を積もれたことである。ノーミスの七対子上がりには3回目である。ドラも無かったのですぐリーチすれば良かったのに、それを忘れてしまったら一発でツモってしまった。

七対子ツモ 4800点



その2、5試合25ゲームで振込み回数が7回(-1000、-8000、-12000、-5200、-2600、-1300、-1300)と新記録を作ってしまったことだ。それでも何とかプラスで踏ん張ったのは運量があったのは間違いない。

一期一会の世界だから、配牌と引き牌を見て何を狙うか方向性を決めて取り掛かることにしているが、今日は対子についていたことは間違いない。というのは、トイトイや七対子で上がったし、積み3暗刻を振り込まれてしまったように面ツウよりも対子についていたことは言うまでもない。残念だったのは筋を読んで引かかかってしまい親満貫を払った時は痛かった。チャンタの方向性を決めて、その手作りに励み、上がれなかったが完成させて良かった。考えるとダマ聴牌には手下しようがない。

今日のトータルは3勝2敗25ゲーム+53に終わった。

1回戦は東風戦故にいつものように、まず振り込まないように心掛けるもダマ聴牌の1回-1000点の振り込みで終わったが、皆さんの親満貫や子満貫がに付き合ったので子の跳満を確保してもやっとプラスに転じた。

リーチ、ツモ、ピンフ、ダイヤオ、ドラ2=子の跳満



振込1(-1000)、5ゲーム15で3位となる。

2回戦は、それなりに引き牌も良かったこともあって、振込みを注意していたがリーチシャボンの字牌の子満貫に打ち込んでしまう。字牌も一枚出ているので大丈夫だろうと思って送り込んだが裏を書かれてしまった。それでも運量があったので何とか挽回で来てプラスに終わった。親の時に次のような聴牌で上がる。

2021.3.26 ●桜呼ぶ麻雀運の強さかな●桜風ドラ四枚の手を上がりぬ

★今日の主だった感想は次の通り

①自治会館入り口でコロナ防止の検温は36.2度である。昨日、都内に出掛けたので少しは気になるところなり。とにかくコロナのリバウドは凄く宮城県では徳治に非常事態宣言を発するほどだ。1都3県は解除されたので久しぶりに円田さんが参加したこともあって2卓がフル回転となる。今日は4～6月の集金日でもある。とにかく役満を上がると1ヶ月分免除されることになっているが、中々でるものではない。

②今日の参加者は添田、岡部、円田、宮崎、阿部、大橋、岡村、近藤の8人である。久しぶりの2卓でのフル回転となった。やはり円田さんのような静かなベテランが来ないと緊張感が湧かない。岡部さんのような口うるさいベテランだと慣れてしまい、緊張感が薄れてしまうところが二人のベテランの違いである。今日も私が上がったと言うと自分の牌を投げ出してしまうエゲツナサなので注意すると、何だかんだ言っていた。黙って自分の牌を伏せるだけの事なのと思う。プロはそんなことしない。

③今日の特記事項は、今日は3月最終日である。3月は19日に振込み7回の新記録を作ったし、3月5日は-509の新記録も作ったことから、今日の成績で3月がどんな結果となる一期一会の世界を楽しみにしていた。

その1、配牌を見たら1・9字牌が8種類もあり、5筒が対子になっているのみで面ツウも無かったので、これでは最初から上がれないと思って、国士無双を狙いながら5筒の対子を捨てずに七対子でもと僅かな期待を以って臨んだところ上がれなかったが3段目の終わりでドラ入りの七対子で聴牌した事である。この七対子も聴ばいまでノーミスだった。



↓ 国士無双に近い配牌の時は受けの七対子

も考えること



その2、3/12に大橋さんが親のドラ4で倍満を上がったが、今日は私の子の倍満を4試合目にツモ上がりをした。

リーチ、ツモ、ピンフ、タイヤオ、ドラ4=子の倍満



今日の成績で3月がどんな結果となるのか一期一会の世界を楽しみにして臨んだところ、5試合30ゲームで振込み回数が2回(-1300、-12000)だった。先週は振り込みの新記録を作ってしまったので今日は振り込まないように心掛けてきた。それでも勝負して振り込んでしまった。今日の配牌と引き牌の良さには自分ながら驚くほどよかったことは言うまでもない。こんなともあるのだろうかと思ってしまう。

一期一会の世界だから、配牌と引き牌を見て何を狙うか方向性を決めて取り掛かることにしているが、今日の運量があったことは、今日の特記事項で書いたように国士無双を目指すに近い配牌がノーミスで七対子を聴牌した事である。満貫も7回も上がったように運7分枝3分の一期一会の世界を地で行ったようなものである。今日のトータルは5勝0敗30ゲーム+709に終わった。

振込0、6ゲームの+52で2位に終わる。

★今日の試合結果

①振込2回 (-1300、-12000)

②5戦5勝+709に終わる

1回戦6	ゲーム+46	振込み1	3位	-1300、親満貫12000
2回戦6	ゲーム+107	振込み0	トップ	
3回戦6	ゲーム+329	振込み0	トップ	親満貫12000×2回
4回戦6	ゲーム+175	振込み1	トップ	子の倍満16000、子の満貫8000、親満貫12000、子の跳満-12000
5回戦6	ゲーム+53	振込み0	2位	親の跳満18000

★今日の備忘録

①今日の一期一会の世界は、初回戦から最後まで運量の良き流れは止まることはなかったことから、3月は19日の振込み7回の新記録、3月5日の-509の新記録もあったが、今日の試合でそれらを全て打ち消して、12勝6敗の377点で終わった。

ゲームの流れを中で感じたことは、今日も対子に恵まれたことから国士無双崩れの七対子のミスで手牌することができたこと、ドラ入り七対子を積もれたこと、三暗刻2回積もったこと、東々で直ぐに鳴いて踏ん張ったことも勝てた要因でもある。

②また、今日の東風も字牌が意外に多かったが、字牌を引いて来ることも多く、我慢してそれらに助けてもらってところも大である。土田プロの七対子は聴牌したら即リーチを掛ける教を今日も忘れてしまいリーチを掛けなかったことで親満貫を逃してしまった。親で変えようもない手作りなので、七対子と同じで先制リーチを掛けるべきだった。これについては岡部さんもそれが正解とアドバイスしてくれた。

ツモ、一盃口=親の三千点



次にペンチャンの3筒待ちを遊びの積りで掛けたら引っ掛けもあつてか振り込みしてくれた人もいた。今日はツキまくっていたこともあったのでいろいろと試してみることが出来たが、運がない時はそんな余裕などはない。

③今日の子の跳満振込みは上家の阿部さんにダマ聴牌のメンチンに四満を振り込んでしまった。捨て牌の流れを見ても読めていなかったのがダマ聴牌には打つ手がない。読めていればその筋は捨てなかったと思う。捨て牌からの読みは殆ど鳴いてからの事である。

④みなさの手作りのリーチで中々当たらないので上がった時に見ているとカンチャンが意外と多いのには驚きます。筋引っかけもありますが、カンチャンは2・8で待つのが一番出やすいとのこと。

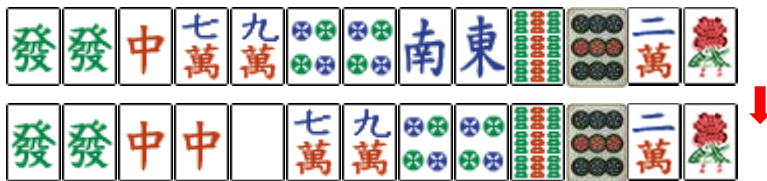
⑤今日は東に良くついていた。親の時に3回も特急券として役立ち親満貫を上がることが出来た。島町麻雀倶楽部は東風戦なので親の時は東を簡単に捨てず持っていることも大事と今日をつくづく思った。

⑥3月をまとめると、初めはマイナスの新記録を2つも作ってしまい、一時どうなるかと思っただ、今日の運量の良さでカバーしてお釣りが来たことに感謝あるのみ。

2021. 4. 2 ●大三元夢見て積もる四月卓●大三元積る祝いの花吹雪

★今日の主だった感想は次の通り

- ①自治会館入り口でコロナ防止の検温は36.2度である。先週、近藤さんに借りた息子さんの本と読書感を渡し、私の本も貸す。また、三月の成績表を見せする。
- ②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤の七人である。宮崎さんが来客があつて三時過ぎに参加とかで一卓で三人抜け。
- ③**今日の特記事項は**、最終戦の四回戦目に私が待望の大三元を積み上がったことである。先週の配牌や引き牌の良さは持ちこさず中段過ぎに聴牌するパターンが多かった。大三元もしかりである。何しろ先週と同じ国士無双を狙うべき8種9牌もあつたので七対子をも狙いながら手を進める。



子の役満貫



今日は聴牌することは中段以降の平凡なゲームだったので1回戦2回戦とも点棒のやり取りは少なかった。3回戦目にミスから振り込み沈み悔やまれたが、4回戦目に役満を上げて挽回しプラスに終えた。**今日のトータルは3勝1敗20ゲーム+173に終わった。**

1回戦は東風戦故にいつものように、振り込まないように心掛けて平凡に終わる。

振込0、4ゲーム+0で2位となる。

2回戦も振り込まないように心掛けていたら平凡なゲームに終わった。

振込0、4ゲーム+5で2位となる。

3回戦は、私のミスでドラの白はション牌なので切れずタンヤオ聴牌を逃してしまい逆に振り子で仕舞った。

振込1(-5200)、6ゲームの-97で3位に終わる。

4回戦は、今日の特記事項のとおり。

振込1(-1300)、6ゲームの+265でトップに終わる。

★今日の試合結果

①振込2回 (-1300、-5200)

②**4戦3勝1敗+173に終わる**

1回戦	4	ゲーム+0	振込み0	2位	
2回戦	4	ゲーム+5	振込み0	2位	
3回戦	6	ゲーム-97	振込み1	3位	-5200
4回戦	6	ゲーム+265	振込み1	トップ	子の役満 32000、-1300

★今日の備忘録

- 1、大三元のチャンスを逃さず挑戦して初めて上がる。
- 2、選択を間違えてしまったことしばしば。引き牌の流れに逆らわぬこと。
- 3、鳴きジュンチャン三色ドラ1手牌していたが親リーチに下りてしまった。

夢に見た大三元を積もる

(2021. 4. 2)

2019. 9. 6に麻雀仲間の阿部さんが大三元を上った時ほど役満を意識したことはなかった。というのは2週間前にも阿部さんは四暗刻を積もっている。私も、それまで国士無双を二回上がっているものの、大三元はチャンスがなかった。阿部さんが羨ましく、それ以来、大三元を意識してチャンスがある時は挑戦してきたが、最初に聴牌にこぎつけたのは●2020. 12. 18の三回戦目の時である。今年度2回目の大三元に挑戦してやっと聴牌した。この時は、他家がツモのみで上がってしまったが、残り6段の中に白があったので残念の一言に尽きる。役満は年一度位しか和了できないのでチャンス到来の時は上がる、上がれないは度外して挑戦することが一番の近道だ。



●2021. 4. 2の最終戦の四回戦目の挑戦で、私が待望の大三元を積み上がったことである。先週の満貫7回、トップ3回、+709と、配牌や引き牌の良さは持ちこさず中段過ぎに聴牌するパターンが多かった。大三元もしかりである。先週と同じ国士無双を狙うべき8種9牌もあったので七対子をも狙いながら手を進め思わぬ大三元に仕上げってしまった。



子の役満貫



初めての役満の国士無双の聴牌は心臓がドキドキして、上がった時の喜びと感動は凄かったが、次第に回数を重ねて来るとドキドキもしなくなってきた。今回も今年度に入って三回目の挑戦なのでタンタンと手作りをしてきた。ましてや場に白が一枚捨てられているので残り一枚、四筒ドラのシャボンで中・發を鳴いているので他家は警戒して振り込む確率はゼロ。故に上がれるとは思ってもいなかった。一期一会の世界では何が起こるか分からない。これも發を鳴いた時に鳴かなかつたら發を持ってきたのにと、下家の円田さんが發を積も切りしながら言っていた。考えてみると、運命のいたずらか、その發を鳴いたことが大三元に繋がったのである。また、聴牌している時に後ろで見ていた添田さんが他家の手の内を見たら誰も白を持っていないので山にあり積もる可能性があると思っていたという。正しくその通りになったのは運そのものである。最後に牌を摘まんだ時の何もなく滑る感触を受け止めた時は、思わずやったあと声が出てしまった。感動の一瞬である。その反面、親の岡部さん 16000、子の 8000 は痛かったに違いない。

今回を振り返ってみると、土田プロ雀士の教えは、1巡目の手牌で1・9字牌が8種類もあり、対子が一つでもあれば、受けの七対子も狙いながら、本線は国士無双を狙います。このように本当に配牌がバラバラのときなら、受けの七対子も狙うという教えに従って実

践したのは先週のことである。



2021. 4. 9 ●マスクして親満積もり春深む●桜散り鳴かず飛ばずの麻雀かな

★今日の主だった感想は次の通り

①自治会館入り口でコロナ防止の検温は36.4度である。私が何時も遅いと岡部の馬鹿が文句を言う。一人で引っ掻き回しているのが彼である。性格だからしょうがないが口うるさいのには閉口する。今日は、彼はよく振り込でいた。単純に時を過ごす彼と私の麻雀の楽しみ方が違うから相手にしないこと。

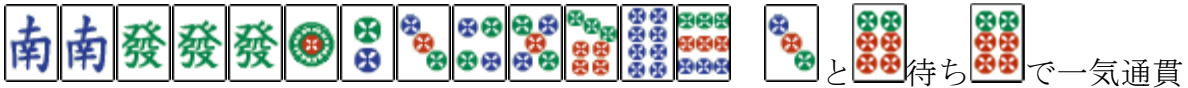
②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤、宮崎の8人である。最初から2卓で始まる。フル回転して5回戦である。ツキのリズムは何時までも続くものではないので今日は警戒したが、これまでのツキのようにはいかなかった。それでも強敵の円田さんには注意してダマ聴牌の三色で親を流したことはよかった。

③**今日の特記事項は**、最終戦の5回戦目に子の跳満を上がったことである。しかし、この回は親に満貫と7700を振り込み、親で積もられたりしたので箱に近かったところ、子の跳満で箱点を逃れたことだ。

リーチ、一発、ツモ、タイヤオ、ピンフ、ドラ1=子の跳満



次に、5回戦目に上がれなかったが面前一気通貫6筒待ちで聴牌していたこと。



今日は東戦なので振込まないように注意していたが、ダマ聴牌 (-6400、-8000、-1300) 3回、リーチに2回 (-7700、-12000) と計5回も振り込でしまった。これでは勝てる筈もないが、こちらも運量が落ちていなかったので4回満貫を上がったのでプラスに終わった。その中で5回戦目は三暗刻聴牌で四暗刻も狙えるのでリーチの親に勝負して二万を振り込み親満貫となってしまった。



今日のトータルは**2勝3敗22ゲーム+5**に終わった。

1回戦は東風戦故にいつものように、振り込みに注意したが、**七対子のダマに振り込む**。他家の運量に付き合っ子子の満貫を上がるも追いつかずマイナスになった。

ツモ、發、ドラ2=子の満貫



振込1 (-6400)、4ゲーム-55で4位となる。

2回戦は振り込みもなく運量に恵まれ親の7700と満貫を上がったのでトップら立てた。リーチ、ツモ、タイヤオ、ピンフ=7700



リーチ、ツモ、タイヤオ、ドラ1=親満貫



振込0、6ゲーム+213でトップとなる。

3回戦は、子のダマ聴牌の満貫に振り込む。それに加えて他家の運量に付き合った沈みが大きく、子の満貫を上がったものの、マイナスに終わった。一発逆転の三面待ちの3色を狙ったが3色ならず積り子の満貫に終わった。

リーチ、ツモ、タイヤオ、ピンフ、ドラ1=子の満貫



振込1(-8000)、6ゲームの-124で3位に終わる。

4回戦は、円田さんと一緒になった。下手なリーチをしても読まれてしまうのでダマ聴牌で上がることに心掛けた。ダマ聴牌の一番はピンフで上がることだ。今回も2回ダマで上がったことでプラスにおわったが、役ありの三色で上がったことが脳裏に焼き付いている。

ピンフ、三色=子の3900



振込1(-1300)、6ゲームの+68で2位に終わる。

5回戦は、最終戦の5回戦目に子の跳満を上がったことである。しかし、この回は親に満貫と7700を振り込み、親で積もられたりしたので箱に近かったところ、子の跳満で箱点を逃れたことだ。

リーチ、一発、ツモ、タイヤオ、ピンフ、ドラ1=子の跳満



振込2(-7700、-12000)、6ゲームの-93で4位に終わる。

★今日の試合結果

①振込5回 (-6400、-8000、-1300、-7700、-12000)

②5戦2勝3敗+9に終わる

1回戦4ゲーム-55	振込み1	4位	子満8000、-6400	ダマ
2回戦6ゲーム+213	振込み0	トップ	親満12000	
3回戦6ゲーム-97	振込み1	3位	子満8000、-8000	ダマ
4回戦6ゲーム+265	振込み1	2位	-1300	
5回戦6ゲーム-93	振込み2	4位	子の跳満、-7700、-12000	

★今日の備忘録

1、素晴らしいメンホン聴牌も3段目では上がるチャンスも少なくなってしまう。鳴いていれば早く聴牌していたであろうが、流れが良かったので手の内を目指して正解なのも知れない。

2、今回も対子が3個もあったので七対子を目指せば良かったのに、面ツウが出来だしたのでそちらに走ったら途中で切れてしまった。捨て牌をみても七対子が正解だった。選択は難しい

3、なにしろダマ聴牌に打つ手なし。今回も3回振り込んだ。自分も四暗刻も狙えるような聴牌だったので、親リーチに勝負して振り込んだが、巡り合わせが悪かっただけで悔いはない。

2回戦6ゲーム+39 振込み0 2位
 3回戦6ゲーム+70 振込み0 **トップ** 子の跳満 12000、
 4回戦6ゲーム-30 振込み0 3位、
 5回戦6ゲーム-14 振込み0 3位




★今日の備忘録

1、麻雀は運7分枝3分と言われているようにツキのリズがないと聴牌まで苦勞する。今日も中以下だったので聴牌も遅く、3段近くで聴牌してはリーチ棒を無駄にすることが多かった。運がない時はダマ聴牌で行くしかないと思った。

2、今日は振り点になってしまったことが3回もあった。聴牌した時に気が付いていたので積もるか、手の作り直しに向かったが聴牌しても一度も上がれなかった。これも面ツウに繋がりそうな牌はある程度持つておくことも大事と痛感した。

3、対子が2個もあったので七対子を目指して、新しく引いてきた牌の流れを大事にして残すと、その筋の対子が出来やすいことがこれまでの経験から判った。今日も実践してノーマスに七対子が聴牌し、上がれなかったがそこに向かうまでの一期一会の世界を楽しませてもらった。

4、三色を狙っていたが、この時に2筒をツモって来た

 ツモは  で  を切りリーチして上がれなかったが、その後引き牌は以下の通り、一工夫すれば良かったと後悔する。

 ツモは 

 ツモは  ドラ

振込回数と内訳

勝数=敗数	振込0-	振込0+	振込1-	振込1+	振込2-	振込2+	振込3-	振込3+	振込計	回/ゲーム
9月8=11	4	5	7	3					10	19 97
10月15=12	8	10	2	4	1	1	1		13	27 152
11月11=9	2	9	7	2					9	20 112
12月9=11	4	4	6	5	1				13	20 115
1月10=5	2	8	3	2					5	15 83
2月9=8	2	9	5				1		8	17 101
3月12=6	1	6	3	5	2	1			14	18 102
4月7=7	2	5	4	2	1				7	14 78
5月										
6月										
7月										
8月										
計81=69	25	56	37	23	5	2	2	0	79	150 840

2021. 4. 23 ●麻雀を囲み至福の日永かな●満貫のダマ聴牌や春の昼

★今日の主だった感想は次の通り

①自治会館入り口でコロナ防止の検温は36.1度である。既に2卓で準備を始めているので私も南のお手伝いをする。円田さんが参加しているので2卓。有難いことだ。

②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤、宮崎の8人である。今日もどうしてから西側の席に座ることが多かった。運量があったことも確かである。

③**今日の特記事項はなし。**今日の配牌は一・九牌や字牌が多くチャンタや一色狙うことが多かったが、引き牌がよく聴牌することも多かった。それにダマ聴牌で上がったように余裕があったことは間違いない。振込も注意して27ゲームで1回のみ。1回戦みんなにお付き合いして最後を子の満貫でプラスに持って行った。3回戦は子満貫とこまめに上がりトップを確保。**今日のトータルは3勝2敗27ゲーム+169に終わった。**

1回戦は東風戦故にいつものように、振り込まないように心掛けて平凡に終わる。

振込0、5ゲーム+22で2位となる。

2回戦も振り込まないように心掛けるも引掛けリーチに振込。みなさんにお付き合いしたが、最後はダマ聴牌の子の満貫でプラスにした。

ピンフ、3色、ドラ1=子の満貫



振込1 (-2560)、5ゲーム+17で2位となる。

3回戦は、最初に子の満貫を上がり、大事にしながらこまめに上がりトップを確保できた。リーチ、ツモ、ピンフ、一盃口、ドラ1



振込0、6ゲームの+160でトップに終わる。

4回戦は、点棒のやり取りも少なく平凡に終わる。

振込0、6ゲームの-21で2位に終わる。

5回戦は、点棒のやり取りも少なく平凡に終わる。

振込0、5ゲームの-19で2位に終わる。

★今日の試合結果

①振込1回 (-2560)

②5戦3勝2敗+169に終わる

1回戦5ゲーム+22	振込み0	2位	
2回戦5ゲーム+17	振込み1	2位	-2560 子の満貫 8000
3回戦6ゲーム+160	振込み0	トップ	子の満貫 8000
4回戦6ゲーム-21	振込み0	2位	
5回戦5ゲーム-19	振込み0	2位	

★今日の備忘録

- 1、七対子に3回挑戦し2回聴牌できず1回ドラドラでダマ聴牌して上がれず。
- 2、今回も振り聴牌に2回気が付きリーチせず済んだ。
- 3、今日は余裕があったので安い上がりを拒否してその上に挑戦した事である。

2021. 4. 30 ●四月尽うるさき雀士口挟む●春風や急かせる雀士マスク顔

★今日の主だった感想は次の通り

①自治会館入り口でコロナ防止の検温は36.5度である。今日は早めに言ったので2卓の準備を始める。老人故にコロナ情報が気にかかる人達ばかりで、家籠りの合間に自治会館で麻雀を楽しめるなんて有難いことだ。

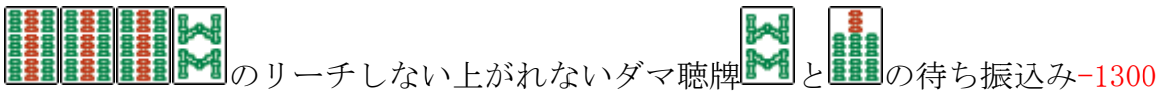
②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤、宮崎の8人である。今日は岡部さんの口うるささ、どうするか悩んでいる添田さんが時間を取れば、円田さんの急かせる言動も健康麻雀には不必要な事だ。特に岡部さんの口煩さには閉口する。健康麻雀はのんびりと大らかに楽しめないのかと思う。誰かが積もればすぐ自分の牌を投げだす動作は一向に改まらない。二人は酷い。

③今日の特記事項は、私が槓振り初めて体験し、嶺上開花を積もったことだ。

槓振り1ハン=リーチの1・4万待ち、

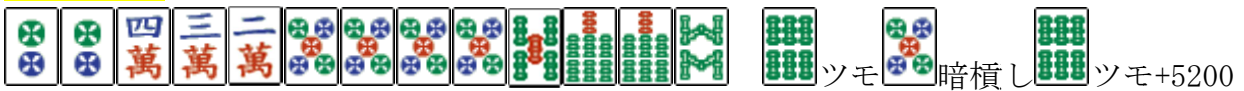


下家は



本人はリーチもしていないので本人は上がれないと思っていたのに周りの人が教えて上がりになった。「槓振り」というらしいが、廻りでとやかく口出しすることはないだろう。教えるなら終わってからでもよいのではないか。この時も岡部さんと円田さんが絡んでいる。帰ってから調べると、「槓振り・麻雀で槓の宣言をした直後に場に捨てた牌で他家がロンの宣言をすること。ローカルルールの一つ。」

嶺上開花=タンヤオ、ツモ、嶺上開花 5200点



今日の配牌は一・九牌や字牌が多くチャンタや一色狙うことが多かったが、それなりに聴牌して上がれるも安い。それにダマ聴牌で上がったように心掛けたが引き牌が悪いと思うようにいかない。他人が素晴らしい手作りして上がると、おめでとうございますと喜んでしまう。一期一会の世界でみんなが手作りしており、素晴らしい手の時は私も楽しくなる。今日は阿部さんの運量に手が出せず、親満に何回付き合った事か。麻雀は運7分技3分言われているように今日は運量が少なかったが新しいことに遭遇してよかった。今日のトータルは2勝3敗34ゲーム-161に終わった。

1回戦は東風戦故にいつものように、振り込まないように心掛けるも1回-2600振り込んだが、こまめに上がって+32でトップとは本当に平凡なゲームであった。

振込1、6ゲーム+32でトップとなる。

2回戦も振り込まないように心掛けて振り込むことなく終わるも、みなさんにお付き合いし終わってしまった

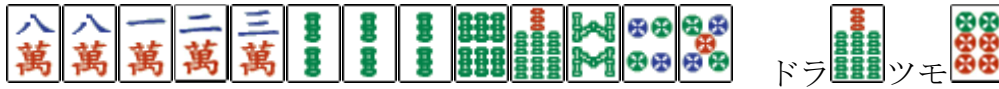
振込0、6ゲーム-50で2位となる。

3回戦は、阿部さんの運量には手が付けられず、耐える以外なしでお付き合いするのみの平凡なゲームに終わってしまった。

振込1 (-1300)、6ゲームの-129で3位に終わる。

4回戦は、私への風向きも少しは変わりゲームを楽しむことが出来た。今日は何故か暗刻についているようにも思える。それ故にメンツにそろえるかトイトイで行くか、七対子を目指すべきか悩むことも多かった。

リーチ、一発、ツモ、ドラ1=子の満貫



8満が場に4枚あることを宮崎さんが確認して自信を以って切ってくれた。2000点



下家宮崎さん振込み

振込0、6ゲームの+62で2位に終わる。

5回戦は、東風戦が30分弱で終わったので南戦を行うことになる。私にとってはトイレの事も草臥れる。点棒のやり取りも少なくかったが、親のリーチに下りる安全牌として7筒を切ったら下家のダマ聴牌タイヤオドラ3の子の満貫に振り込んでしまった。ダマ聴牌に打つ手なしである。その分だけマイナス何して平凡に終わる。

振込1 (-8000)、10ゲームの-76で3位に終わる。

★今日の試合結果

①振込3回 (-2560、-1300、-8000)

②5戦2勝3敗-161に終わる

1回戦6ゲーム+32	振込み1	トップ-2560
2回戦6ゲーム-50	振込み0	2位
3回戦6ゲーム-129	振込み1	3位-1300
4回戦6ゲーム+62	振込み0	2位 子の満貫 8000
5回戦10ゲーム-76	振込み1	3位 子の満貫-8000 ダマ

★今日の備忘録

- 1、七対子に挑戦したが暗刻になることが多く迷ってトイトイで行くも聴牌のみ。
- 2、槓振りと嶺上開花を勉強させてもらった。
- 3、最近リーチが掛かった場合にどの牌で待っているのか予測を立てるが、全くあたらず。親のリーチは避けるがよい手を崩してしまう場面もあり、相手の上がり牌を見ると情けない程外れている。
- 4、4月最後の例会を締める日なので何とか花を飾りたかったが、飾ることが出来なかったのは残念なり。

4月2日	4=0+0	4=0+5	6=1-97	6=1+265		20=2+173	3勝1敗	0.1	1
4月9日	4=1-55	6=0+213	6=1-124	6=1+68	6=2-93	28=5+9	2勝3敗	0.179	1
4月16日	6=1-87	6=0+39	6=0+70	6=0-30	6=0-14	30=1-22	2勝3敗	0.033	1
4月23日	5=0+32	5=1+17	6=0+160	6=0-21	5=0-19	27=1+169	3勝2敗	0.037	1
4月30日	6=1+32	6=0-50	6=1-129	6=0+62	10=1-76	34=3-161	2勝3敗	0.088	1
4月計	963	795	168			199=12+168	12勝12敗		5

2021.5.7 ●花曇り麻雀運も我になし●親被り四回沈む春の卓

★今日の主だった感想は次の通り

①自治会館入り口でコロナ防止の検温は36.5度である。今日は車で行ったので皆さんと一緒に2卓の準備を始める。みんな集まれば、コロナの事ばかり。みんなオリンピックよりもコロナの収束を願っている。そんな中、自治会館で麻雀を楽しめるなんて有難いことだと皆さんも思っている。

②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤、宮崎の8人である。今日は岡部さんの口うるささには慣れているが、どうにもならない彼の口。今日は「槓振込み」がローカルルールであることを皆さんに伝える。健康麻雀もクラブ特有の「喰いタンなし」のローカルルールである。今日も誰かが上がれば、すぐ自分の牌を投げだす動作は一向に改まらない。

③**今日の特記事項**はないが、何しろ運量に見放されてしまい、最初から最後まで皆さんの手の良さにお付き合いしてしまった。**親被りが4回もあって二回の振込みだけで-276**となってしまった。運量が低いのでじっと我慢の子であった。なにしろ8種1・9、字牌が多く自ずとチャンタ、ホンイツ、一色に染めるに行くことが多かった。運量のないことが1回戦目から判ったので積極的に役牌を鳴いて踏ん張ったりしたがどうにもならなかった。麻雀は運7分技3分言われているように今日は運量が少なくではどうにもならなかった。**今日のトータルは2勝3敗26ゲーム-276に終わった。**

1回戦は東風戦故にいつものように、振込みに注意し0。配牌、引き牌が悪いなりに1回上がったのみで+49とプラスに終わった。3萬を引きジュンチャン狙うも2萬引きでリーチ、一発、ドラ1=子の5200



振込0、5ゲーム+49で2位となる。

2回戦も振り込まないように心掛けて振り込むことなく終わるも、みなさんにお付き合いし終わってしまった

振込0、5ゲーム-91で4位となる。

3回戦は、耐える以外なしでお付き合いするのみの平凡なゲームに終わってしまった。

振込1 (-5200)、6ゲームの-163で4位に終わる。

4回戦は、何しろ配牌、引き牌が悪く我慢の子で振らないように頑張っ、リーチが掛かり、安全牌なく遠い筋の9筒を振ったら3色になり、子の満貫を振り込む。

振込1、5ゲームの-120で4位に終わる。

5回戦は、最後の東風戦は勝っている人が早やアガリを狙うので短くで終わるのが常である。今回もが30分弱で終りそうであったが、ラストの下家が一本積みしただけで南戦に行かずすんだ。最後まで運がなく、鳴きのホンイツに決めてかかった。上家の宮崎さんから岡村さんはよく鳴くと言われてしまったが、麻雀はリーチ、鳴きを使っの最大限の和了を目指すゲームなので、今回も配牌、引き牌も悪く最初から筒のホンイツを目指して鳴きはじめて2鳴きして、最後は北と發のシャボン待ち（場に發は2枚で上がりなし）の北待ちで聴牌した。それ故に北は2枚あるのみで、麻雀巧者の円田さんもいることからしても自分で積もる以外上がれないと決め込んでいた。今日の流れからして上がれないと思って

振込0、7ゲームの-55で3位に終わる。

4回戦は、何しろ配牌、引き牌が悪く我慢の子で一番数の多い索子に絞り込んで臨んだところ対子を引き牌することから、どんどん鳴いて行くことにして、上家の宮崎さんから2回鳴いて何とか聴牌にこぎつけた。彼が鳴かしてくれなかったら手が行き詰まっていたに違いない。

清一色=子の満貫



振らないように頑張ったものの、阿部さんの鳴きトイトイに-6400を振り込んだが何とかトップを確保できた。

振込1 (-6400)、7ゲームの+95でトップに終わる。

5回戦は、最後の東風戦の最初の親であるが、配牌も引き牌も悪いことや、最初から親被りの満貫を上がられてしまった。またしてもチャンタ狙いで行くもリーチが掛かり中牌を避けて端牌を振り込んでしまった。-3900点なのでどこかで取り戻せるかと思ったが、皆さんの運量がまさり、どうにもならず-81点で終了した。

振込1 (-3900)、6ゲームの-81で4位に終わる。

★今日の試合結果

①振込2回 (-6400、-3900)

②5戦2勝3敗-19に終わる

1回戦4ゲーム-80	振込み0	3位	
2回戦7ゲーム+102	振込み0	2位	子の満貫 8000
3回戦7ゲーム-55	振込み0	3位	
4回戦7ゲーム+95	振込み1	トップ	子の満貫 8000 -6400
5回戦6ゲーム-81	振込み1	4位	-3900

★今日の備忘録

- 今日の配牌も引き牌も点々バラバラで最初から安全牌を残して、その中でチャンタ、一色やホンイツを狙うこともシバシバであるが。チャンタへも何回か聴牌のみに終わったものの、一回はチャンタ三色で上がった時は嬉しかった。こういう時はリーチされても下りる牌がそれなりにあるので気楽に打てた。
- 配牌、引き牌の悪さからチャンタ、役牌鳴き、ホンイツ、一色の鳴きが目立ったものの、我慢の子を重ねて中段以降で聴牌して清一色を上がる場面もあり、それなりに手の内が悪くても楽しめたことは言うまでもない。
- 今日もリーチが掛かった場合にどの牌で待っているのか予測を立てて、捨て牌していくも、全然違うので待たれているのを見ても、面白い。これが一期一会の麻雀なのである。
- 七対子にも何回か挑戦したが、一度も聴牌せずイシャテンで終わってしまった。七対子はリズム感覚が必要だとつくづく思う。自分としてのリズムとして引いてきた牌の流れを読んで引き牌の色は残すようにしているが、今日は聴牌せず。
- 岡部さんや円田さんを相手にダマ聴牌を心掛けて円田さんからは子の満貫を確保、岡部さんのリーチもピンフのみでダマ聴牌出来たので楽しかった。

2021.5.21 ●打つ手なき運量もなき梅雨の卓●梅雨入りや麻雀運に見放される

★今日の主だった感想は次の通り

①自治会館入り口でコロナ防止の検温は36.6度である。これが私の平熱となっているが、寒気がするので一枚重ねて行く。今日は12時45分まで行きも既に2卓の準備は出来ていたのですぐに始まる。今日は月曜日から始まったコロナワクチンの受付の話ばかり。

②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤、宮崎の8人である。今日5回戦のうち3回先親で3回の親被りの跳満や、皆さんの運量の良さにお付き合いしてしまった。無理してリーチをしても上がれないことが5回もあったように凹みの波に乗ってしまった感あり。満貫は振り込まなかったが、7回振込みと新記録タイとなってしまった。

③今日の特記事項は5回戦のうち3回先親で2回の親被りの跳満を払った。今回は配牌で8種8牌が3回もあり、手作りもままならず上がる所ではなく、皆さんの運量にお付き合いしてしまったことは否めない。麻雀は運7分枝3分言われているように今日も運量が少なくどうにもならなかった。今日のトータルは**2勝3敗28ゲーム-390に終わった。**

1回戦は東風戦故にいつものように、最初から親被りの跳満を払い、次に聴牌したのでリーチしたら鳴きトイトイに逆襲された配牌、引き牌が悪いなりに何とかしたものの、皆さんの運量にお付き合いするのみ。**振込1(-5200)、6ゲーム-164で4位となる。**

2回戦も振り込まないように心掛けても2回(-5200、-3900)振り込む。ここで初めて上がったのは、リーチ、タイヤオ、ピンフ、ドラ1=子の満貫



振込2(-5200、-3900)5ゲーム+19で3位となる。

3回戦は、跳満の親被りもあり耐える以外なしでお付き合いするのみの

振込、2(-1300、-3900)6ゲームの-128で4位に終わる。

4回戦は、何しろ配牌、引き牌が悪く我慢の子で安い上がり踏ん張った。

振込0、5ゲームの+45で2位に終わる。

5回戦は、最後の東風戦の最初の親であるが、配牌も引き牌も悪いことや、最初から親被りの満貫を上がられてしまった。振込みも2回ありどうにもならなかった。

振込2(-3900、-3900)、6ゲームの-162で4位に終わる。

★今日の試合結果

①振込7回 (-5200、-5200、-3900、-3900、-1300、-3900、-3900)

②5戦2勝3敗-390に終わる

1回戦6ゲーム-164	振込み1	4位	-5200、
2回戦5ゲーム+19	振込み2	3位	子の満貫8000、-5200、-3900、
3回戦6ゲーム-128	振込み2	4位	-3900、-1300
4回戦5ゲーム+45	振込み0	2位	
5回戦6ゲーム-162	振込み2	4位	-3900、-3900

★今日の備忘録

●今日の配牌も引き牌も点々バラバラで最初から安全牌を残して、その中でチャンタ、一色やホンイツを狙うこともシバシバであるが。配牌も引き牌も悪い時は上がり放棄をして振込み避けよ。

2021. 5. 28 ●梅雨曇り麻雀もツキ七分かな●梅雨曇り満貫上がり四度かな

★今日の主だった感想は次の通り

①自治会館入り口でコロナ防止の検温は36.7度である。今日も平熱なり、梅雨曇りで気温も高く、窓は開けっ放しで麻雀卓を囲む。今日は12時50分からゲームが始まり、岡部さんが喜んでいて。私もここに来るまでにコロナワクチンの予約が取れてホッとした気分に参加する。

②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤、宮崎の8人である。今日5回戦のうち4回戦まで振り込むゼロで進み幸先よきと思っていたら、5回戦に落とし穴があり、鳴きのチャンタやトイトイに-3900を2回も振り込んでしまった。今回は前回のような親被りの跳満等がなく、振込みも少なかったこともあって、プラスで締めくれたのが最高に良かった。前回は最低を記録することになってしまったので、今回は鳴きを少なくして、ダメ聴牌傾向を強めた結果がプラスで終わった。

③今日の特記事項は5回戦のうち4回戦は、振り込み0、運量も背中を押してくれたので調子も上向きになって来た。最終の5回戦目に鳴き聴牌に2回も振込み振り込んだが、逆に子満貫も2回上がる事が出来た。島町麻雀倶楽部もローカルルールなので、もめることが多い。大橋さんがリーチして見逃してしまったことで、揉めた。リーチして見過ごしてしまった場合は、その時点でチョンボとするのが島町麻雀クラブのルール。リーチ見過ごし後にツモっても上がれないというのも可笑しなルールだ。麻雀は運7分技3分言われているように、前回はマイナスの新記録を作ったので戦法を代えて、鳴きを少なくし、一色もドラ入りの場合のみを狙うようにして、取組をしたので運量も少しあったので、今日のトータルは4勝1敗28ゲーム+189に終わった。

1回戦は運量が我に来ていたと思ったので振込みに注意しながら、手の内で役作りを目指した。それが的中して振込みもなく、子の満貫を確保してトップになれることが判ったので、最後はダメ聴牌三色ピンフで逃げ切ってしまった。

リーチ、ダイヤオ、ピンフ、ドラ1=子の満貫



ピンフ、3色=子の3900



振込0、5ゲーム+119でトップとなる。

2回戦も振り込まないように心掛けて振り込み0。ここで皆さんの運量にお付き合いしていたのでマイナスになっていたが、僅かな運量を生かし切ってツモ上がりをしてマイナスを清算してプラスに終わった。

リーチ、ツモ、ドラ3=子の満貫



振込0、6ゲーム+40で2位となる。

3回戦は、何と東風戦も25分で終わってしまったように平凡で短調だった。

振込0、5ゲームの+17で3位に終わる。

2021.6.4 ●梅雨入りや国士無双もままならず●梅雨曇りそれなりに牌巡りくる

★今日の主だった感想は次の通り

①梅雨入りのため小雨もぱらつき、気温も高く、ムシムシする天気なので自治会間に車でくる。入り口でコロナ防止の検温は36.4度である。今日も平熱なり。今日は卓の組み立てなどをお手伝いして、12時50分からゲームが始まる。

窓は開けっ放しで麻雀卓を囲むが、風の音が凄い。今日も12時50分からゲームが始まる。

②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤、宮崎の8人である。今日は最後の5回戦目は時間があるので東南回しとなった。振り込みしないように注意するも2回戦目のダマ聴牌の七対子への振り込みを切っ掛けには4回も振り込んだが、善悪は別にしても運量があったのでプラスに終わった。何とも残念だったのは親の時に上段で国士無双イシャテンだったのでわくわくしたが、發か1索を持って来れば聴牌で、下家が1索を一枚切っていたので望みを託したが来ない。その内に發も切られ夢も終わった。上家が1索を最初から暗刻で持っていたという。親の跳満、親満、子の満貫2回と運量に恵まれたことは確かだ。

③今日の特記事項は5回戦のうち3回戦、振り込み4回となる。リーチに対する振り込みは勝負して1回、ダマ聴牌か鳴きの一色や役牌のドラドラが多かった。鳴きの場合も一色合はホンイツ、チャンタ、ジュンチャンは予測で捨て牌も抑えるがそれ以外は打つ手なし。大橋さんが最後に南場であることを忘れてしまい、東鳴きで上がりチョンボとなってしまった。これも東風戦に慣れきっているので勘違いしてしまう。私も南場で親の時に東を鳴き安上がりをしてしまった。麻雀は運7分技3分言われているように、前々回にマイナスの新記録を作ったので戦法を代えて、手の内でピンフか役作りに励み、鳴きを少なくし、一色もドラ入りの場合のみを狙うようにして取組をした。運量も少しあったので今日のトータルは2勝3敗35ゲーム+200に終わった。

1回戦の最初の配牌で運量が我に来ていたと思ったので振り込みに注意しながら、手の内で役作りを目指した。それが的中して振り込みもなく、親の満貫を確保してトップに立てることが判ったので振り込まないように逃げ切ってしまった。

リーチ、ツモ、三色=親の満貫



振込0、6ゲーム+177でトップとなる。

2回戦も振り込まないように心掛けもダマ聴牌のドラドラ七対子-6400振り込み。その分だけマイナスになり-78の一人負けとなったように、私の振り込みだけの点棒が動いた平凡な試合であった。

振込1、6ゲーム-78で4位となる。

3回戦は、何と東風戦も30分で終わってしまったように平凡で短調で、2位になるもマイナスで一人勝ちされてしまった。

振込0、5ゲームの-30で2位に終わる。

4回戦は、何しろ配牌、引き牌が悪く我慢の子で待ったが挽回するチャンスは来なかったことは言うまでもないが、親の時に国士無双がイシャテンで終わったにせよ、一期一会の

世界を楽しませていただいた。上家が1索を最初から暗刻というのも巡り合わせの悪さである。途中で-5200を振り込んでしまった。

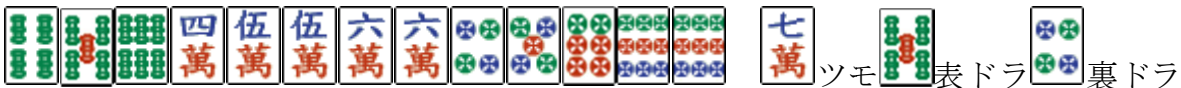
振込1(-5200)、6ゲームの-79で3位に終わる。

5回戦は、時間があつたので2卓が東南戦で行くことになった。長丁場なので草臥れるので上がれるうちは上がって置くのが鉄則。まずは、中と發が対子で萬子が多かったのが最初からドラ入りの萬子のホンイツを目指す。

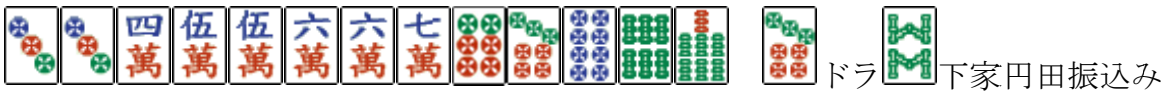
發、中、ホンイツ=子の満貫



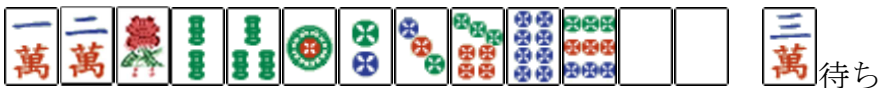
リーチ、ツモ、3色、ドラ2=親の跳満



リーチ、タイヤオ、ピンフ、ドラ1=子の満貫



最終戦は半荘で長いので振込みを抑えてきたが2回も振り込んでしまった。一回目は-2600と安かったが、2回目は私も手の内もダマ聴牌メンチャンタ三色の満貫を聴牌していたところ、下家にリーチが掛かったのが安全牌を持って来ていた時はよかったが、一萬は危ないと思い、持ってきた時に白と一萬のシャボンにするか悩んだが勝っているので勝負したら見事に子の満貫を振り込んでしまった。シャボンにしていれば何でもなかった。ここに選択の難しさがある。その次に子の満貫を上がり挽回したのでホッとした。



振込2(-2600、-8000)、12ゲームの210でトップに終わる。

★今日の試合結果

①振込4回(-6400、-5200、-2600、-8000)

②5戦2勝3敗+200に終わる

1回戦6ゲーム+177	振込み0	トップ	親の満貫12000、
2回戦6ゲーム-78	振込み1	4位	-6400、
3回戦5ゲーム-30	振込み0	2位	
4回戦6ゲーム-79	振込み1	3位	-5200
5回戦12ゲーム+210	振込み2	トップ	親の跳満18000子の満貫8000×2 -2600、-8000

★今日の備忘録

- 今日の配牌も引き牌もほどほどに来ていたので手作りが楽しい一期一会の世界だったと言える。今日は七対子の出来る機会は一度で、それをトイトイで聴牌したが上がれず。
- 今回も手の内で役を作ることに勤めた。そして作戦通り役牌の一鳴き聴牌で親を落とすことも出来た。ホンイツ鳴き一色は安いのでドラ入り以外は手の内で行くが正解だった。
- 一期一会の牌の出会いを楽しむことにして、役満の機会に挑戦し国士無双をイシャテンまで詰めて良かった。これからもドシドシ挑戦していく。

2021.6.18 ●梅雨入りやダマ聴牌に2度振りぬ●梅雨晴れや心地よく親跳積もる

★今日の主だった感想は次の通り

①梅雨入りとはいえ、今日は朝から晴れ渡る。入り口でコロナ防止の検温は36.8度である。今日は卓の組み立てなどをお手伝いして、12時50分からゲームが始まる。

②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤、宮崎の8人で変わりなし。今日も振り込みしないように注意するも2回、3回戦目でダマ聴牌の-5200、-12000振り込んでしまう。やはりダマ聴牌には防御できず。

③**今日の特記事項**は2回戦親目のラス親の嶺上開花でトイトイを積み上がったことで親跳満を上がり、この回はトップを確保することが出来た。2卓の全試合が短時間となったので6回戦を行う。我が卓は最後まで4時50分に終了。**4勝2敗33ゲーム+64で終わる。**

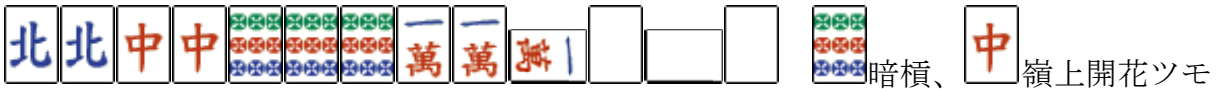
1回戦はいつも心掛けるのはまず振り込まない事。何しろ配牌も引き牌も悪いので聴牌が遅くなる。最後に一盃口、北（自風）と一索のシャボンなのでリーチして北を積み何とか振り込みもせずプラスに終えた。リーチ、ツモ、北、一盃口=子の満貫



振込0、6ゲーム+23で2位

2回戦は最初からダマ聴牌の-5200を振り込むもラス前の親の時に、トイトイに恵まれ、それもチャンタを狙ったらその通りになり、最後は北と中シャボン待ちとなった。9筒が暗刻の時に4枚目が来たので暗槓して引っ張って記のが中と嶺上開花で上がってしまった。本当にラッキーとしか言いようがない。

トイトイ、白、中、嶺上開花、チャンタ=親の跳満



振込1(-5200)、6ゲーム+114でトップ

3回戦は、下家が親で東を鳴いてドラ2の両面待ちで待っていたもこと判らず、聴牌していないと思って振ったら、やられてしまった。最後まで挽回できなかった。

振込1(-12000)、5ゲームの-100で4位。

4回戦は、何しろ配牌、引き牌が悪く、振り込まないことをめざし、最初から中牌切り出してチャンタや七対子を目指したものの、振り込み0でマイナスに終わった。

振込0、6ゲームの-43で3位

5回戦は、配牌を見ても大きな手役は望めないなので、振り込まず、ピンフ作りに励み小まめに上がってプラスに終えた。私の親まで廻らずに時間切れてなってしまった。

振込0、5ゲームの+61で2位

6回戦も、何故か早回しなので振り込まず、こまめに安くても上がり、プラスで終了。

振込0、5ゲームの+9で2位

★今日の備忘録

1、配牌と引き牌の状況を見ながら手作りを替えた。タイヤオドラ三ピンフでダマ聴牌まで行っていたが、下家にツモのみで上がられてしまった。

2、發暗刻ドラの三萬をポンして聴牌し皆を脅かす場面もあったが上がれず。

あ、親のリーチには、自分の手が悪いので現物で全て下りた。正解なり。

2021.6.25 ●麻雀や梅雨の激しさ気にもせず●ノーミスのチートイ積もる梅雨最中

★今日の主だった感想は次の通り

①何しろ自治会館に車で行くほど梅雨の激しさは凄かった。それでも皆さん好きな麻雀なので工夫しながらやってきた。入り口でコロナ防止の検温は36.5度である。今日は卓の組み立てなどをお手伝いして、12時50分ゲーム時間となったが、添田さんが30分遅れると言うので7人で抽選して、南卓が添田さんを待つことにして始まった。添田さんも遅れて来たので南卓は一人一回のみの回しということで始まったようだ。その取り決めに全員の了解のもとで行えば、問題なかったが、一人の宣言のみでおこなったので、それを冗談とも受けてしまった人もいたようだ。南卓は東卓よりも早く終わってしまった。

②今日の参加者は添田、岡部、円田、阿部、大橋、岡村、近藤、宮崎の8人で変わりなし。今日も振り込みしないように注意するも1回のみで風鳴きのドラ2の-7700に振り込みで終わった。配牌も引き牌も悪かったので、振り込まないことに心掛け無理せずリーチに対しては勝負せず現物で下りてしまうことも多く、また、皆さんの親満貫や子満貫に何回となくお付き合いしてしまった。それでも一期一会の展開を自分で操りながら描くので楽しかったことし言うまでもない。

③**今日の特記事項は5回戦の親の時にノーミスの七対子を上げられたことだ。**ドラ待ちでは皆さん捨ててくれないので出ないので、リーチを掛ければ良かったのに忘れてしまい直ぐに積もってしまった。残念なり。今日は6月集計なので頑張りがかったが、配牌と引き牌の悪さからに加えて、皆さんの運量のよさにお付き合いして**2勝3敗31ゲーム-30で終わる。**

1回戦はいつも心掛けるのはまず振り込まない事。何しろ配牌も引き牌も悪いので聴牌が遅くなる。皆さんの運量にお付き合いしてマイナスだったが、最後に子の満貫を上げて辛うじて+8まで挽回した。

リーチ、ツモ、發、ドラ1=子の満貫



振込0、5ゲーム+8で2位

2回戦は今日の流れが良くないので振り込まないことを警戒していたが、自風を一なき鳴き聴牌しているドラ2の親に警戒感もなく振り込んでしまう。挽回を狙うも手が悪くてはどうにもならず。4位に終わった。

振込1(-7700)、6ゲーム-133で4位

3回戦は、7ゲームというのに私が-28の2位というのだから一人勝ちの人に打ちのめされてしまった。良く手も悪くても振り込まないようにしながら手作りするのは楽しい。

振込0、7ゲームの-28で2位。

4回戦は、何しろ配牌、引き牌が悪く、振り込まないことをめざし、最初から中牌切り出してチャンタや七対子を目指したものの、子の満貫を上がっても-41の4位とは平凡なゲームだったことが伺える。

タンヤオ、ドラ3=子の満貫



振込0、6ゲームの-43で4位

5回戦は、最終戦は時間があるので、これまでの配牌や引き牌の悪さを断ち切りたい思いで臨む。先親になってしまったので、これまでのマイナスを少しでも減らすように頑張ることにした。やはり手は悪いが対子が3組あったので七対子に掛けて見る。この七対子も最初は一・九と風牌が多かったのでどんどん切り出して引き牌を大事に残して行ったら、最後はドラの四筒を持って来て聴牌してしまった。捨て牌を見れば、一・九と風牌が配牌のお陰でノーミスの聴牌となった。ドラ待ちでは皆さん捨ててくれないので出ないので、リーチを掛ければ良かったのに忘れてしまい直ぐに積もってしまった。残念なり。この七対子は私の記録に花を添えてくれたことに感謝せずにはいられない。

ツモ、ドラ二、七対子=親の満貫



振込0、7ゲームの+164でトップ

★今日の試合結果

①振込1 (-7700)

②5戦2勝3敗-30に終わる

1回戦5ゲーム+8	振込み0	2位	子の満貫 8000
2回戦6ゲーム-133	振込み1	4位	-7700
3回戦7ゲーム-28	振込み0	2位	
4回戦6ゲーム-41	振込み0	4位	
5回戦7ゲーム+164	振込み0	トップ	親の満貫 12000

★今日の備忘録

1、何しろ一期一会の世界なので毎回違う場面であり、鳴いたり、ポンしたりされれば、また流れも変わるので、その中で自分が目指す聴牌に近づければよいと思っているが、それが出来ないことや、逆に手の内が良くなったりすること千差万別が一期一会の世界を醸し出して面白い。今日も良くも悪くも引き受けて乗り切ってきたが、マイナスになってしまった。というのは他家の運量にお付き合いした感だいである。とくに親被りをされると痛手である。

2、七対子は対子が三組み合ったら何回も狙ったが成功したのは一回のみと難しい。挑戦していてリーチがかかり下りたことも二回程あった。後から来る牌の流れを読みながら残していくも、先に捨てなかったら聴牌していたことが何回もあった。

3、親のリーチには、自分の手が悪いので現物で全て下りてきた。正解なり。

2021.7.2 ●梅雨激しそれでも集う麻雀士●振込みゼロ四回負けなし梅雨の卓

★今日の主だった感想は次の通り

①梅雨の激しさにどうにもならないので車で行く。会館入り口で検温して書くのだが、コロナワクチン接種者が増えたのか、自治会館も検温も緩やかになった。検温は36.4度である。今日の参加者は添田、岡部、円田、岡村、近藤、宮崎の6人である。12時50分から1卓でゲームが始まるも2人欠席。添田さんが遅れるので岡部さんが一回目を休み。

②今日も一期一会の世界が始まる。最初の配牌とそれに続く引き牌に神経を集中させて、どんな手役で行くか考えながらゲームを楽しむ。何時ものように振り込みしないように注意を払う。また、麻雀のジंकスを守ることを心掛けながら、七対子に3回も挑戦したが聴牌できず、その中の一回はトイトイで聴牌したのみ。

③**今日の特記事項**は4回戦24ゲームの一期一会の展開となったが、大きな動きのあるゲームはなく、どれも平凡に終わっている。しかし、その中で1回戦の先親の時にこまめに上がり、振込みゼロだったことが幸いして、その流れを引き継ぎ4回戦まで振込みゼロで終わった。**これで振込みゼロは、1/15、1/22に続き3回目となる。**今日のゲームは平凡だったので、こちらが振り込めばすぐマイナスになるので、**リーチに対しても、鳴きに対しても、自分が上がれなくなっても、現物でベタおりに徹していたことが、良かったのではないかと**思っている。**4勝0敗24ゲーム+164に終わる**

1回戦の最初の配牌を見ると今日も平凡なりと読み取って、チャンスは逃さないことをモットーに心掛けた。リーチ、ドラ2=子の5200 この上がりを守り切る。



振込0、6ゲーム+66でトップ

2回戦は待機組の岡部さん、添田さんと一緒に行く。平凡な試合となった。私とトップの差も40点差であるように点棒の動きは少なかった。振込みに細心の注意を払いながら、小まめに上がって守り切ったのが良かった。

振込0、6ゲーム+61で2位

3回戦は、何と東風戦も30分で終わってしまったように平凡で短調だった。

振込0、6ゲームの+24で2位

4回戦は、何しろ配牌、引き牌が悪く、お手上げで、聴牌料をいただいたことでプラスになっことも過言ではない。

振込0、6ゲームの+14で2位

★今日の備忘録

①ドラ1でカンチャン8索待ちで聴牌したが、7索に6索を引き牌すると、ピンフの両面になるので、それまでと思ってリーチしなかったら直ぐに下家が振ったので、リーチすればよかったと思った。

②和了を最大限に目指し、**不可能ならオリ**ということが、麻雀にとって**一番重要な技術**であること言うまでもない。全局の半分はベタオリゲーム。今回は守ったとも言える。

③七対子崩れで3段目にトイトイを聴牌したらみなさんそれを読んで下りてしまったように脅かしも武器になると思った。また、チャンタなどは、皆さん風牌や一・九牌は警戒して捨てるのが極端に減った。

2021.7.16 ●梅雨明けや子の跳満を勝取りぬ●梅雨明けの麻雀卓も運七分

★今日の主だった感想は次の通り

①関東地方は梅雨明けとか予報官が宣下していた。三週間前から雷を伴うゲリラ梅雨に悩まされてきたが、今日からは熱中対策に切り替わった。早めに自治会会館に来れば、入り口で二週刊お休みしていた阿部さんが煙草を美味しそうに吸っていたので、「元気」と声を掛ける。手術はこれからだとか。会館入り口で検温すると、検温は36.8度である。今日の参加者は添田、岡部、円田、岡村、近藤、宮崎、大橋、阿部さんと久しぶりの8人である。2卓で始まる。何だかんだあっても週一回の麻雀例会をこの仲間たちと囲むことが出来ることに感謝している。

②私にとっては、これから5回戦の一期一会の世界が始まる。まずは最初の配牌と引き牌の流れを見て、良し悪しは別にして、今日はどんな手作りをしていくかの頭の中にイメージを描き、引き牌を楽しみにしながら、スタートする。毎度のことだが、先ずは振り込まないことに細心の注意を払いながら進めるのが、私の習慣ではあるが、思うようにいかな新ところが麻雀の面白さである。今日は全般的に心余裕があったので配牌に恵まれていない中でもトイトイで他家を脅かしたり、チャンタで脅かしたりできる程余裕だったことは間違いない。前半は振り込みが3回もあったが、トップ2回確保して、+221に踏みとどまった感あり。

③今日の特記事項は5回戦35ゲームの一期一会の展開となった。最終の5回戦は4時からスタートしたので、5時までということになり、東南戦となったことである。個人的には前半の三回は大きな動きのあるゲームはなく、前回と同様に平凡に終わっている。後半の2回戦は小まめに上がって点棒積み重ねて、4回、5回はトップでプラスに終わった。★5回戦の中で最終戦に唯一の満貫が出た、それも珍しくも鳴き清一色の一気通貫で子の跳満貫となったことである。



対面大橋さん振込

★3回戦に一発逆転の今季6回目のノーミス七対子を聴牌するも和了できず



今日の結果は2勝3敗35ゲーム+221に終わる

1回戦の最初の配牌を見ると今日も平凡なりと読み取って、リヤメン待ちのピンフ作りに心掛けて、子ながらドラ入りのリヤメン待ちの満貫の先制リーチをしたところ、親のリーチに振り込んでしまう。これは仕方ない。

振込2 (-5800、-1000) 5ゲーム-48で3位

2回戦は6ゲームを行い振込み0で皆さんの運量に付き合ってしまった。手が悪い時は振り込まなくてもマイナスが増えるばかり。

振込0、6ゲーム-76で3位

3回戦は、本当に短調な試合だった。振込み1でその点数だけがマイナス二になって終わったが、3回戦に一発逆転の今季6回目のノーミス七対子を聴牌するも和了できず。



2021.7.30 ●麻雀は運七分なり七月尽●冷房や子の跳満を積もりけり

★今日の主だった感想は次の通り

①今日も午後にはわか雨降るとの予報なので折りたたみ傘をもって麻雀例会に参加。会館入り口で検温すると、検温は36.7度である。何しろコロナ感染拡大は、過去の記録を更新している。麻雀倶楽部の人全員がワクチン接種を終えたいので元気にマスク顔して麻雀に参加している。12時50分から4時間の私の一期一会の世界の物語作りが始まる。今日の参加者は添田、岡部、円田、岡村、近藤、宮崎、大橋、阿部さんと8人の2卓で始まる。何だかんだあっても今日も麻雀例会が楽しめることに感謝している。

②私にとって、今日の最初の配牌と引き牌の流れは、良くも悪くもなく、流れの感触を大事にして様子を見ながらスタートする。全体を振り返ると、東風戦の後半に聴牌上がりすることが殆どだった。今日も振込まないことを心掛けたので、5時までの5回戦を終わってみれば、鳴き聴牌の親に一回振り振込んだだけに終わった。振込しなくてもマイナスに終わるのが麻雀である。

また、他人様の試合には口を挟むのは、試合が終わってからのことなのに、麻雀巧者の岡部さんと円田さんは自分たちが終わると、試合中の後ろに来ていろいろと口を挟む。これはないだろう。岡部さんなどは勝手に残り牌の七対子を分けるしマナー違反もいいところだ。本人は気が付いていない。認知症でクラブを辞めた須藤さんが口出しに反発したことが蘇って来る。

③今日の特記事項一は、1回戦の時に円田さんと同卓になった。彼も岡部さんと同様に麻雀巧者なので何時も警戒している。この二人が親になった時は、こちらもダマ聴牌で上がるように心掛けている。今日の一回戦では、後半に入って初めて単騎待ちの聴牌をして円田さんからリーチ一発の子の満貫を上がったことである。円田さんから上がったことはしてやったりの一言に尽きる

リーチ、一発、ドラ2=子の満貫



今日の結果は振込1回(-5800) 3勝2敗26ゲーム+199に終わる

1回戦から心掛けるのは振り込まないことである。最初の配牌も引き牌も悪いがそれなりに進めば聴牌も出てくるので流れはまあまあである。後半に入るまで聴牌もなかったが、後半の三ゲームに入り、やっと聴牌したものの、単騎待ちになってしまった。ドラ1あるので東待ちの即リーチで裏ドラもついて子の満貫となった。この満貫を最後まで守りきりトップとなった。本日の特記事項参照。

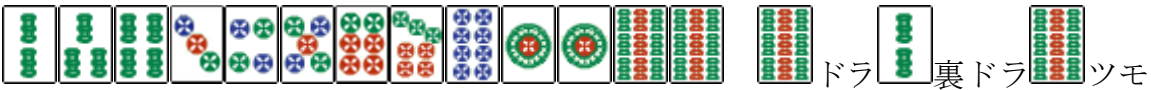
振込04ゲーム+80でトップ

2回戦目も振込みには注意していたが、親の鳴き聴牌に振込み1となってしまった。役牌にドラドラの鳴き聴牌に打つ手なしである。挽回も出きずその上皆さんのツモ上がりの満貫や跳満にお付き合いして一気にマイナスとなってしまった。

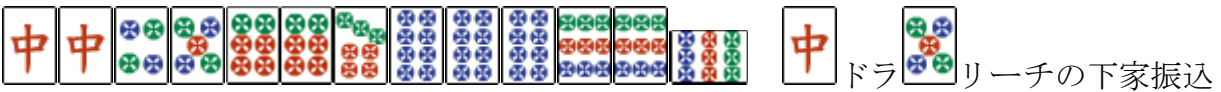
振込1(-5800)6ゲーム-154で4位

3回戦は、自分の親も含めて前半はあっさりと流されてしまったが、後半は2ゲームは立て続けに聴牌して、あれよ、あれよという間に子の跳満と子の満貫を上がりトップになってしまった。本当に麻雀は運七分を実感してしまう。

リーチ、ツモ、ドラ 4 = 子の跳満 12000



ホンイツ、ドラ 2 = 子の満貫



振込 0、6 ゲームの +186 で **トップ**

4 回戦も、前半は配牌と引き牌の流れも悪いので我慢して振り込まないように注意していたら、後半の親の時に何とか聴牌したので即リーチしてしまう。

リーチ、ツモ、ドラ 1 = 親の 7700



この回も聴牌はこれが最初で最後だったので何とか守り切った。

振込 0 で 6 ゲームの +101 で **トップ**

5 回戦は 4 時前からスタートなので 5 時まで東南戦なの確認すると、東風戦のみというのでこちら振込みしないことをモットーに取り掛かるも、引き続き配牌と引き牌の流れが悪く我慢の子。最近はず安全牌は一枚かならず持つことにしている。この回もドラを切れば聴牌だが、親がリーチなのでベタおりしたことや、東を最初に捨てたのに途中で二枚になった。ドラ二枚を頭に行っているので東を鳴いて聴牌させた。そのまま終わったが、円田さんがみっともないと言いうも、麻雀は上がることが最終目標なので受け流す。



岡部さんと円田さんはマークしているので上がりも観察しているが、彼等も安い手役で結構上がっている。リーチすると岡部さんも円田さんも風牌や端牌から切って来るので、それを利用して、岡部さんからそれなりに振り込んでもらっている。

振込 0 の 4 ゲーム - 14 で **2 位**

★今日の備忘録

①今日は牌の流れを見ていると、配牌も引き牌も悪いが、それなりに遅くなくても聴牌に漕ぎつけるので、それなりに手作りを楽しめたが、相手からリーチがかかると下りることの方が多かった。リーチされると振込みはしないものの、鳴きやダマ聴牌には注意しているものの、手の打ちようがない。

②一種 8 牌もあったので国士無双を狙いながら七対子を狙うも、親のリーチからリャンシャンテンで終わってしまった。この時も対子の風牌や役牌を一律に残すのではなく、対子になりそうな牌は残しておくことが懸命。無理やり風牌などに拘ったので捨て牌を見たら上がっていたのはがっかりくる。

④今日も 26 ゲームの一期一会の世界を楽しませていただいた。人に何を言われようとも自分の楽しみ方を貫いて行きたいと常に思っているので、勝ち負けに関係なく仲間の皆さんには感謝している。

2021.8.6 ●テレビ見て雀士の語る夏五輪●情けなき雀士ぶつぶつ炎暑かな

★今日の主だった感想は次の通り

①今日も朝から気温上がりばっなし。この暑さも化石エネルギーの使い過ぎから来る温暖化の一つ。炎昼の中、自転車を漕ぎ自治会館へ急ぐ。会館入り口で検温すると、何時もの如く検温は36.7度である。何しろコロナ感染拡大は、過去の記録を更新している。さいたま市にも非常事態宣言が発令されているが、麻雀倶楽部の人は全員がワクチン接種を終えていることや、殆どの方が家籠りしていることから、感染する心配もなく、円田さんもお休みすることなく参加している。12時50分から4時間の私の一期一会の世界の物語作りが始まる。今日の参加者は添田、岡部、円田、岡村、近藤、宮崎、大橋、阿部さんと8人の2卓で始まる。何だかんだあっても週一で麻雀例会を楽しめる機会を持てることに感謝している。

②私にとって、最初の配牌と引き牌の流れを感覚的に受け止めたのは、今日も苦勞する流れと読んで、一期一会の世界を楽しみながら最初から我慢の子でいくことにした。一回戦も後半に引き牌が良くなってきたので上がれるチャンスは最大限に生かそうと努力する。それでも聴牌するのは3段目に入ってからである。全体を振り返ると、最近自分も5千点以上で聴牌したら下りないという強気に攻めているので、今回も子の満貫に三回と5200、親の5800と5回も振り込んだ。これでは勝てるわけがない。また、柔軟に戻すことにする。

今日は円田、岡部さんと同卓に二回程付き合った。一回目の時、私がポンしてホンイツが聴牌したところ、私がポンしたので積りが狂った事から、「ダメ聴牌」のドラドラ七対子で親の添田さんがツモ上がりしてしまった。二人とも見え見えの安いホインツなど鳴くなと言わんばかりの事を口にする。皆さん4千点払ったのは気の毒に思うが、二人の麻雀に大らかさがない。添田さんの手役を褒めるべきであろう。私は健康麻雀なので大らかに楽しむことを目的としているので、一期一会の場面をその人なりに素晴らしい手役を達成したので「おめでとう」と言葉をかけている。

③今日の特記事項一は、5回戦の時に、本日2回目の岡部さん、円田さんと同卓になった。岡部さんと円田さんには気が抜けないのが常である。自分も満貫の手になるので、聴牌用にして残していた安全牌を切ったら、円田さんのリーチに子の満貫を振り込んでしまった。次に私が、一盃口ドラドラ八万単騎待ちでリーチを掛ける。そこには岡部さんと円田さんの落とし穴を作った。というのはこの二人は、リーチすると必ず端牌や風牌などから切って来る。そこで



と連続で捨て牌して、

単騎待ちのリーチした


ところ、何と運があったのか神様が運んでくれたのか、一発で子の跳満を積もってしまい、皆さんを唾然とさせてしまった。ツキの何物でもない岡部さんは口にするが、彼が最初に上がった鳴き3色のみよりました。ここが麻雀の一期一会の面白さなのだ。

単騎待ちリーチ、一発、ツモ、一盃口、ドラ2=子の跳満



単騎待ち7/30リーチ、一発、ドラ2=子の満貫



単騎待ち 2 / 1 9 リーチ、ツモ、タイヤオ、ドラ 1 子の満貫  を捨て 7 筒待ち



単騎待ち 2 0 / 1 2 / 1 8 リーチ、一発、ドラ 2 親満貫



単騎待ち 2 0 2 0 / 1 0 / 2 3 リーチ、ドラ 3 南、子の満貫 1 索単騎待ち



今日の結果は振込 5 回 (-8000×3 回-5800、-5200) 2 勝 3 敗 2 8 ゲーム - 3 2 7 に終わる
1 回戦から心掛けるのは振り込まないことである。前半はどうにもならなかったが後半最後の親の時に 5 8 0 0 点を 2 回上がり、逃げ切る。

ツモ、一气通貫 = 親 5 8 0 0



リーチ、ツモ、ドラ 1 = 親 5 8 0 0



振込 0、6 ゲーム + 1 1 6 で **トップ**

2 回戦目も振込みには注意していたが、親の先制リーチをしたら後リーチに子の満貫を振り込む。その分だけ負けこむ。ツキがなく挽回できず。私が振り込んだだけで平凡だった。

振込 1 (-8000) 5 ゲーム - 9 0 で **4 位**

3 回戦は、先親あっさり流されてしまったが、無理して聴牌に漕ぎつけて子の満貫と 5 2 0 0 を振込、皆さんのツモ上がりにお付き合いして箱点に近くまで負けこんでしまった。

振込 2 (-8000、-5200) 6 ゲームの -2 5 1 で **4 位**

4 回戦も、配牌も引き牌も悪いので我慢の子である。対子 (役牌を含め) 3 組ほどになるので七対子を狙うも上手くゆかず、トイトイにして聴牌するもそれがやっとなり上がり切れず。この回は 2 回程あった。そこで無理するので親の 5 8 0 0 を振り込んで終わってしまった。

振込 1 (-5800) 6 ゲームの -1 0 1 **4 位**

5 回戦は 4 時前からスタートなので 5 時まで東南戦なの確認すると、東風戦のみということでこちら振込みしないことをモットーに取り掛かるも、引き続き配牌と引き牌の流れが悪く我慢の子。今日の特記事項を参照。

振込 1 (-8000) 5 ゲーム + 8 で **3 位**

★今日の備忘録

①今日は牌の流れを見ていると、配牌も引き牌も悪いが、それなりに遅くなっても聴牌に漕ぎつけるので、それなりに手作りを楽しめたが、相手がリーチしても強気に行き逆に負込むことが多かった。やはり強気で行くか、ベタ下りするかの決断を早く下し、柔軟に対応していくことを痛感する。

麻雀俳句

(2021. 8～2020. 9)






- | | | |
|--------------|------------------|-------------------|
| 2021. 8. 20 | ●炎昼の麻雀に我夢中なる | ●ドラ三も上がれぬままの晩夏かな |
| 2021. 8. 13 | ●麻雀や雨前線に夏涼し | ●聴牌にリズム感なき夏の卓 |
| 2021. 8. 6 | ●テレビ見て雀士の語る夏五輪 | ●情けなき雀士ぶつぶつ炎暑かな |
| 2021. 7. 30 | ●麻雀は運七分なり七月尽 | ●冷房や子の跳満を積もりけり |
| 2021. 7. 23 | ●炎昼や運量のなき負け麻雀 | ●冷房も関わりのなき麻雀卓 |
| 2021. 7. 16 | ●梅雨明けや子の跳満を勝取りぬ | ●梅雨明けの我が麻雀もツキありぬ |
| 2021. 7. 9 | ●梅雨曇り振込みゼロやプラスなる | ●運七分満貫上がる梅雨曇り |
| 2021. 7. 2 | ●梅雨激しそれでも集う麻雀士 | ●振込みゼロ四回負けなし梅雨の卓 |
| 2021. 6. 25 | ●麻雀や梅雨の激しさ気にもせず | ●ノーミスのチートイ積もる梅雨最中 |
| 2021. 6. 18 | ●梅雨入りやダマ聴牌に2度振りぬ | ●梅雨晴れや心地よく親跳積もる |
| 2021. 6. 11 | ●親跳を2回振り込む梅雨の卓 | ●ツキはナシどうにもならぬ梅雨の卓 |
| 2021. 6. 4 | ●梅雨入りや国士無双もままならず | ●梅雨曇りそれなりに牌巡りくる |
| 2021. 5. 28 | ●梅雨曇り麻雀もツキ七分かな | ●梅雨曇り満貫上がり四度かな |
| 2021. 5. 21 | ●打つ手なき運量もなき梅雨の卓 | ●梅雨入りや麻雀運に見放される |
| 2021. 5. 14 | ●汗をかき麻雀を打つ雀士かな | ●真夏日のメンホン上がる子満かな |
| 2021. 5. 7 | ●花曇り麻雀運も我になし | ●親被り四回沈む春の卓 |
| 2021. 4. 30 | ●四月尽うるさき雀士口挟む | ●春風や急かせる雀士マスク顔 |
| 2021. 4. 23 | ●麻雀を囲み至福の日永かな | ●満貫のダマ聴牌や春の昼 |
| 2021. 4. 16 | ●黙々と聴牌目指す春の卓 | ●清一色のトイトイ積み春深む |
| 2021. 4. 9 | ●マスクして親満積もり春深む | ●桜散り鳴かず飛ばずの麻雀かな |
| 2021. 4. 2 | ●大三元夢見て積もる四月卓 | ●大三元積る祝いの花吹雪 |
| 2021. 3. 26 | ●桜呼ぶ麻雀運の強さかな | ●桜風ドラ四枚の手を上がりぬ |
| 2021. 3. 19 | ●桜咲き麻雀囲む至福かな | ●暖かやノーミスで積もる七対子 |
| 2021. 3. 12 | ●検温し麻雀囲む春温し | ●運はなしリーチ貧乏春の卓 |
| 2021. 3. 5 | ●春冷えや二回箱点食らいけり | ●ダマの親跳に振り込む弥生かな |
| 2021. 2. 26 | ●麻雀の運量もなく春寒し | ●春陰やシャボン待ち読み違えぬ |
| 2021. 2. 19 | ●春温し麻雀仲間偲びけり | ●春温し三色聴牌三度かな |
| 2021. 2. 12 | ●春寂し麻雀仲間旅立ちぬ | ●早春や二回も上がる三面待ち |
| 2021. 2. 5 | ●寒晴れや麻雀囲みコロナ話し | ●春立ちぬ早い聴牌イスソ待ち |
| 2021. 1. 29 | ●寒空に運も逃げ出す麻雀かな | ●寒晴れやダマ聴牌に打つ手なし |
| 2021. 1. 22 | ●大寒や振込みゼロの麻雀会 | ●大寒や麻雀トップ喧嘩せず |
| 2021. 1. 15 | ●新春や初めて試す新三麻 | ●春遠し恥ずかしき初チョンボかな |
| 2021. 1. 8 | ●新春の我ツキまくる麻雀会 | ●迎春やカンドラ増え親跳満 |
| 2020. 12. 25 | ●先輩のクリスマスイブ十八翻 | ●年歩む何時も意識の東風戦 |
| 2020. 12. 18 | ●空凍てぬ聴牌のみや大三元 | ●跳満のチートイ積もる師走かな |
| 2020. 12. 11 | ●ハイテイに振る運のなさ十二月 | ●窓開けて空気入れ替え冬の卓 |
| 2020. 12. 4 | ●ダマ聴の子満振込み冬に入る | ●冬温し親満続きトップ取る |
| 2020. 11. 27 | ●初回から跳満上がり冬に入る | ●満貫のカンチャン積る秋の暮 |

2020. 11. 20	●木の葉舞う夢見て終わる大三元	●理想なるチートイ上がる小春かな
2020. 11. 13	●秋暮れて地和積りの友の笑み	●運量のなき麻雀や木の葉降る
2020. 11. 6	●秋深み外野うるき雀士かな	●神無月コロナ休みの雀士五人
2020. 10. 30	●晩秋や友の嬉しき四暗刻	●十月も麻雀例会楽しみぬ
2020. 10. 23	●秋雨や四度目上がる国士無双	●秋雨や麻雀運に恵まれぬ
2020. 10. 16	●秋晴れや三度目上がる二 盃口	●マスクして麻雀囲む秋晴れぬ
2020. 10. 9	●秋雨や跳満上がる三連刻	●秋雨やダブリを積もる友の笑み
2020. 10. 2	●秋晴れや運量悪く我慢の卓	●秋の卓一期一会を楽しみぬ
2020. 9. 25	●秋雨や運廻り来て楽勝す	●秋雨や麻雀の卓みな笑顔
2020. 9. 18	●秋風や他人のツキにギブアップ	●配牌の悪さに秋を耐え忍ぶ
2020. 9. 11	●秋の卓コロナ休みの友参加	●配牌の悪さ嘆きぬ秋暑し

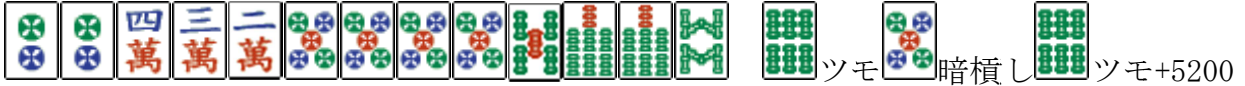
私が俳句を詠むようになったのは、今は亡き絵はがき作家の登山家から山に登るだけではもったいない。何か自分を表現するものを持つことによってもっと登山が楽しくなるからと進められてから独学で勉強して40年を経過してしまった。俳句は今でも日課として20数句詠んでいることから、健康麻雀例会でも雰囲気を詠みながら楽しんでいる。

嶺上開花 (1 / 3 7 5) 上がる

第1回目 R 3. 4. 3 0

まずを積み、とのカンチャンが埋まったので、を暗槓したら再度を積み、嶺上開花成立。

嶺上開花 = タンヤオ、ツモ、嶺上開花 5200 点

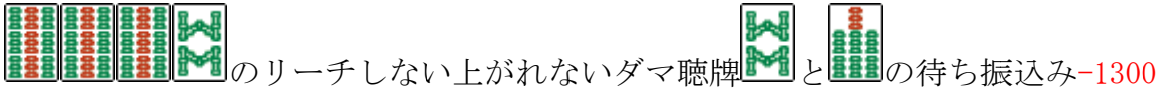


この日は槓振りも体験

槓振り 1 ハン = リーチの 1・4 万待ち、



下家は

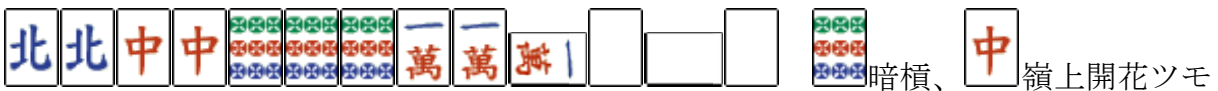


本人はリーチもしていないので本人は上がれないと思っていたのに周りの人が教えて上がりになった。「槓振り」というらしいが、廻りでとやかく口出しすることはないだろう。教えるなら終わってからでもよいのではないか。この時も岡部さんと円田さんが絡んでいる。帰ってから調べると、「**槓振り・麻雀で槓の宣言をした直後に場に捨てた牌で他家がロンの宣言をすること。ローカルルールの一つ。**」

第2回目 R 3. 6. 1 8

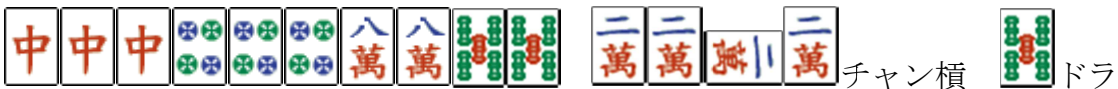
トイトイに恵まれ、それもチャンタを狙ったらその通りになり、最後は北と中シャボン待ちとなった。9筒が暗刻の時に4枚目が来たので暗槓して引牌が中となり、嶺上開花で上がってしまった。本当にラッキーとしか言いようがない。

トイトイ、白、中、嶺上開花、チャンタ = 親の跳満



第3回目 R 3. 7. 2 3 チャン槓 (1 / 2 0 0 0) 振込体験

満貫か跳満になるトイトイの時にチャン槓をして初めて親満貫に振込。



ハイテイツモ (1 / 3 2 2)

第1回目 R 2.1 1.1 3

2回戦は、配牌も引き牌も悪く、苦勞して上がりに向けて手作りしながら3段目の終わりでチートイが聴牌したが、マイナスなので上がれないと思っていたからリーチ棒も節約。それが何とハイテイツモとなってしまった。リーチ、チートイ、ハイテイツモ 6400点



第2回目 R 2.1 1.2 7

5回戦は、前回で運量に見放されたかと思ひしや、1ゲーム目も運があったハイテイツモで上がってしまった。

リーチ、ツモ、ハイテイ、ドラ1で子の満貫



第5回目 R 3. 3. 1 9

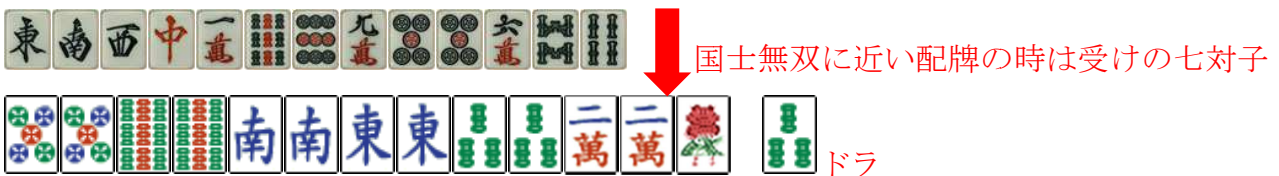
5回戦は、今日の特記事項で書いたように、ノーミスで6段目に七対子を積もれたことである。ノーミスの七対子上がりには3回目である。ドラも無かったのですぐリーチすれば良かったのに、親だったのでそれを忘れてしまったら一発でツモってしまった。

七対子ツモ 4800点



第6回目 R 3. 3. 1 9

配牌を見たら1・9字牌が8種類もあり、5筒が対子になっているのみで面ツウも無かったので、これでは最初から上がれないと思って、国士無双を狙いながら5筒の対子を捨てずに七対子でもと僅かな期待を以って臨んだところ上がれなかったが3段目の終わりでドラ入りの七対子で聴牌した事である。この七対子も聴ばいまでノーミスだった。



第7回目 R 3. 6. 2 5

5回戦は、最終戦は時間があるので、先親になったので、これまでの配牌や引き牌の悪さを断ち切りたい思いで臨む。やはり手は悪いが対子が3組あったので七対子に掛けて見る。この七対子も最初は一・九と風牌が多かったのでどんどん切り出して引き牌を大事に残して行ったら、最後はドラの四筒を持って来て聴牌してしまった。捨て牌を見れば、一・九と風牌が配牌のお陰でノーミスの聴牌となった。ドラ待ちでは皆さん捨ててくれないので出ないので、リーチを掛ければ良かったのに忘れてしまい直ぐに積もってしまった。残念ながら。この七対子は私の記録に花を添えてくれたことに感謝せずにはいられない。

ツモ、ドラ二、七対子=親の満貫



第8回目 R 3. 7. 1 6

3回戦は、本当に短調な試合だった。振込み1でその点数だけがマイナスになって終わったが、一発逆転の今季6回目のノーミス七対子を聴牌するも和了できず。



第6回目 R 3.1.8

1回戦は東風戦なのでまず振り込まないように心掛けて振込みゼロ。

ホンイツ、一气通貫、白 親満貫



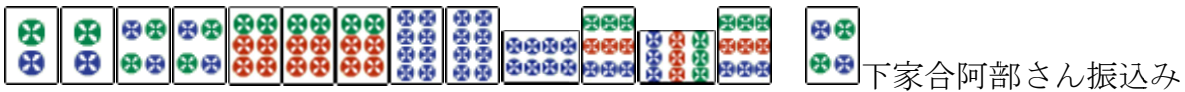
振込下家大橋さん

振込0、6ゲーム+239でトップに終わる

第7回目 R 3.4.16

3回戦は、最初から筒子系が多かったので最初からそこへ集中して、清一色を狙ったが暗刻が増えだし、上手くポンが2回出来たのでドラの5筒を切ってトイトイが聴牌した。会心の聴牌も既に皆さんの警戒の中なので上がれるとは思ってもいなかった。

清一色、トイトイ、=子の跳満

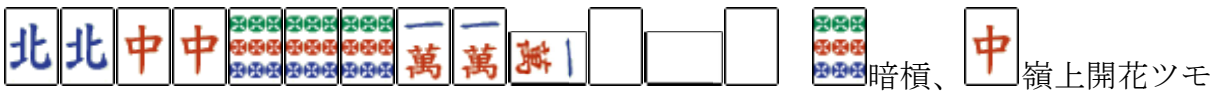


下家合阿部さん振込み

振込0、6ゲームの+70でトップに終わる。

第8回目 R 3.6.18

2回戦は最初からダマ聴牌の-5200 を振り込むもラス前の親の時に、トイトイに恵まれ、それもチャンタを狙ったらその通りになり、最後は北と中シャボン待ちとなった。9筒が暗刻の時に4枚目が来たので暗槓して引っ張って記のが中と嶺上開花で上がってしまった。トイトイ、白、中、嶺上開花、チャンタ=親の跳満



暗槓、嶺上開花ツモ

振込1(-5200)、6ゲーム+114でトップ

第9回目 R 3.7.16

5回戦は4時からスタートなので5時まで東南戦としてスタート。私は引き続き配牌と引き牌の流れが私に回って来たので、リズム感を持って大事に臨む。まず驚いたのはこの時に筒子多かったのでそれに的を絞り一鳴き聴牌して、それも珍しくも鳴き清一色の一气通貫で子の跳満貫となったことである。



対面大橋さん振込

振込0、12ゲームの+221でトップ

1 / 500以上の麻雀役で上がったもの

● 2017.9~2018.8 = 国士無双2回、小三元1回 ダブルリーチ2回 計5回



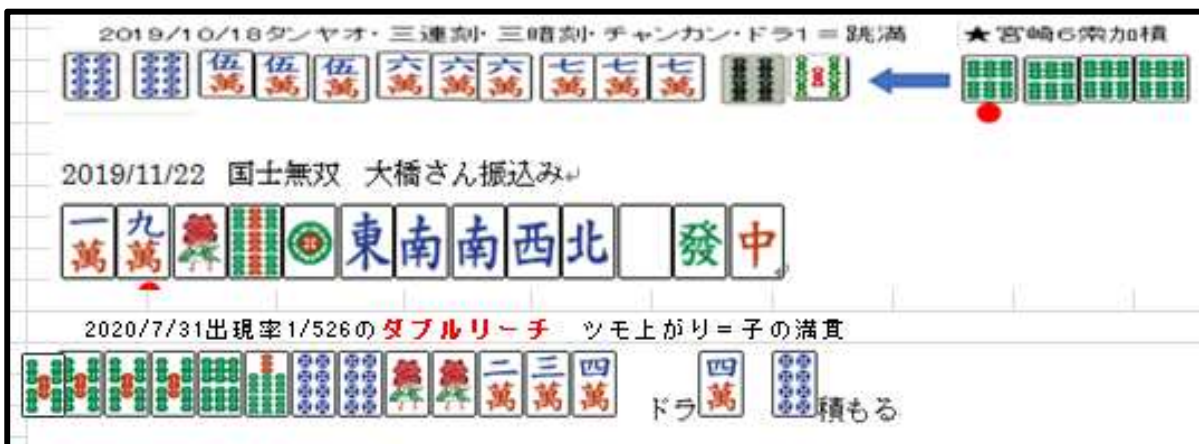
★国士無双 = 1 / 2325 ★小三元 = 1 / 666 ★ダブルリーチ = 1 / 526

● 2018.9~2019.8 = 二盃口2回、三色同刻2回 計4回




★二盃口 = 1 / 2000 ★三色同刻 = 1 / 2000


● 2019.9~2020.8 = チャン槓1回、三連刻1回、国士無双1回
ダブルリーチ1回 計4回





★チャン槓 = 1 / 2000 ★三連刻 = 1 / 2500 ★国士無双 = 1 / 2325
★ダブルリーチ = 1 / 526

● 2020.9~2021.8 = 三連刻1回、二盃口1回、国士無双1回、大三元1回

2020/10/9 出現率 1/2500、トイトイ、三暗刻、三連刻、タイヤオ = 子の跳満
 円田下家振込み

2020/10/16 出現率 1/2000、ダブル盃口ドラドラ 子の満貫
 漆田上家振込み

2020/10/23 出現率 1/2325 国士無双 役満
 中 上家円田さん振込

2021/4/2 出現率 1/2564、大三元 子の役満貫
 ツモ

★三連刻 = 1 / 2500 ★二盃口 = 1 / 2000 ★国士無双 = 1 / 2325
 ★大三元 = 1 / 2564

出現確率 500回 / 1以上の役の達成回数表		1	2	3	4	5	6	7
Wリーチ	526回/1	h30/7/20 ツモ	h30/8/31 宮崎	R2/7/31 ツモ				
小三元	666回/1	h30/3/23 山崎						
退老頭	1250回/1							
三色同刻	2000回/1	h31/4/2 柴田	R1/7/5 柴田					
二盃口	2000回/1	R1/6/7 ツモ	R1/8/9 ツモ	R2/10/16 漆田				
チャンカン	2000回/1	R1/10/18 宮崎						
三連刻	2500回/1	R1/10/18 宮崎	R2/10/9 円田					
四暗刻	2040回/1							
国士無双	2325回/1	h29/9/8 平田	h30/4/20 岡崎	R1/11/22 大	R2/10/23 円田			
大三元	2564回/1	R3/4/2 ツモ						
四喜和	8333回/1							
字一色	12500回/1							
三カンを	20000回/1							
清老頭	55248回/1							
地和	63290回/1							
緑一色	90909回/1							
九蓮宝燈	222222回/1							
天和	330578回/1							
四カンを	427350回/1							

2017年9月から1年間自治会健康麻雀を楽しんでいる私の数値記録

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
麻雀回数	17	4	5	9	9	8	20	15	22	22	20	21	172
勝数	9	3	2	5	4	3	13	9	13	12	9	15	97
トップ数	6	2	0	2	2	3	6	6	7	9	3	8	54
負数	8	1	3	4	5	5	7	6	9	10	11	6	75
参加日数	4	1	1	2	2	2	4	3	4	5	4	5	37
勝日数	4	1	0	2	2	2	2	2	4	3	2	4	28
負日数	0	0	1	0	0	0	2	1	0	2	2	1	9

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
勝点数	974	273	90	490	646	807	353	832	1285	1284	513	1215	8762
負点数	-289	-40	-481	-121	-386	-412	-285	-425	-483	-930	-761	-291	-4904
差引	685	233	-391	369	260	395	68	407	802	354	-248	924	3858

負け越													
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
回数勝率	53%	75	40	56	44	38	65	55%	59	55	45	71	56%
回数負率	47%	25	60	44	56	62	35	45%	41	45	55	29	44%
回数トップ率	35%	50	0	22	22	36	30	31%	31	41	15	38	31%
勝数トップ率	67%	67	0	40	50	100	46	56%	54	75	33	53	57%
勝点数比率	77%	87	16	80	63	66	55	66%	73	65	40	81	64%
負点数比率	23%	13	84	20	37	34	45	33%	27	35	60	19	36%

※2年度目のからは1回のゲーム数に対しての振込み回数もデータ化しています。

1 / 500以上の麻雀役で上がったもの

● 2017.9～2018.8 = 国士無双2回、小三元1回、ダブルリーチ2回 計5回



★国士無双 = 1 / 2325 ★ダブルリーチ = 1 / 526 ★小三元 = 1 / 666

2018.9~2019.8 私の島町麻雀クラブ記録

月	試合数 A	ゲーム数 B	振込数 C	振込率 D	勝敗数 E	勝率 % F	得点数 G	トップ数 H	トップ率 % I
9月計	19回	108	6	0.055	10勝9敗	53	572	8	42(80)
10月計	11回	65	6	0.092	8勝3敗	73	660	4	36(50)
11月計	24回	148	8	0.054	15勝9敗	63	1008	7	29(7)
12月計	13回	75	4	0.053	9勝4敗	69	321	3	23(33)
1月計	11回	62	5	0.081	7勝4敗	64	340	6	45(86)
2月計	21回	109	7	0.064	12勝9敗	57	264	6	29(50)
3月計	25回	133	15	0.113	11勝14敗	44	423	6	24(55)
4月計	14回	76	6	0.079	5勝9敗	36	-251	5	36(100)
5月計	20回	121	11	0.091	12勝8敗	60	172	9	45(75)
6月計	19回	97	9	0.092	12勝7敗	63	467	7	37(58)
7月計	22回	125	6	0.048	11勝11敗	50	506	4	18(26)
8月計	28回	141	8	0.07	16勝12敗	52	667	10	36(63)
合計	227回	1260	92	0.073	128勝99敗	56	5149	75	33(59)

D 振込み率=C÷B、F 勝率=E勝÷A、I トップ率=H÷A(勝数トップ率=H÷E勝数)、

トップ	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	計	勝敗	振込み率	トップ	
6月7日	8=0+82	6=1-154	5=0-5	5=0-36	5=1-104	4=0+80	33=2-137	2勝4敗	0.0606	2
6月14日	6=2-175	4=1-122					10=3-297	0勝2敗	0.3	
6月21日	5=0+188	6=0+120	4=0-60	5=1+116	5=0+69		25=1+433	4勝1敗	0.04	3
6月28日	3=0+95	5=1+118	7=1+198	5=0+19	4=1+32	5=0+6	29=3+468	6勝0敗	0.1034	2
6月計	1123	-656	467				97=8+467	12勝7敗	0.0927	7

振込み内容と結果

日	振込み1	振込み2	振込み3	合計	結果	累計	振込み内容
6月7日	-8,000	-12,000		-20,000	-137	-137	先制リーチも後リーチの子・親満貫振込
6月14日	-7,700	-12,000	-8,000	-27,700	-297	-434	サービス振込み2回で打切
6月21日	-12,000			-12,000	433	-1	ダマ聴牌に振込
6月28日	-1,300	-1,500	-8,000	-10,800	468	467	リーチのみに2回、役付チーに子満貫振込
6月計9回	-29,000	-25,500	-16,000	-70,500			平均-7,833点

振込回数と内訳

月	振込0-	振込0+	振込1-	振込1+	振込2-	振込2+	振込3-	振込3+	振込計	回/ゲーム
6月分	3	8	3	4	1				9	19(97)
7月分	8	9	2	2	1				6	22(125)

出現確率500回/1以上の役の達成回数表

役	回数	1	2
Wリーチ	526回/1	h30/7/20ツモ	h30/8/31宮崎
小三元	666回/1	h30/3/23山崎	
混老頭	1250回/1		
三色同刻	2000回/1	h31/4/2柴田	R1/7/5柴田
二盃口	2000回/1	R1/6/7ツモ	R1/8/9ツモ
チャンカ	2000回/1		
四暗刻	2040回/1		
国士無双	2325回/1	h29/9/8平田	h30/4/20岡部
大三元	2564回/1		
四喜和	3333回/1		

1/500の麻雀役であがったもの

三色同刻2回、二盃口=2回 計4回

★三色同刻1/2000 ★二盃口1/2000



2019.9~2020.8 私の島町麻雀クラブ記録

試合数 A	ゲーム数 B	振込数 C	振込率 D	勝敗数 E	勝率% F	得点数 G	トップ H	トップ% I	勝数トップ率 J	
9月計	20	114	6	0.053	15勝5敗	0.75	608	7	0.35	0.47
10月計	18	95	12	0.126	9勝9敗	0.5	336	6	0.33	0.67
11月計	19	94	12	0.128	14勝5敗	0.74	982	6	0.32	0.43
12月計	19	94	12	0.128	6勝13敗	0.32	-730	4	0.21	0.67
1月計	23	117	9	0.077	15勝8敗	0.65	641	13	0.57	0.86
2月計	20	94	2	0.021	14勝6敗	0.7	1370	11	0.55	0.79
3月計	19	119	15	0.126	10勝9敗	0.53	-518	3	0.16	0.3
7月計	23	112	18	0.16	14勝9敗	0.64	741	12	0.52	0.86
8月計	17	111	12	0.108	8勝9敗	0.47	68	4	0.24	0.5
合計	178	950	98	0.103	105勝73敗	0.59	3498	66	0.37	0.63

D 振込み率=C÷B、F 勝率=E 勝÷A、I トップ率=H÷A、勝数トップ率=H÷E 勝数

振込回数と内訳

敗数=勝数	振込0-	振込0+	振込1-	振込1+	振込2-	振込2+	振込3-	振込3+	振込計	回/ゲーム
9月 5=15	1	13	4	2					6	20(114)
10月 9=9	5	6	1	2	2	1	1		12	18(95)
11月 5=14		10	3	4	1		1		12	19(94)
12月 13=6	4	4	8	2	1				12	19(94)
1月 8=15	4	11	3	4	1				9	23(117)
2月 6=14	4	14	2						2	20(94)
3月 9=10	2	6	5	3	2		1		15	19(119)
7月 9=14	2	6	4	8	3				18	23(112)
8月 9=8	4	6	3	1	1		1	1	12	17(111)
計 73=105	26	76	33	26	11	1	4	1	98	178(950)

満貫上がり・振込み回数

	9	10	11	12	1	2	3	7	8	合計
役満				1						1
親跳満				1						1
親満	1	2	2			3	5	2	5	21
子跳満	1	2	1	3				1	1	11
子満	2	1	3	1	7	8	5	11	6	44
合計	4	5	8	4	10	13	8	17	9	78
振込親満	1	2				2		4		10
振込子倍満		1		2						3
振込子跳満					1					1
振込子満		1	2	4	1		1	2	3	14
合計	1	4	2	6	4	0	5	2	4	28

出現確率500回/1以上の役の達成回数表

	1	2	3
Wリーチ	526回/1	h30/7/20ツモ	h30/8/31宮崎 R2/7/31ツモ
小三元	666回/1	h30/9/23山崎	
混老頭	1250回/1		
三色同刻	2000回/1	h31/4/2柴田	R1/7/5柴田
二盃口	2000回/1	R1/6/7ツモ	R1/8/9ツモ
チャンカン	2000回/1	R1/10/18宮崎	
三連刻	2500回/1	R1/10/18宮崎	
四暗刻	2040回/1		
国士無双	2325回/1	h29/9/8平田	h30/4/20岡部 R1/11/22大橋
大三元	2564回/1		
四喜和	8333回/1		
字一色	12500回/1		

2019.9~2020.8出現確率500回/1以上の達成役

2019.9~2020.8出現確率500回/1以上の達成役

2019/10/18 タンヤオ・三連刻・三暗刻・チャンカン・ドラ1=跳満 ★宮崎の索加槓

2019/11/22 国士無双 大橋さん振込み

2020/7/31 出現率1/526のダブルリーチ ツモ上がり=子の満貫

